Microsoft System Center for Operations Manager（SCOM）向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1

ユーザーズガイド

DELL EMC

メモ、注意、警告

メモ: 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 Dell Inc. その関連会社。不許複製・禁無断転載. Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2019 - 01

Rev. A00

目次

1 Dell EMC OpenManage Intergration および Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.1 について 6
本書で使用される用語 7
本リリースの新機能 8
Operations Manager 向け Dell EMC OMIMSSC および DSMPS バージョン 7.1 の主要機能 8

2 Dell EMC OMIMSSC 10
OMIMSSC の概要 10
OMIMSSC コンポーネント 10
EMC OMIMSSC 管理ポータルの使用 11
Operations Manager アカウントの変更 11
Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルに登録されているコンソールに使用する資格情報の変更 11
プロファイル 11
資格情報プロファイルについて 12
Dell EMC デバイスの検出と Operations Manager との同期 13
OMIMSSC での Dell EMC デバイスの検出 13
Dell EMC デバイスと登録済み Operations Manager との同期 14
同期化エラーの解決 14
プロキシ MS の DellProxyMSGroup への追加および Dell プロキシ MS と OMIMSSC の同期 14
OMIMSSC からの Dell EMC デバイスの削除 15
Dell EMC OMIMSSC での情報の表示 16
ジョブの表示 16
ジョブの管理 17

3 Dell EMC Feature Management Dashboard 18
Dell EMC Feature Management Pack を使用した検出 18
Dell EMC PowerEdge サーバタスク 18
Dell EMC 機能管理タスクのリスト 19

4 Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.1 でサポートされる監視機能 22
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能 22
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視の拡張可能エディションおよび詳細エディションの比較 22
Operations Manager 向け DSMPS バージョン 7.1 を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの検出と分類 23
Operations Manager での Dell EMC PowerEdge サーバの監視 25
Dell EMC PowerEdge サーバタスク 40
Operations Manager の Dell EMC PowerEdge サーバに関するレポート 45
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能 46
Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.1 Operations Manager を使用した iSM-WMI 47
Operations Manager 向け DRAC 監視機能 65

Microsoft System Center Operations Manager 向け DSMPS 7.1 を使用した Dell Remote Access Controller の検出および分類 66
Operations Manager での DRAC デバイスの監視 67
DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視 69
ルール 70
Dell EMC PowerEdge サーバタスク 71

5 Dell EMC OMIMSSC バージョン 7.1 でサポートされる監視機能 74
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能 74
OMIMSSC を使用した iDRAC-WS-MAN または ホスト OS からの iDRAC アクセス 75
Dell EMC シャーシ監視機能 94
Dell EMC OMIMSSC Operations Manager を使用した Dell EMC シャーシの検出と分類 94
監視 97
Dell EMC シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視 101
ルール 103
Dell EMC PowerEdge サーバタスク 103
Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能 104
Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能を使用して検出されたオブジェクトのリスト 105
Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能 105
OMIMSSC 管理ポータルからの検出用の Dell EMC ネットワークスイッチ管理パックのインポート 105
Dell EMC OMIMSSC Operations Manager を使用した Dell EMC ネットワークスイッチの検出と分類 106
監視 108
Operations Manager コンソールでの Dell EMC ネットワークスイッチの表示オプション 108
Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能用の Dell ユニット監視 110

6 付録 A — 問題と解決策 112
問題と解決策 112
既知の制限 116

7 付録 B 117
シンプル認証 Run As アカウントの作成 117
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用した Dell EMC PowerEdge サーバ監視のための Run As アカウントの関連付け 117
Dell EMC Server Management Pack Suite および OMIMSSC Operations Manager で使用される重大度レベル 118
Run As アカウントの関連付けタスク — Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能 118

8 付録 C - 外部プログラムの有効化タスク 120
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成 120
License Manager 起動タスクの作成 121

9 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス 122

10 関連文書とリソース 123

Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン.....123
その他の必要マニュアル.....123
Dell EMC へのお問い合わせ.....124

1

Dell EMC OpenManage Intergration および Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack Suite Version 7.1 について

この文書では、Operations Manager 向け **Dell EMC OMIMSSC** および **DSMPS** バージョン 7.1 を使用して、Microsoft System Center Operations Manager（SCOM）向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 で実行できるアクティビティについて説明します。

Dell EMC OMIMSSC は、仮想マシンとして導入可能な **VHD ファイル**にパッケージ化されたアプライアンスベースのソリューションです。詳細については、「OMIMSSC の概要」を参照してください。

Dell EMC OpenManage Integration を Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager と統合した環境では、必要な Dell EMC デバイスの管理、監視のほか、可用性の確保が可能になります。

注意: データの破損、損失、またはそれら両方を避けるため、本書の手順は Microsoft Windows オペレーティングシステムおよび Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

メモ: Dell EMC OpenManage Integration for Microsoft System Center（OMIMSSC）v7.1 for Operations Manager（SCOM）のリリースノートをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバの要件に関する最新の情報が掲載されています。このリリースノートは、Dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement の Systems Management 製品に関するマニュアルのページにあります。また、リリースノートは、自己解凍型実行ファイル Dell_EMC_Server_Management_Pack_Suite_v7.1_Axx.exe にもパッケージされています（xx は Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.1 のリリース番号）。

Dell EMC Server Management Pack Suite version 7.1 for Microsoft System Center Operations Manager をインストールする前に、**Dell.com/omconnectionsEnterpriseSystemsManagement** または **Dell.com/openmanagemanuals** から最新マニュアルをダウンロードしてください。

トピック：

- 本書で使用される用語
- 本リリースの新機能
- Operations Manager 向け Dell EMC OMIMSSC および DSMPS バージョン 7.1 の主要機能

本書で使用される用語

表 1. 本書で使用される用語

用語	意味
Dell EMC シャーシ	特に指定がない限り、Dell EMC シャーシ管理コントローラ/OpenManage エンタープライズモジュラー（CMC/OME-M）。
OMIMSSC	Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1
DSMPS	Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack バージョン 7.1
Dell Remote Access Controller（DRAC）	特に指定のない限り、Dell EMC PowerEdge サーバ、Dell ブランドの OEM サーバ、Dell OEM Ready サーバの DRAC。
Integrated Dell Remote Access Controller（iDRAC）	特に指定のない限り、Dell EMC PowerEdge サーバ、Dell ブランドの OEM サーバ、Dell OEM Ready サーバの iDRAC。
iDRAC サービスモジュール（iSM）	iDRAC サービスモジュールは、サーバ上で実行される軽量ソフトウェアであり、OS からの監視情報を使用して iDRAC を補完します。サービスモジュールには、独自の新しいインタフェースはなく、iDRAC コンソールでユーザーが使用できる追加データで iDRAC を補完します。iSM とサポート対象プラットフォームの詳細については、Dell.com/support の『*iDRAC Service Module Installation Guide*』（iDRAC サービスモジュールインストールガイド）を参照してください。
Operations Manager	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2016 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager。
Operations Manager 2016	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2016 Operations Manager。
Operations Manager 2012	特に指定のない限り、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager。
プロキシ MS	物理ノードの監視に役立つプロキシ管理サーバ。
Dell EMC PowerEdge サーバ	特に指定がない限り、PowerEdge モノリシックサーバ、PowerEdge モジュラーサーバ、PowerVault サーバ、サポート対象ラック型ワークステーション、Dell ブランド OEM サーバ、PowerEdge Storage Spaces Direct Ready ノード、Dell OEM Ready サーバ。
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視	特に指定がない限り、PowerEdge モノリシックサーバ、PowerEdge モジュラーサーバ、PowerVault サーバ、サポート対象ラック型ワークステーション、Dell ブランド OEM サーバ、Dell OEM Ready サーバ。これはライセンス不要な機能です。
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）	特に指定がない限り、PowerEdge モノリシックサーバ、PowerEdge モジュラーサーバ、PowerVault サーバ、サポート対象ラック型ワークステーション、Dell ブランド OEM サーバ、PowerEdge Storage Spaces Direct Ready ノード、Dell OEM Ready サーバ。これはライセンスベースの機能です。

本リリースの新機能

Dell EMC OpenManage Integration Version 7.1 for Microsoft System Center Operations Manager（OMIMSSC）には、次の機能と改善点があります。

- Dell EMC OMIMSSC バージョン 7.1 は、**.vhd** ファイルとして使用できる仮想マシンを導入する準備ができています。
- OMIMSSC アプライアンスで Dell EMC デバイスを検出して上書きします。
- Dell EMC OpenManage Enterprise - Modular シャーシを検出して監視します。
- Dell EMC OpenManage Enterprise - Modular アラートおよびパフォーマンスメトリックをサポートします。
- OMIMSSC コンソールから、S、M、N、および Z シリーズの Dell EMC ネットワークスイッチの正常性を検出して監視します。
- 監視対象の Dell EMC デバイスの拡張性が向上しました。
- 登録された Operations Manager 環境で検出されたすべての Dell EMC デバイスを OMIMSSC と同期させます。

Operations Manager 向け Dell EMC OMIMSSC および DSMPS バージョン 7.1 の主要機能

Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC Server Management Pack 7.1 では。次の機能が可能になります。

- 次の Dell EMC デバイスの監視と分類：
  - Dell EMC PowerEdge サーバ — iSM を使用したライセンス不要の監視とライセンスベースの監視を使用します。
  - Dell Remote Access Controller（DRAC）
  - サポートされる Dell Precision ラック
  - 要件に応じて OMSA または iSM ベースを使用してサポートされる Dell EMC デバイス。

Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration 7.1 では、次の機能が可能になります。

- 次の Dell EMC デバイスの監視と分類：
  - Dell EMC PowerEdge サーバ — iDRAC WS-MAN を使用したライセンスベースの監視の使用
  - Dell EMC シャーシ — PowerEdge FX2/ FX2s、PowerEdge VRTX、PowerEdge M1000e、PowerEdge MX7000 シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシ
  - Dell EMC ネットワークスイッチ — M-Series、Z-Series、N-Series、および S-Series スイッチ
  - OpenManage Enterprise-Modular をサポート
  - サポートされる Dell Precision ラック
  - WS-MAN を使用した iDRAC でサポートされる Dell EMC デバイス
  - Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能
- アラートを表示、分析し、技術情報（KB）記事を使用して解決します。
- 検出された Dell EMC デバイスでさまざまなタスクを実行します。
- 検出された Dell EMC デバイスのレポートを表示します。

表 2. 機能と説明

特長	説明
ライセンスセンター	Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルから OMIMSSC ライセンスを管理します。
検出と監視 - Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション	対応する OpenManage Server Administrator（OMSA）を使用して、対応する Windows オペレーティングシステムを実行する PowerEdge サーバ、PowerVault モノリシックとモジュラーシステム、Dell OEM Ready サーバ、および対応する Dell Precision ラックの検出と監視をサポートします。
ライセンスベースの検出と監視 — Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）	次をサポートします。 • 第 12 世代、第 13 世代、および第 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault サーバ、対応する Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバ、PowerEdge Storage Spaces Direct Ready ノード、および Dell OEM Ready サーバのライセンスベースの検出と監視は、下記を使用して行います。 – iDRAC–WS-MAN – ホスト OS を介した iDRAC アクセス – iSM–Windows Management Instrumentation（WMI） • iDRAC を使用して、第 12 世代、第 13 世代、および第 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault サーバ、対応する Dell Precision ラック、Dell ブランドの OEM サーバ、および Dell OEM Ready サーバを検出および監視します。 • iSM を使用して、第 12 世代、第 13 世代、および第 14 世代の PowerEdge サーバを検出および監視します。サポートされるサーバの完全なリストについては、Dell.com/manuals にある『**iDRAC Service Module Installation Guide**』（iDRAC サービスモジュールインストールガイド）の「**対応プラットフォーム**」を参照してください。 • サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の WS-MAN を使用して検出されたデバイスの SNMP トラップ。
検出と監視 — Dell EMC シャーシ管理	次をサポートします。 • Dell EMC シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシデバイスの検出と監視。 • CMC シャーシのサーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出。 • シャーシデバイス用の SNMP トラップ。
検出と監視 — Dell EMC ネットワークスイッチ	次をサポートします。 • Dell EMC ネットワークスイッチデバイスの検出と監視。 • Dell EMC ネットワークスイッチデバイスの SNMP トラップ。
検出と監視 — Dell Remote Access Controller（DRAC）	次をサポートします。 • 対応 iDRAC デバイスの検出と監視 — 第 12 世代および第 13 世代のみ。 • DRAC デバイスの SNMP および PET トラップ。

2

Dell EMC OMIMSSC

本項のトピックでは、OMIMSSC コンポーネントと管理ポータル、OMIMSSC でサポートされるさまざまなプロファイル、および OMIMSSC ベースの Dell EMC デバイスの検出と監視について説明します。

トピック：

- OMIMSSC の概要
- OMIMSSC コンポーネント
- EMC OMIMSSC 管理ポータルの使用
- プロファイル
- Dell EMC デバイスの検出と Operations Manager との同期
- Dell EMC OMIMSSC での情報の表示

OMIMSSC の概要

Operations Manager 用の OMIMSSC は、Hyper-V でホストされる仮想マシンに展開できる .vhd ファイルとしてパッケージ化されています。OMIMSSC では、WS-MAN、モジュラーシステム（Dell EMC PowerEdge MX7000）、およびネットワークスイッチを介して検出されるサーバの検出、インベントリ、および正常性監視が可能になります。CentOS をベースとしています。これは、Dell EMC デバイスと通信し、Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルから管理できます。

OMIMSSC が設定され、ネットワークが設定されると、System Center Operations Manager ユーザーは簡単に登録を実行できます。設定管理パックがダウンロードされ、System Center Operations Manager にインポートされる場所が、指定された前提条件が満たされていることを確認します。すべての管理パックはバックエンドで自動インポートされます。

Microsoft System Center Operations Manager（SCOM）と OMIMSSC を統合して、データセンター内の Dell EMC デバイスを監視します。OMIMSSC から検出を実行すると、Operations Manager コンソールの OpenManage Integration Dashboard に検出された Dell EMC デバイスが表示されます。このダッシュボードでは、デバイスの監視レベル、監視間隔、およびパフォーマンスメトリックの設定を実行できます。

OMIMSSC は、Dell EMC PowerEdge サーバ、シャーシ、ネットワークスイッチ、および将来のストレージソリューションなど、さまざまな種類の Dell EMC デバイスを監視するための簡易検出ソリューションテンプレートです。

OMIMSSC コンポーネント

このマニュアルで使用されている OMIMSSC コンポーネントとその名前のリストを次に示します。

- Operations Manager 用 OMIMSSC は、Hyper-V でホストされる仮想マシンです。CentOS ベースで、次のタスクを実行します。
  - Dell EMC デバイスとのインタラクション、およびサポートされるプロトコルは次のとおりです。
    - Web Services-Management（WS-MAN）
    - 簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）
    - RedFish
  - OMIMSSC は、Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルから管理できます。

EMC OMIMSSC 管理ポータルの使用

管理ポータルでは、管理者として Dell EMC OMIMSSC にログインして、さまざまなユーザーが Dell EMC OMIMSSC で開始したすべてのジョブを表示したり、ライセンスの詳細やコンソールの詳細を表示したり、Dell EMC OMIMSSC をアップグレードしたりできます。以下は、ライセンスと管理ポータルの使用事例です。

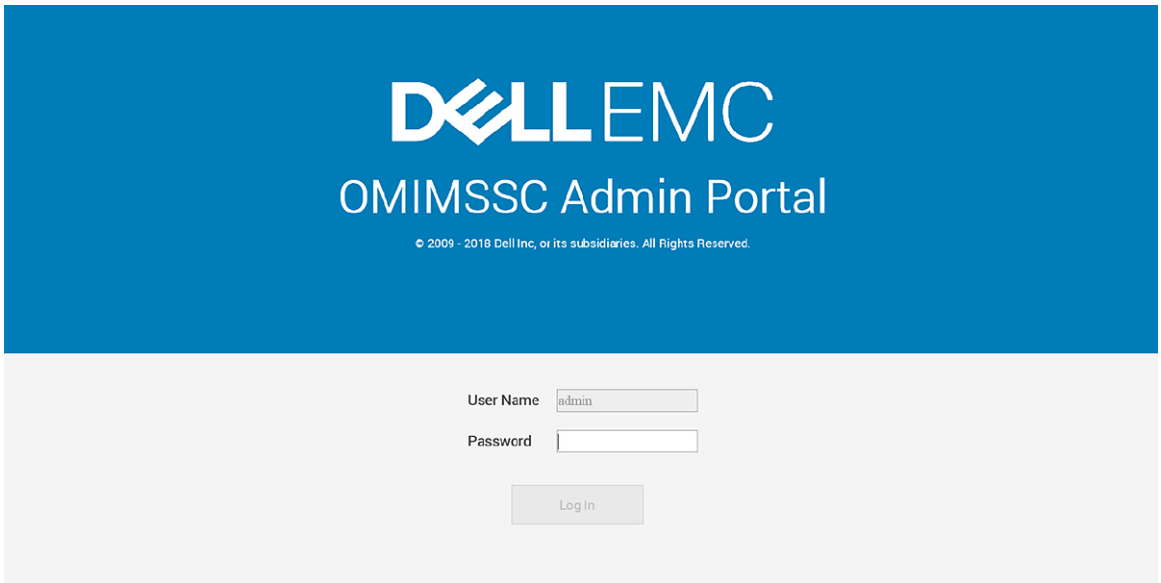

図 1. OMIMSSC 管理ポータル

Operations Manager アカウントの変更

このオプションを使用すると、Dell EMC OMIMSSC での Operations Manager アカウントのパスワードを変更できます。
Operations Manager 管理者の認証情報は、Dell EMC OMIMSSC の管理ポータルから変更できます。

- Operations Manager アカウントに関しては、Dell EMC OMIMSSC でのアカウント変更より前に、Active Directory の認定資格を変更します。

Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルに登録されているコンソールに使用する資格情報の変更

Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルに登録されているコンソールに使用する資格情報を変更するには、次の手順を実行します。

1 Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルで **設定**、**コンソール登録** の順にクリックします。
登録されたコンソールが表示されます。
2 編集するコンソールを選択し、**編集** をクリックします。
3 新しい詳細情報を入力し、**終了** をクリックして変更を保存します。

プロファイル

プロファイルを使用すると、資格情報を管理し、導入用の WinPE イメージをカスタマイズできます。

資格情報プロファイルについて

資格情報プロファイルは、ユーザーの役割ベースの機能を認証することにより、ユーザー資格情報の使用と管理を簡素化します。各資格情報プロファイルには、単一ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードが含まれています。資格情報プロファイルは、ユーザーの役割ベースの機能を認証します。OMIMSSC は、資格情報プロファイルを使用して管理下システムの iDRAC、CMC/OME-M、またはネットワークスイッチに接続します。

次の資格情報プロファイルを作成することができます。

- Windows 認証情報プロファイル — このプロファイルは、OMIMSSC によるコンソールの登録に使用されます。
- デバイス資格情報プロファイル — このプロファイルは、iDRAC コンソール、または Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular (CMC/OME-M) コンソール、またはネットワークスイッチ管理コンソールへのアクセスに使用される資格情報、SNMP コミュニティ文字列、HTTPS ポート番号、および SNMP ポート番号のフィールドで構成されます。

  メモ: デバイス資格情報プロファイルは、サーバ、モジュラーシステム、またはネットワークスイッチの検出に使用されます。

デバイス資格情報プロファイルの作成

デバイス資格情報プロファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1. **Dell EMC OpenManage Integration ビュー** で **OpenManage Integration Dashboard** を選択します。
2. Dell EMC OMIMSSC にログインします。
3. ナビゲーションペインで、**プロファイルと設定** > **資格情報プロファイル** とクリックして、**作成** をクリックします。

   資格情報プロファイル ページが表示されます。
4. **資格情報プロファイル** で、使用する資格情報プロファイルタイプを選択します。

   次の資格情報プロファイルを作成することができます。

   - **デバイス資格情報プロファイル**

     メモ: デバイス資格情報プロファイル を作成する場合は、iDRAC を選択して iDRAC のデフォルトプロファイルにするか、CMC を選択して Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular (CMC/OME-M) のデフォルトプロファイルにするか、ネットワークスイッチ を選択してネットワークスイッチのデフォルトプロファイルにします。このプロファイルをデフォルトプロファイルとして設定しない場合は、なし を選択します。

     デフォルトの iDRAC プロファイルは、デバイスの検出時、または同期化の実行時にデバイスにアクセスするために使用されます。
   - **Windows 資格情報プロファイル**

     メモ: Dell EMC OMIMSSC 管理ポータルで Windows 認証情報プロファイル を作成する場合は、ドメイン フィールドにドメイン名を入力します。
5. プロファイルを作成するには、**終了** をクリックします。

資格情報プロファイルの変更

資格情報プロファイルを変更するには、次の手順を実行します。

- **Dell EMC OpenManage Integrations ビュー** の下で **OpenManage Integration Dashboard** を起動します。
- 資格情報を入力して、OMIMSSC にログインします。
- **ユーザー名** に、ユーザー名を入力します。
- **パスワード** にパスワードを入力し、**ログイン** をクリックします。
- OpenManage Integration for Microsoft System Center ページが表示されます。
- **プロファイルと設定** > **資格情報プロファイル** に移動します。編集する資格情報プロファイルを選択し、**編集** をクリックします。
- 変更を保存するには、**保存** をクリックします。

資格情報プロファイルの削除

資格情報プロファイルを削除するときには、次の点に注意してください。

- デバイス検出で使用される資格情報プロファイルを削除するには、検出されたデバイス情報を削除してから、資格情報プロファイルを削除します。
- アップデートソースで使用されている資格情報プロファイルを削除することはできません。

プロファイルを削除するには、次の手順を実行します。

1 **Dell EMC OpenManage Integrations ビュー** の下で **OpenManage Integration Dashboard** を起動します。
2 Dell EMC OMIMSSC にログインします。**プロファイルと設定** > **資格情報プロファイル** に移動します。
3 削除する資格情報プロファイルを選択し、**削除** をクリックします。

Dell EMC デバイスの検出と Operations Manager との同期

検出とは、OMIMSSC の Dell EMC PowerEdge サーバ、Dell EMC シャーシ、Dell EMC ネットワークスイッチで構成されるサポート対象の Dell EMC デバイスを追加するプロセスです。Operations Manager と同期することで、Operations Manager から OMIMSSC にデバイスを追加できます。

OMIMSSC での Dell EMC デバイスの検出

IP アドレスまたは IP 範囲を使用して、手動で Dell EMC デバイスを検出できます。デバイスを検出するには、検出するデバイスのデバイス IP アドレスとデバイスタイプ資格情報を指定します。IP 範囲を使用してデバイスを検出する場合は、開始から終了の範囲を含めることによって、サブネット内の IP（IPv4）範囲を指定します。
デバイスを検出するには、次の手順を実行します。

1 **Dell EMC OpenManage Integration ビュー** で **OpenManage Integration Dashboard** を選択します。
2 OMIMSSC で、**監視** に移動し、検出する次のいずれかのデバイスを選択します。
   - サーバビュー。
   - モジュラーシステムビュー。
   - ネットワークスイッチビュー。
3 **検出** ページで、次の中から必要なオプションを選択します。
   - **IP アドレスを使用した検出** - IP アドレスを使用してデバイスを検出します。
   - **IP 範囲を使用した検出** - IP 範囲内のすべてのデバイスを検出します。

   1 つのジョブで最大 250 台のデバイスを検出でき、連続するジョブは 1 時間の間隔でトリガできます。
4 **IP アドレスまたは IP アドレス範囲を使用した検出** で、次のいずれかを実行します。
   - **IP アドレスの開始範囲** と **IP アドレスの終了範囲** には、含める IP アドレス範囲を指定します。これは開始範囲と終了範囲です。
   - IP アドレス範囲を除外する場合は、**除外範囲の有効化** を選択して、**IP アドレスの開始範囲** と **IP アドレスの終了範囲** で除外する範囲を指定します。
5 **IP アドレス** で、検出するデバイスの IP アドレスを指定します。
6 デバイスタイプ資格情報プロファイルを選択するか、**新規作成** をクリックしてデバイスタイプ資格情報プロファイルを作成します。
   選択したプロファイルがすべてのデバイスに適用されます。
7 新しい資格情報プロファイルを作成するには、**新規作成** を選択してデバイスタイプ資格情報プロファイルを作成します。
   資格情報プロファイルページが表示されます。
8 資格情報タイプで、**デバイス資格情報プロファイル** を選択します。
   資格情報 フィールドが有効になります。

9 資格情報の詳細を入力し、**終了** をクリックします。

10 （任意）このジョブを追跡するには **ジョブリストに移動** オプションを選択します。

ジョブとログセンター ページが表示されます。検出ジョブを展開して、**実行中** タブでジョブの進行状況を表示します。

11 固有のジョブ名を入力し、**終了** をクリックします。

> **メモ: デバイス検出に Proxy MSes を使用している場合は、同期タスクを実行します。詳細については、「Proxy MS の DellProxyMSGroup への追加および Dell Proxy MS の OMIMSSC との同期」を参照してください。同期タスクがトリガされた後、汎用ログで すべての管理サーバ完了メッセージを取得するプロセス を探します。**

Dell EMC デバイスと登録済み Operations Manager との同期

MSSC との同期を実行する前に、資格情報プロファイルを作成します。OMIMSSC と同期するデバイスタイプに応じて、ドロップダウンリストから iDRAC、CMC、またはネットワークスイッチにデフォルトプロファイルを設定します。
登録されている Operations Manager から OMIMSSC にすべての Dell EMC デバイスを同期するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager の **監視** ペインに移動します。

2 **Dell EMC** > **Dell EMC OpenManage Integrations ビュー** > **Dell EMC OpenManage Integration Dashboard** を選択します。

3 Dell EMC OMIMSSC にログインします。

4 **監視** に移動し、任意のデバイスを選択してから、**MSSC と同期** をクリックして、登録済みの Operations Manager にリストされているすべてのデバイスを OMIMSSC と同期させます。

> **メモ: 同期は、デフォルトでは 6 時間ごとに定期的に実行されます。**

同期化エラーの解決

OMIMSSC と同期していない Dell EMC デバイスがそれらの IP アドレスと一緒にリストされます。Operations Manager で検出された Dell EMC デバイスの同期化の失敗は、無効な認証情報、無効な HTTPS ポート番号、無効な SNMP ポート番号、または無効なコミュニティ文字列が原因で発生した可能性があります。このようなエラーにより、OMIMSSC からのデバイスの検出が失敗します。同期エラーを解決するには、関連する認証情報を提供する必要があります。
同期エラーを解決するには、次の手順を実行します。

1 OMIMSSC で**監視** をクリックし、**同期化エラーの解決** をクリックします。

ウィンドウに、同期に失敗したデバイスの IP アドレスのリストが表示されます。

2 デバイスを選択し、デバイス認証情報プロファイルを選択するか、新しいデバイス認証情報プロファイルを作成するには、**新規作成** をクリックします。

3 ジョブ名を入力し、必要に応じて **ジョブリストに移動** オプションを選択すると、ジョブが送信されると自動的にジョブのステータスが表示されます。

4 **終了** をクリックしてジョブを送信します。

プロキシ MS の DellProxyMSGroup への追加および Dell プロキシ MS と OMIMSSC の同期

登録時には、**DellProxyMSGroup** という名前のグループが作成されます。Operations Manager でエージェント管理対象の Windows コンピュータとして検出されたプロキシ管理サーバは、グループ **DellProxyMSGroup** として Operations Manager に追加して、プロキシ MS と OMIMSSC の同期を実行する必要があります。

> **メモ: 次の手順を実行する前に、すべてのプロキシ MS に Operations Manager エージェントをインストールしてください。**

DellProxyMSGroup をアップデートするには、次の手順を実行します。

1 プロキシ MS 仮想マシンは Operations Manager で、エージェント管理対象の Windows コンピュータとして検出されます。詳細に関しては、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
2 OMIMSSC 管理ポータルに登録した後、OMIMSSC コンソールにログインします。
3 **オーサリング** > **グループ** の順に選択します。リストから **DellProxyMSGroup** を選択します。
4 **DellProxyMSGroup** を右クリックして、ドロップダウンリストから **プロパティ** を選択します。
5 **明示的メンバー** タブを選択し、**オブジェクトの追加 / 削除** をクリックします。**グループ作成ウィザード - オブジェクト選択** ウィザードが表示されます。
6 **検索対象** リストのドロップダウンメニューから **Windows コンピュータ** を選択し、このグループの一部となるようにして **検索** をクリックします。
7 Operations Manager で検出されたすべての Windows コンピュータが、**使用可能なアイテム** に表示されます。
8 プロキシ MS を選択し、**追加** をクリックしてから、プロパティウィザードで **OK** をクリックします。

メモ: プロキシ MS の DellProxyMSGroup への追加後は、プロキシエージェントでの iSM 検出を無効にして、イベント ID 33333 が再生成されないようにする必要があります。

1 **オーサリング** > **管理パックオブジェクト** > **オブジェクト検出** の順に選択します。
2 **検索対象** フィールドで、**iSM** を検索します。
3 **検出タイプ：Dell サーバ** > **Dell サーバの検出** の順に選択します。
4 **Dell サーバの検出** を右クリックして、**オーバーライド** > **オブジェクト検出のオーバーライド** > **特定のグループ** の順に選択します。
5 **オブジェクトの選択** ウィザードが表示されます。
6 **DellProxyMSGroup** を選択して **OK** をクリックすると、プロキシ MS での iSM 検出が無効になります。

- **監視** ペインで、**Dell EMC OpenManage Integration Views** > **OpenManage Integration Dashboard** の順に選択します。
- Operations Manager で Dell EMC OMIMSSC にログインします。
- **監視** をクリックして任意のデバイスを選択し、次に **MSSC と同期** をクリックします。
- デバイス検出をトリガーする前に、同期タスクが完了していることを確認し、一般的なログ中に「**すべての管理サーバの取得処理完了**」のメッセージを探します。詳細に関しては、「ジョブの表示」を参照してください。

OMIMSSC からの Dell EMC デバイスの削除

OMIMSSC から Dell EMC デバイスを削除するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager にログインします。
2 左下のペインで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC OpenManage Integration ビュー** > **OpenManage Integration Dashboard** を選択します。
Dell EMC OMIMSSC ログイン ページが表示されます。
3 OMIMSSC にログインし、**監視** に進みます。削除する次のデバイスのいずれかを選択します。
   - サーバー
   - モジュラーシステム
   - ネットワークスイッチ
4 OMIMSSC から削除するデバイスを選択し、**削除** をクリックします。
選択したデバイスが OMIMSSC から削除されます。
5 OMIMSSC からの削除がトリガされた Dell EMC デバイスが完了するまでに数分かかります。

メモ: 削除が Operations Manager からトリガされた場合、オブジェクトを削除するには 1 回の検出サイクルが必要です。

Dell EMC OMIMSSC での情報の表示

OMIMSSC で開始されたアクティビティに関するすべての情報とジョブの進行状況のステータスを表示できます。また、**ジョブおよびログ** ページでサブタスクを表示できます。また、特定のカテゴリのジョブをフィルタリングして表示することもできます。ジョブは、OMIMSSC 管理ポータルおよび OMIMSSC から表示できます。

- **実行中** - 現在実行中のすべてのジョブ、または進行中の状態が表示されます。
- **履歴** - 過去に実行されたすべてのジョブがそのジョブのステータスとともに表示されます。
- **スケジュール** - 将来の日時にスケジュールされているすべてのジョブが表示されます。また、スケジュールされたジョブをキャンセルすることもできます。
- **汎用ログ** - サブタスクに固有ではない OMIMSSC アプライアンス固有の共通ログメッセージ、およびユーザー名とコンソール FQDN を指定して各ユーザーのその他のアクティビティを表示します。
  - **アプライアンスログ** - OMIMSSC の再起動など、すべての OMIMSSC アプライアンス固有のログメッセージを表示します。

    メモ: アプライアンスログメッセージは、管理ポータルからのみ表示できます。
  - **汎用ログ** - **実行中**、**履歴**、および **スケジュール** タブでリストされるジョブを通じて共通のすべてのログメッセージが表示されます。これらのログは、コンソールとユーザーに固有です。
- Dell EMC OMIMSSC 管理ポータル - すべての OMIMSSC ユーザーから開始されたジョブを表示します。
- OMIMSSC - ユーザーおよびコンソールに固有のジョブを表示します。

ジョブ名はユーザーから提供されるか、システムによって生成され、サブタスクは管理対象サーバの IP アドレスに応じて命名されます。サブタスクを展開して、そのジョブのアクティビティログを表示します。ジョブには次の 4 つのカテゴリがあります。

OMIMSSC で定義されるジョブのさまざまな状態は次のとおりです。

- **キャンセル** - ジョブは、ユーザーによって手動でキャンセルされたか、または OMIMSSC の再起動時にキャンセルされました。
- **成功** - ジョブは正常に完了しました。
- **失敗** - ジョブが失敗しました。
- **進行中** - ジョブは実行中です。
- **スケジュール** - ジョブは将来の時刻にスケジュールされました。

  メモ: 複数のジョブが同時に同じサーバに送信された場合、ジョブは失敗します。そのため、ジョブを異なる時間にスケジュールしてください。
- **待機中** - ジョブは実行を開始するまでキュー内にあります。
- **定期的** - 一定の間隔で反復するジョブです。

ジョブの表示

Dell EMC OMIMSSC で作成されたすべてのジョブとそのステータス情報を表示できます。
ジョブを表示するには、次の手順を実行してください。

1. Dell EMC OMIMSSC コンソールで、**ジョブおよびログセンター** をクリックします。
2. **実行中**、**スケジュール済み**、**履歴**、**一般**など、ジョブの特定のカテゴリを表示するには、それぞれのタブをクリックします。

   ジョブに含まれているすべてのサーバを表示するには、ジョブを展開します。さらに展開すると、ジョブのログメッセージが表示されます。

   メモ: すべてのジョブに関連する一般的なログメッセージは、汎用 タブにはリストされますが、実行中 または 履歴 タブにはリストされません。
3. （オプション）フィルタを適用して、さまざまなカテゴリのジョブを表示できます。**ステータス** 列にステータスを表示することもできます。

ジョブの管理

ジョブが **スケジュール済み** 状態であることを確認してください。
ジョブを管理するには、次の手順に従います。

1 OMIMSSC で、次のいずれかを実行します。
   - ナビゲーションペインで、**メンテナンスセンター** をクリックし、**ジョブの管理** をクリックします。
   - ナビゲーションペインで、**ジョブとログセンター** をクリックし、**スケジュール** をクリックします。
2 キャンセルするジョブを選択し、**キャンセル** をクリックし、確定するには **はい** をクリックします。

3

Dell EMC Feature Management Dashboard

Dell EMC Feature Management Dashboard には、Dell EMC PowerEdge サーバ、Dell Precision ラック、Dell Remote Access Controller（DRAC）、PowerEdge FX2/FX2s、PowerEdge VRTX、PowerEdge M1000E、Dell EMC ネットワークスイッチ、および integrated DRAC（iDRAC）など、さまざまな Dell システムを監視するための Dell EMC Server Management Pack Suite 監視機能を設定する仕組みが備わっています。Dell EMC Feature Management Dashboard には、次の監視機能があります。

- Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能
- Dell EMC シャーシ監視機能
- Dell EMC ネットワークスイッチ機能
- DRAC 監視機能
- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能
- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能

トピック：

- Dell EMC Feature Management Pack を使用した検出
- Dell EMC PowerEdge サーバタスク

Dell EMC Feature Management Pack を使用した検出

表 3. Dell EMC Feature Management Pack 検出

検出オブジェクト	説明
Dell EMC Feature Management ホスト検出	管理サーバが Feature Management Pack ホストである場合は、ダッシュボードにデータを入力します。Dell EMC Server Management Pack Suite が最初にインストールされた管理サーバが、Feature Management Pack ホストとして選択されます。

メモ: OMIMSSC コンソールでは、ライセンスされるノードの最大数は 300 です。監視レベルが 詳細モード に設定されている場合、Dell EMC Feature Management Dashboard で次のアラートが生成されます。

1. ライセンスされたノード数が最大数の 70% に達すると、**警告アラート** が生成されます。
2. ライセンスされたノード数が OMIMSSC コンソール内でしきい値の最大値に達した場合、またはそれを超えた場合、監視レベルが拡張可能モードに切り替わり、**システムオーバーロードクリティカルアラート** が生成されます。

メモ: OMSA の監視モードを明示的に拡張可能モードに変更する必要があります。

Dell EMC PowerEdge サーバタスク

タスクは、Operations Manager コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

Dell EMC 機能管理タスクのリスト

次の表に、**Dell EMC Feature Management Dashboard** で使用可能なタスクを示します。機能管理タスクの表に記載されている一部のタスクは、特定の監視機能をインポートした後にのみ表示されます。

メモ:

- イベントログでは、既存の管理パックの再インポートに関するエラーを無視します。これらのエラーは、**Dell EMC Feature Management Dashboard** が、監視機能のインポート中にすでにインポートされていた、依存するすべての管理パックを再インポートしたときに発生します。
- **Dell EMC Feature Management Dashboard** を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します）。
- **ダッシュボードの更新** タスクはダッシュボードをただちにアップデートしない場合があります。ダッシュボードの内容のアップデートには数分かかることがあります。
- OMIMSSC の **Dell EMC Feature Management Dashboard** で実行された拡張可能な設定または詳細な設定である検出監視レベルを更新するには、監視機能の各デバイスビューで、OMIMSSC コンソールから **MSSC と同期** をクリックします。これにより、監視レベルが OMIMSSC と同期されます。

表 4. 機能管理タスク

タスク		説明
Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関		
	シャーシモジュラーサーバー相関機能のインポート	シャーシモジュラーサーバー相関機能をインポートします。
	ダッシュボードの更新	**Dell EMC Feature Management Dashboard** を更新します。
	ノード数の更新	ノード数を更新します。
Dell EMC シャーシ監視		
	ダッシュボードの更新	**Dell EMC Feature Management Dashboard** を更新します。
	ノード数の更新	ノード数を更新します。
	詳細監視機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	拡張可能監視機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
Dell EMC ネットワークスイッチ監視		
	ダッシュボードの更新	**Dell EMC Feature Management Dashboard** を更新します。
	ノード数の更新	ノード数を更新します。
	詳細監視機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。

タスク		説明
		前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	拡張可能監視機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
DRAC 監視		
	DRAC 監視機能のインポート	DRAC 監視機能をインポートします。
	ダッシュボードの更新	**Dell EMC Feature Management Dashboard** を更新します。
	ノード数の更新	ノード数を更新します。
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視		
	エージェントプロキシの有効化	Dell EMC PowerEdge サーバに対するエージェントプロキシを有効にします。
	ダッシュボードの更新	**Dell EMC Feature Management Dashboard** を更新します。
	ノード数の更新	ノード数を更新します。
	監視機能の削除	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能を削除します。
	優先監視方法として設定	セットアップでサーバおよびラック型ワークステーションが、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能と（ライセンス対象）機能の両方から監視されている場合、このタスクは Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能を、サーバおよびラック型ワークステーションの優先監視方法として有効にします。
	情報アラートをオフに設定	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの拡張可能監視の使用時に、情報アラートがオフになります。
	情報アラートをオンに設定	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの拡張可能監視の使用時に、情報アラートがオンになります。
	詳細機能への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	拡張可能機能への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）		
	Run-As アカウントの関連付け	このタスクでは、SMASH 検出に使用される Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell EMC PowerEdge サーバオブジェクトに関連付けます。詳細については、「Run-As アカウントの関連付けタスク」を参照してください。

タスク		説明
	エージェントプロキシの有効化	対応する iSM バージョンを実行している Dell EMC PowerEdge サーバ用のエージェントプロキシを有効にし、これらのサーバの検出も始動させます。
	イベント自動解決を有効にする	イベント自動解決機能を有効にします。
	イベント自動解決を無効にする	イベント自動解決機能を無効にします。
	ダッシュボードの更新	**Dell EMC Feature Management Dashboard** を更新します。
	ノード数の更新	ノード数を更新します。
	監視機能（ライセンス対象）の削除	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を削除します。
	優先監視方法（ライセンス対象）として設定	セットアップでサーバおよびラック型ワークステーションが、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能と（ライセンス対象）機能の両方から監視されている場合、このタスクは Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を、サーバおよびラック型ワークステーションの優先監視方法として有効にします。
	詳細機能（ライセンス対象）への設定	システムで拡張可能機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	拡張可能機能（ライセンス対象）への設定	システムで詳細機能が実行されている場合、**Dell EMC Feature Management Dashboard** は詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。

4

Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.1 でサポートされる監視機能

本項のトピックでは、Operations Manager 向け DSMPS バージョン 7.1 でサポートされる監視機能について説明します。

トピック：

- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能
- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能
- Operations Manager 向け DRAC 監視機能

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視機能は、対応 Windows OS が実行されている次のインストールデバイスを OpenManage Server Administrator（OMSA）を使用して検出および監視します。

- PowerEdge モジュラーおよび Dell EMC PowerEdge モノリシックサーバ
- PowerVault サーバ
- Dell OEM Ready サーバー
- Dell Precision ラック

これらのデバイスのインベントリと監視は、サーバの OpenManage Server Administrator（OMSA）から実行できます。これはライセンス不要の監視機能です。

対応 OMSA バージョンの詳細については、「*Dell EMC OpenManage Integration version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager (SCOM) Release Notes*」（Microsoft System Center Operations Manager（SCOM）向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 リリースノート）を参照してください。

Dell EMC Server Management Pack スイートでは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視拡張機能が Operations Manager に自動的にインポートされます。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視の拡張可能エディションおよび詳細エディションの比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 5. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能	• コンポーネントグループのインベントリおよび監視。また、iDRAC の有無を表示します。	• 個々のコンポーネントの詳細インベントリおよび正常性監視

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
	• レポート — OpenManage Windows イベントログレポートのみが使用可能です。	• メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、センサー、ストレージコントローラ、ディスク、および仮想ディスクのメトリックスを表示します。また、BIOS 情報も表示します。 • レポート — BIOS 設定、ファームウェアとドライババージョン、および RAID 設定レポートの可用性

Operations Manager 向け DSMPS バージョン 7.1 を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの検出と分類

Microsoft System Center Operations Manager 向けの Dell EMC Server Management Pack 7.1 を使用すると、モノリシック、モジュラー、Sled、およびサポートされている Dell Precision ラックなどの Dell EMC PowerEdge サーバを検出して分類できます。次の表に、ハードウェアの検出とグループ化の詳細を示します。

表 6. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC PowerEdge サーバ	Dell EMC モノリシックサーバ Dell EMC モジュラーサーバ Dell EMC Sled サーバ	PowerEdge システム PowerVault サーバ
Dell EMC ラック型ワークステーション	Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラム	Dell Precision ラック

Dell EMC OMIMSSC Operations Manager を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの検出

IP アドレスまたは IP 範囲を使用して、Operations Manager 向け OMIMSSC で Dell EMC PowerEdge サーバを検出できます。サーバを検出するには、サーバの iDRAC IP アドレスとデバイスタイプ資格情報を入力します。IP 範囲を使用してサーバを検出する場合は、開始範囲と終了範囲を含めることによって、サブネット内の IP（IPv4）の範囲を指定します。
サーバを検出するには、次の手順を実行します。

1 Dell EMC OMIMSSC で、**監視** > **サーバビュー** の順にクリックし、**検出** をクリックします。
2 **検出** ページで、必要なオプションを選択します。
   - **IP アドレスを使用した検出** - IP アドレスを使用してサーバを検出します。
   - **IP 範囲を使用した検出** - IP 範囲内のすべてのサーバを検出します。
3 **IP アドレスまたは IP アドレス範囲を使用した検出** で、次のいずれかを実行します。
   - **IP アドレスの開始範囲**、および **IP アドレスの終了範囲** に、含める IP アドレス範囲を入力します。これは開始範囲と終了範囲です。
   - IP アドレス範囲を除外する場合は、**除外範囲の有効化** を選択して、**IP アドレスの開始範囲** と **IP アドレスの終了範囲** で除外する範囲を指定します。
4 **この資格情報プロファイルの適用** で、デバイスタイプ資格情報プロファイルを選択します。
   選択したプロファイルが、すべてのサーバに適用されます。
5 新しい資格情報プロファイルを作成するには、**新規作成** を選択してデバイスタイプ資格情報プロファイルを作成します。
   資格情報プロファイルページが表示されます。

6 資格情報タイプで **デバイス資格情報プロファイル** を選択します。
資格情報 フィールドが有効になります。
7 資格情報の詳細を入力し、**終了** をクリックします。
8 **iDRAC IP アドレス** で、検出するサーバの IP アドレスを入力します。
9 固有のジョブ名を入力し、**終了** をクリックします。
10 （オプション）このジョブを追跡するには、**ジョブリストに移動** オプションを選択します。
ジョブとログセンター ページが表示されます。検出ジョブを展開して、**実行中** タブでジョブの進行状況を表示します。

Operations Manager での Dell EMC PowerEdge サーバの検出

Dell EMC PowerEdge サーバは、Operations Manager エージェント管理インフラストラクチャを使用して検出されます。

メモ: Dell サーバは、Operations Manager コンソールの 管理 セクションにある エージェント管理対象 ビューで検出します。

1 Operations Manager 管理者として管理サーバにログインします。
2 Operations Manager コンソールで、**管理** をクリックします。
3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4 **検出ウィザード** を実行し、**Windows コンピュータ** を選択して、画面上の指示に従います。
詳細については、**technet.microsoft.com** にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。

メモ: インストーラによって、ライセンス不要の監視機能管理パックが Operations Manager に自動的にインポートされます。インストーラが管理パックのインストールに失敗した場合は、Operations Manager の 管理パックのインポート ウィザード、または Feature Management Dashboard を使用して管理パックをインポートしてください。

メモ: OMIMSSC コンソールから Microsoft System Center との同期を実行して、Operations Manager で検出された Dell EMC PowerEdge サーバの検出を完了します。

メモ: Dell OpenManage Server Administrator（OMSA）がインストールされていない、または非対応の OMSA バージョンを実行している Dell EMC PowerEdge サーバを、Dell 管理対象外デバイス としてグループ化します。

Microsoft System Center Operations Manager 向け DSMPS バージョン 7.1 を使用した Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能による検出

表 7. Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の検出

検出	説明
Dell EMC PowerEdge サーバの検出	Dell EMC PowerEdge サーバを分類し、属性データを投入します。
Dell EMC PowerEdge サーバネットワークインタフェース検出	ネットワークインタフェースを Dell EMC PowerEdge サーバのグループレベルで検出します。
Dell EMC PowerEdge サーバハードウェアコンポーネント検出	グループレベルのハードウェアコンポーネント（センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置）を検出します。
Dell EMC OpenManage Software サービス検出	OMSA Windows サービスのオブジェクトを検出します。

検出	説明
Dell EMC PowerEdge サーバ BIOS 詳細検出	各 Dell EMC PowerEdge サーバの BIOS オブジェクトを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell EMC PowerEdge サーバメモリ詳細検出	Dell EMC PowerEdge サーバのメモリインスタンスを検出します(詳細エディションのみ)。
Dell EMC PowerEdge サーバ電源装置詳細検出	Dell EMC PowerEdge サーバの電源装置インスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell EMC PowerEdge サーバプロセッサ詳細検出	Dell EMC PowerEdge サーバのプロセッサインスタンスを検出します(詳細エディションのみ)。
Dell EMC PowerEdge サーバストレージ詳細検出	Dell EMC PowerEdge サーバの完全なストレージ階層を検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーのセンサー詳細検出	Dell EMC PowerEdge サーバのセンサーインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール	Dell EMC PowerEdge サーバの物理およびチーミングされたネットワークインタフェースインスタンスを検出します (詳細エディションのみ)。
Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール	ネットワークインタフェースグループを検出します。
Dell EMC ラック型ワークステーショングループ検出	Dell EMC ラック型ワークステーショングループを検出します。
Dell 管理対象外サーバーグループ検出	Dell 機器がない、サポートされていない OMSA バージョンである、または必要なバージョンより前のバージョンの機器があるのいずれかが原因で監視されていない Dell EMC PowerEdge サーバを検出します。

Operations Manager での Dell EMC PowerEdge サーバの監視

Operations Manager の **監視** ペインを使用して、検出された Dell EMC PowerEdge サーバに関する正常性情報をすべて提供するビューを選択します。重大度レベルのインジケータ は、ネットワーク上の Dell EMC PowerEdge サーバの正常性を示すのに役立ちます。

これには、一定間隔およびイベント発生時の両方におけるモジュラーサーバ、およびサポートされる Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性の監視が含まれます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視の拡張可能エディションと詳細エディションでサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 8. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
iDRAC	有	有
メモリ	有	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ネットワークインタフェースグループ	有	有
OpenManage Software サービス	有	有
電源装置	有	有
プロセッサ	有	有
保管時	有	有
ストレージコントローラー	有	有
センサー	有	有
物理ネットワークインタフェースのインスタンス	無	有
BIOS 設定のユニット	無	無
バッテリセンサー	無	有
バッテリーセンサーグループ	無	有
電流センサー	無	有
電流センサーグループ	無	有
シャーシイントルージョンセンサー	無	有
ファンセンサー	無	有
ファンセンサーグループ	無	有
メモリユニット	無	有
ネットワークインタフェース物理グループ	無	有
ネットワークインタフェースチーミンググループ	無	有
プロセッサユニット	無	有
電源装置ユニット	無	有
ストレージコントローラ物理ディスクユニット	無	有
ストレージコネクタ物理ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラコネクタユニット	無	有
ストレージコントローラエンクロージャユニット	無	有
ストレージコントローラセンサー	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージエンクロージャ EMM ユニット	無	有
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ	無	有
ストレージエンクロージャ電源装置グループ	無	有
ストレージエンクロージャセンサー	無	有
チーミングされたネットワークインタフェースユニット	無	有
電圧センサー	無	有
電圧センサーグループ	無	有

Dell EMC Server Management Pack 7.1 - Operations Manager コンソールでの Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの表示オプション

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Operations Manager コンソールの **監視** > **Dell EMC** をクリックすると、監視用に次のタイプのビューを提供します。

- Dell EMC アラートビュー
- Dell EMC ダイアグラムビュー
- Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- Dell EMC 状態ビュー

Dell EMC アラートビュー

このビューは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートが表示されます。

- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション用の OpenManage Server Administrator から受信したイベントのアラート。

  メモ: 情報アラートはデフォルトでオフになっています。情報アラートを有効にするには、Dell EMC Feature Management Dashboard 上で、サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の 情報アラートをオンに設定 タスクを実行します。

- Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカード（NIC）から受け取ったイベントのアラートをリンクアップおよびリンクダウンします。

Operations Manager コンソールでの Dell EMC サーバおよびラック監視機能のアラートの表示

Operations Manager コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを開始し、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** をクリックします。

  次のアラートが表示されます。

  - **Dell EMC ネットワークインタフェースアラート** ビュー — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラート。
  - **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラートビュー** — Dell サーバおよびラック型ワークステーションからの OMSA アラート。
  - **Dell EMC ラック型ワークステーションアラートビュー**
    - **Dell EMC ネットワークインタフェースアラート** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラート。

- **Dell EMC ラック型ワークステーションアラート** — ラック型ワークステーションからの OMSA アラート。

2 任意のアラートビューを選択します。

各アラートビューの右ペインに、アラートの重要度、解決状態、ユーザーに割り当てられたアラートなどのユーザー指定の条件を満たすアラートが表示されます。

3 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

Operations Manager コンソールにおける Dell EMC PowerEdge サーバの Dell EMC サーバおよびラック監視機能のダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell EMC PowerEdge サーバおよび対応ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

Operations Manager コンソールでの Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション機能の Dell EMC ダイアグラムビューを表示する

Operations Manager コンソールで Dell EMC ダイアグラムビューを表示するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールを開始し、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC ダイアグラムビュー** をクリックします。

2 **Dell EMC ダイアグラムビュー** フォルダに移動して、次の内容を表示します。

- Dell EMC 完全ダイアグラムビュー
- **Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー**
  - Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー
- **Dell EMC サーバのダイアグラムビュー**
  - Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー
  - Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー
  - Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー

3 **Dell EMC ダイアグラムビュー** を選択します。

右側のペインに、選択した Dell EMC サーバまたはラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC 完全ダイアグラムビュー

Dell EMC 完全ダイアグラムビュー には、Operations Manager が監視するすべての Dell EMC デバイスが図で表示されます。図では、個々のデバイスとそのコンポーネントのステータスを展開して確認できます。次の詳細を表示することができます。

- Dell EMC モジュラーサーバおよびモノリシックサーバ
- Dell EMC Sled グループ
- Dell EMC ラック型ワークステーショングループ
- Chassis Management Controller
- Remote Access Controller
- Dell EMC 管理対象外システム

Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー

Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー では、サポートしているすべての Dell EMC ラック型ワークステーションが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやそのコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内のラック型ワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC モジュラーシステムおよび Dell EMC モノリシックシステム

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー と **Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー** には、次の詳細が表示されます。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源ユニット
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS（インベントリのみ）
- iDRAC

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー

モジュラーシステムのダイアグラムビュー は、すべての Dell EMC モジュラーシステムの図が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー

Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビューでは、すべてのモノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー

Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー では、すべての Sled サーバが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内の Sled サーバを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Operations Manager コンソールの Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能による Dell EMC PowerEdge サーバユニットのダイアグラムビュー

Dell EMC モジュラーシステムビュー または **Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー** から Dell EMC PowerEdge サーバを選択し、その特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。

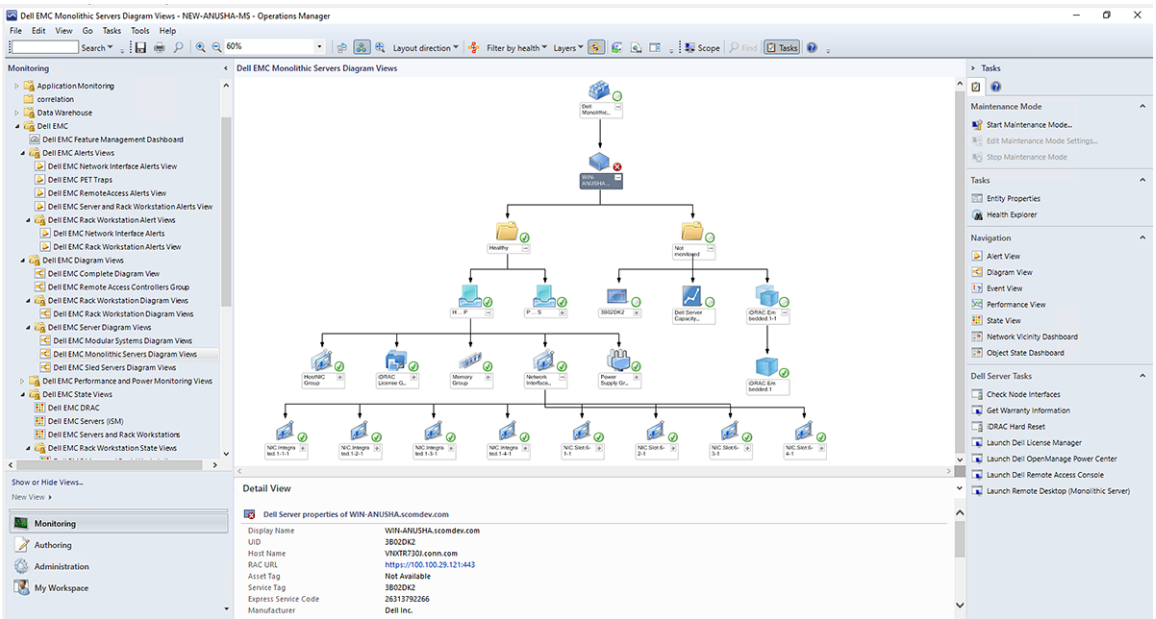

図 2. Dell EMC PowerEdge サーバユニットのダイアグラム

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源ユニット
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage ソフトウェアサービス
- ストレージコンポーネント
- BIOS（インベントリのみ）

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の詳細エディションによって、メモリ、プロセッサ、ネットワーク、センサー、ストレージ、および電源装置コンポーネントの詳細が表示されます。

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ドライブ、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントのステータスと正常性を表示するには、任意の Dell EMC システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

Dell EMC ネットワークインタフェースコンポーネント階層

Dell EMC ネットワークインタフェースグループは、Intel または Broadcom ネットワークインタフェースカードが存在し、Dell EMC PowerEdge サーバで有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワークインタフェースは、**物理インタフェース** と **チーミングされたインタフェース** にグループ化されます。ネットワークインタフェースを無効にすると、次の検出サイクルでネットワークインタフェースグループが管理から削除されます。

チーミングされたネットワークインタフェースと、それに関連する物理ネットワークインタフェースの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、**Dell EMC Windows Server の物理およびチーミング関係検出** の **相関関係の有効化** 属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細に関しては、「相関関係の有効化」を参照してください。

相関関係の有効化

相関関係の有効化 属性を有効にするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を開始します。
2 ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3 **オーサリング** タブで、**管理パックオブジェクト** > **オブジェクト検出**とクリックします。
4 **次を検索** フィールドで `Dell Windows Server Physical and Teamed Relationship Discovery Rule` を検索します。
5 右クリックで **Dell Windows サーバ物理関係およびチーミングされた関係の検出ルール** > **上書き** > **オブジェクト検出の上書き** > **クラスの全オブジェクト：チーミングされたネットワークインタフェースインスタンス（エンリッチ）** と進みます。

   プロパティの上書き ページが表示されます。
6 **相関関係の有効化** を選択して、**上書き値** を **True** に設定し、**OK** をクリックします。

ダイアグラムビューにあるネットワークインタフェースのステータスロールアップは、**ネットワークインタフェース** グループレベルまでのみが表示されます。たとえば、Dell システムの残りのコンポーネントが正常で、1 つのみ、または複数のネットワークインタフェースが重要または非重要状態である場合、Dell システムでは正常性状態の正常アイコンが表示され、**ネットワークインタフェース** グループでは重要または警告アイコンが表示されます。

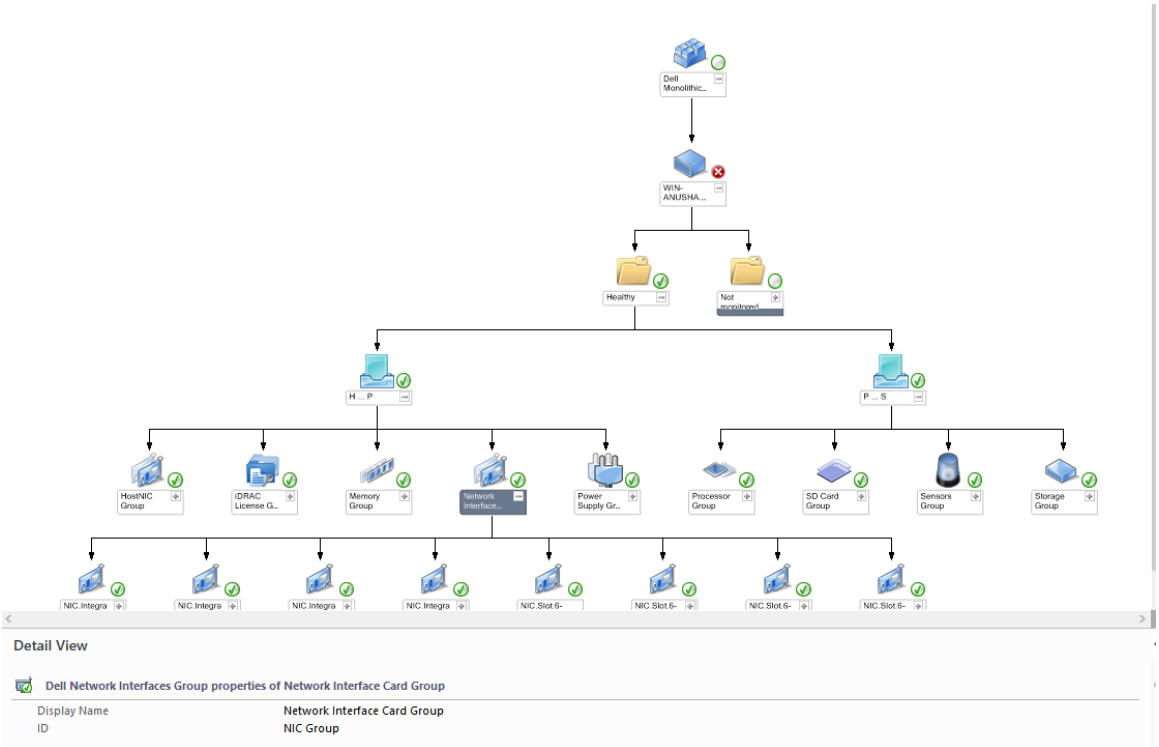

図 3. ネットワークインタフェースのダイアグラムビュー

ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップの有効化

サーバーレベルでのステータスロールアップを表示するには、**ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ** 依存性監視を有効化する必要があります。

1 Operations Manager コンソール を開始します。
2 ナビゲーションペインで、**オーサリング** をクリックします。
3 左ペインで **監視** をクリックします。**ネットワークインタフェースグループ** をフレーズとして入力し、機能を有効にするサーバを検索します。たとえば、Dell Windows Server などです。
4 **エンティティ正常性** > **可用性** とクリックします。

5 **ネットワークインタフェースグループから Dell サーバへの正常性ロールアップ** を右クリックし、**上書き** > **監視の上書き** > **クラスの全オブジェクト: Dell Windows サーバ** を選択します。

上書きプロパティ 画面が表示されます。

6 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。

7 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択 :** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規** をクリックして管理パックを作成します。

管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

a **新規** をクリックします。

管理パックの作成 画面が表示されます。

b **名前** ボックスで管理パックの名前を入力して、**次へ** をクリックします。

管理パックの作成方法については、https://technet.microsoft.com/en-us/ にある Operations Manager 関連情報を参照してください。

c **作成** をクリックします。

宛先の管理パックの選択 ドロップダウンメニューで、作成された管理パックが選択されています。

8 **適用** をクリックします。

Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー

Dell EMC パフォーマンスと電源監視を Operations Manager コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動し、**監視** をクリックします。

2 **監視** ペインで、**Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、以下のビューを表示します。

- **環境温度 (セ氏)**
- **アンペア数 (アンペア)**
- **Dell EMC シャーシパフォーマンスビュー**
- **Dell EMC パフォーマンスビュー**
- **Dell EMC パフォーマンスビュー (iSM)**
- **Dell EMC サーバパフォーマンスビュー**
- **ディスクパフォーマンス - iSM (%)**
- **エネルギー消費量 (kWh)**
- **ピークアンペア数 (アンペア)**
- **ピーク電力 (ワット)**
- **電力消費量 (BTU/ 時)**
- **電力消費量 (ワット)**

メモ: 電力監視は、特定の属性の電力監視機能を備えた Dell EMC PowerEdge サーバにのみ適用されます。この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の詳細エディションが存在する場合にのみ有効になります。

メモ: ディスクパフォーマンスビュー - iSM (%) は、デフォルトでは無効になっており、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の詳細エディションがインストールおよびインポートされた場合にのみ表示されます。

3 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。

収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、パフォーマンスカウンタを 2 サイクル連続して監視し、しきい値を超えているかどうかを確認します。しきい値を超えると、Dell EMC PowerEdge サーバの状態が変化し、アラートが生成されます。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。Operations Manager コンソールの **オーサリング** ペインのしきい値を上書き (有効化) できます。ユニット監視は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の **Dell Windows サーバ** オブジェクトで使用できます。ユニット監視のしきい値を有効にするには、「パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化」を参照してください。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、「パフォーマンスコレクションルール」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

1 Operations Manager コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
2 **管理パックオブジェクト** > **監視** をクリックし、**次を検索：** フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
3 **Dell Windows サーバー** > **パフォーマンス** をクリックします。
4 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
5 **上書き** > **監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。

   例えば、クラス：Dell Windows サーバのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラスの全オブジェクト：Dell Windows サーバ** を選択します。

   上書きプロパティ 画面が表示されます。
6 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
7 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択：** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規** をクリックして管理パックを作成します。

   管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

   a **新規** をクリックします。

      管理パックの作成 画面が表示されます。
   b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。

      管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
   c **作成** をクリックします。

      宛先の管理パックの選択 ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
8 **適用** をクリックします。

Dell EMC 状態ビュー

このビューは、すべての Dell サーバおよびラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。ネットワーク上の Operations Manager によって管理されている各 Dell サーバおよびラック型ワークステーションを表示するには、Operations Manager コンソールで **監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC 状態ビュー** をクリックします。

次のビューで、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションのステータスを表示できます。

- **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの状態ビュー**
- **Dell EMC ラック型ワークステーションの状態ビュー**
  - **Dell EMC 管理対象ラック型ワークステーションの状態ビュー**
- **Dell EMC サーバ状態ビュー**
  - **Dell EMC FM サーバ状態ビュー**
  - **Dell EMC Sled サーバの状態ビュー**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション機能のための Dell ユニット監視

Dell ユニット監視は監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価します。この評価の結果が、対象の正常性状態を決定します。

Dell ユニット監視には以下が含まれます。

- **イベント監視** — この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによってトリガされ、対応するオブジェクトの正常性を示します。
- **定期監視** — 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

次の表には、各種 Dell 監視と該当するパラメータが説明されています。

Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション

ライセンス不要な監視機能で発生する可能性のあるさまざまな状況を評価するための監視です（拡張可能エディション監視対象オブジェクト）。

表 9. Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション

オブジェクト		ユニット監視
メモリ		
	Dell EMC サーバメモリステータス	定期的
	Dell EMC サーバメモリ冗長ステータス	定期的
OpenManage Software サービス		
	Dell EMC Server Management（DSM）接続サービス可用性ステータス	定期的
	DSM Data Manager 可用性ステータス	定期的
	DSM Event Manager 可用性ステータス	定期的
	DSM Shared Service 可用性ステータス	定期的
	DSM Storage Service 可用性ステータス	定期的
	Windows Management Instrumentation（WMI）サービス可用性ステータス	定期的
電源装置		
	Dell EMC サーバ電源装置ステータス	定期的
プロセッサ		
	Dell EMC サーバプロセッサステータス	定期的
センサー		
	Dell EMC サーババッテリ状態	定期的
	Dell EMC サーバの現在のステータス	定期的
	Dell EMC サーバファン状態	定期的
	Dell EMC サーバイントルージョンセンサーステータス	定期的

オブジェクト		ユニット監視
	Dell EMC サーバ温度センサーステータス	定期的
	Dell EMC サーバ電圧センサーステータス	定期的
ストレージコントローラー		
	ストレージコントローラステータス	定期的
ネットワークインタフェースグループ（ベーシック）		
	グローバルネットワークインタフェース（ベーシック）接続性ステータス	定期的
ネットワークインタフェースグループ（エンリッチ）		
	グローバルエンリッチネットワークインタフェースステータス	定期的
	グローバルネットワークインタフェース（ベーシック）接続性ステータス	定期的
iDRAC		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース監視	定期的
Dell OM パフォーマンス		
	周囲温度の平均しきい値アラート監視	定期的
	アンペア数の平均しきい値アラート監視	定期的
	エネルギー消費量の平均しきい値アラート監視	定期的
	消費電力（BTU/ 時間）の平均しきい値	定期的
	消費電力（ワット）の平均しきい値アラート監視	定期的
	Dell OM サーバー非対応ユニット監視	定期的

Dell ユニット監視 — 詳細エディション

表 10. Dell ユニット監視 — 詳細エディション

オブジェクト		ユニット監視
メモリユニット		
	メモリイベント詳細監視	定期的
	メモリユニット詳細監視	定期的
電源装置ユニット		

オブジェクト		ユニット監視
	電源装置詳細	定期的
プロセッサユニット		
	プロセッサ詳細	定期的
ストレージコントローラコネクタユニット		
	コントローラコネクタイベント監視	定期的
	コントローラコネクタユニット監視	定期的
ストレージコントローラ EMM ユニット		
	エンクロージャ EMM イベント監視	定期的
	エンクロージャ EMM ユニット監視	定期的
ストレージコントローラエンクロージャユニット		
	コントローラエンクロージャイベント監視	定期的
	コントローラエンクロージャユニット監視	定期的
ストレージコントローラ物理ディスクユニット		
	コントローラ物理ディスクイベント監視	定期的
	コントローラ物理ディスクユニット監視	定期的
	エンクロージャ物理ディスクイベント監視	定期的
	エンクロージャ物理ディスクユニット監視	定期的
ストレージコントローラ電源装置ユニット		
	エンクロージャ電源装置イベント監視	定期的
	エンクロージャ電源装置ユニット監視	定期的
ストレージコントローラセンサー		
	コントローラセンサーイベントユニット監視	定期的
	コントローラセンサーユニット監視	定期的
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ		定期的
ストレージコントローラ仮想ディスクユニット		定期的
	コントローラ仮想ディスクイベント監視	定期的

オブジェクト		ユニット監視
	コントローラ仮想ディスクユニット監視	定期的
ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ		定期的
ストレージエンクロージャセンサー		
	エンクロージャファンイベントユニット監視	定期的
	エンクロージャファンユニット監視	定期的
	エンクロージャ温度イベント監視	定期的
	エンクロージャ温度ユニット装置	定期的
物理ネットワークインタフェースユニット（ベーシック）		
	接続ステータス	定期的
物理ネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）		
	管理状態	定期的
	接続ステータス	定期的
	リンクステータス	定期的
	動作ステータス	定期的
チーミングされたネットワークインタフェースユニット（ベーシック）		
	チーミングされたネットワークインタフェース（ベーシック）可用性ステータス	定期的
チーミングされたネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）		
	チーミングされたネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）管理ステータス	定期的
	チーミングされたネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）接続ステータス	定期的
	チーミングされたネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）リンクステータス	定期的
	チーミングされたネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）動作ステータス	定期的
	チーミングされたネットワークインタフェースユニット（エンリッチ）冗長ステータス	定期的
ファンセンサー		
	ファンセンサーユニット監視	定期的

オブジェクト		ユニット監視
電流センサー		
	電流センサーユニット監視	定期的
電圧センサー		
	電圧センサーユニット監視	定期的
バッテリセンサー		
	バッテリセンサーユニット監視	定期的
シャーシイントルージョンセンサー		
	シャーシイントルージョンセンサーユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、OMSA および OMSA Storage Management イベントのルールを処理します。

Server Administrator

OMSA の情報、警告、および重要イベントにはすべて、対応するイベント処理ルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムイベントログ

ストレージ管理

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID（イベント ID） = Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

Operations Manager で設定された Dell EMC サーバのパフォーマンスコレクションルールの表示

Operations Manager コンソールで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、Dell EMC PowerEdge サーバから収集されたパフォーマンス情報を表示します。デフォルトでこの機能は無効になっています。この機能を有効にするには、「パフォーマンスコレクションルールの有効化」を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、以下のパラメータについての情報を収集します。

- **ディスクパフォーマンス（%）**
- **環境温度（セ氏）**
- **アンペア数（アンペア）**
- **エネルギー消費量（kWh）**
- **ピークアンペア数（アンペア）**
- **ピーク電力（ワット）**
- **物理ネットワークインタフェース**
- **電力消費量（BTU/ 時）**
- **電力消費量（ワット）**
- **チーミングされたネットワークインタフェース**

メモ:

- サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の詳細エディションをインポートすると、無効のパフォーマンス（ネットワークパフォーマンスを除く）とライセンス不要のディスクパフォーマンス（%）コレクションルールがデフォルトで有効になります。
- **ディスクパフォーマンス（%）** — このビューには Dell サーバのソリッドステートドライブ（SSD）の **残存する定格書き込み耐久性** が表示されます。このデータを表示するには、オブジェクトの **SSD** を検索してください。

メモ: ネットワーク統計情報は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の詳細エディションでのみ定義され、デフォルトでは無効になっています。この機能を有効にするには、「パフォーマンスコレクションルールの有効化」を参照してください。

Operations Manager コンソールで設定された Dell EMC PowerEdge サーバのパフォーマンスコレクションルールの有効化

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動し、**オーサリング** をクリックします。
2 **ルール** をクリックし、**次を検索** で エンリッチ を検索します。
3 有効にするルールを右クリックします。
例えば、すべての Dell システムのネットワークインタフェースの情報を収集するには、下記のルールに対して手順 4 ~ 5 を実行します。
   - 送信されたパケットの総数
   - 受信されたバイト数
   - 受信されたパケット総数
   - 送信されたバイト数
4 **上書き** > **ルールの上書き** > **クラスの全オブジェクト** と選択します。
5 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
6 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または **新規** をクリックして新しい管理パックを作成します。
新しい管理パックを作成するには、次の手順を実行します。
   a **新規** をクリックします。
   管理パックの作成 画面が表示されます。
   b **名前** で管理パックの名前を入力して、**次へ** をクリックします。
   管理パックの作成についての情報は、https://technet.microsoft.com/en-us/ にある Operations Manager 関連情報を参照してください。
   c **作成** をクリックします。
   宛先の管理パックの選択 ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
7 **適用** をクリックします。

Dell EMC PowerEdge サーバタスク

タスクは、Operations Manager コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

管理下タスクの概要

Operations Manager コンソールの **管理パックオブジェクト** の下の **オーサリング** でタスクを表示できます。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能を使用したタスクの実行

次の表では、Operations Manager 上で実行できる Dell タスクの概要を説明します。

表 11. Dell Windows サーバタスク

タスク	説明
ノードインタフェースの確認	選択した Dell EMC PowerEdge サーバと対応するインタフェースを確認し、WMI が到達可能か到達不能かを確認します。
電源ステータスのチェック	システムの全体的な電源ステータスを確認します。
ESM ログのクリア	選択したシステムの Embedded System Management（ESM）ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアします。
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 **メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。**
X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を開始します。
Dell OpenManage Power Center の起動	管理サーバ上で Dell OpenManage Power Center コンソールを開始します。
Dell Remote Access Console の起動	サーバおよびラック型ワークステーション監視機能を使用して検出された Dell EMC PowerEdge サーバの DRAC コンソールを開始します。
OpenManage Server Administrator の起動	OpenManage Server Administrator を開始します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを開始します。
パワーサイクル	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。

タスク	説明
正常電源オフ	最初にオペレーティングシステムをシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源を入れます。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合にのみ使用できます。
電源リセット	システム電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。

Operations Manager コンソールを使用して Dell Windows サーバで実行されるタスク

ノードインタフェースの確認

ノードインタフェースの確認タスクは、選択した Dell サーバと対応するインタフェースを確認し、WMI が到達可能か到達不能かを確認します。
ノードインタフェースを確認するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 ダイアグラムビュー または 状態ビュー のどちらかで必要な Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **ノードインタフェースの確認** と選択します。

このタスクでは、接続チェックの概要を表示し、タスクが正常に完了した後のインタフェースを確認します。

電源ステータスのチェック

電源ステータスをチェックして、IPMI シェルを介した電源制御タスクを許可します。

メモ: 高度な電源制御を有効にするには、ベースボード管理コントローラ管理ユーティリティ（BMU）をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。新しいコンソールタスクの作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

システムの電源ステータスをチェックするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビューに移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **電源ステータスのチェック** と選択します。

ESM ログのクリア

ハードウェアログとも呼ばれる Server Administrator Embedded Server Management（ESM）ログは、エラー修正コード（ECC）、システムのリセットと起動、およびプローブしきい値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。

ESM ログのクリア タスクを行うには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **ESM ログのクリア** を選択します。

タスクの実行 ウィンドウが表示されます。

4 **実行** をクリックして、選択したデバイスの ESM ログをクリアします。

ESM ログのクリア タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。たとえば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、**ESM ログのクリア** タスクの開始が成功したことを表しています。

強制電源オフ

強制電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンせずに Dell EMC PowerEdge サーバの電源をオフにすることができます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。コンソールタスクの新規作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **強制電源オフ** を選択します。

保証情報の取得

保証情報の取得 タスクでは、選択した Dell EMC PowerEdge サーバの保証ステータスを表示することができます。

メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバータスク** > **保証情報の取得**と選択します。

X64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

X64 ビット管理サーバで Dell License Manager を起動 タスクでは、64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスを一対多でライセンス展開し、レポートを作成するツールです。

メモ: Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を開始するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「License Manager 起動タスクの作成」を参照してください。

Dell License Manager を開始するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで必要な Dell サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **X64 ビット管理サーバで Dell License Manager を起動** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

OpenManage Power Center を起動します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

OpenManage Server Administrator の起動

OpenManage Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **Server Administrator の起動** を選択します。

メモ: Dell EMC Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビューに移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **リモートデスクトップの起動** を選択します。

メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

電源の入れ直し

パワーサイクル タスクでは、Dell EMC PowerEdge サーバの電源をオフにした後、間隔をおいて電源オンにすることができます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。コンソールタスクの新規作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **パワーサイクル** と選択します。

正常電源オフ

正常電源オフ タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンして Dell EMC PowerEdge サーバの電源を切ることができます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。新しいコンソールタスクの作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **正常電源オフ** と選択します。

電源オン

電源オン タスクでは、サーバの電源をオンにすることができます。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合でも使用できます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。新しいコンソールタスクの作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **電源オン** を選択します。

電源リセット

電源リセット タスクでは、Dell EMC PowerEdge サーバの電源をオフにしてから電源をオンにすることができます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。新しいコンソールタスクの作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **電源リセット** を選択します。

Operations Manager コンソールで Dell EMC PowerEdge サーバ上の LED 識別表示を有効にする

LED 識別表示オン タスクでは、選択した Dell EMC PowerEdge サーバ上の LED 識別表示をオンにすることができます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。新しいコンソールタスクの作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビューに移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **LED 識別表示をオンにする** と選択します。

Operations Manager コンソールを使用して Dell EMC PowerEdge サーバの LED 識別表示を無効にする

LED 識別表示オフ タスクでは、選択した Dell EMC PowerEdge サーバ上の LED 識別表示をオフにすることができます。

メモ: アドバンス電源制御 を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、コンソールタスクを新規に作成します。新しいコンソールタスクの作成の詳細については、「アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成」を参照してください。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、Dell EMC ダイアグラムビュー、Dell EMC 状態ビュー、または Dell EMC アラートビュー に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Windows サーバタスク** > **LED 識別表示をオフにする** を選択します。

Operations Manager の Dell EMC PowerEdge サーバに関するレポート

レポート機能では、Dell EMC OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバ BIOS、ファームウェア、および RAID 設定についてのレポートを作成できます。

メモ:

- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視機能は、オブジェクトレベルに対してのみレポートをサポートします。
- Dell サーバ BIOS、ファームウェア、および RAID 設定のレポートは、詳細エディションのみで使用可能です。

Operations Manager で Dell EMC PowerEdge サーバに関するレポートを表示する

レポートにアクセスするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで **レポート** をクリックします。

2 **OpenManage Windows イベントログ** の場合は **Dell Windows サーバ（拡張可能エディション）** をクリックし、**BIOS 設定**、**ファームウェアおよびドライバのバージョン**、**RAID 設定** レポートの場合は **Dell Windows サーバ（詳細エディション）** をクリックします。

メモ: サーバインスタンスをクリックして、ダイアグラムビュー または 状態ビュー から レポート にアクセスすることもできます。Dell レポート のオプションは、Dell システムのインスタンスレポートの下の タスク ペインにあり、デフォルトの Microsoft レポートと一緒に表示されます。

Operations Manager での OpenManage Windows イベントログレポートの生成

OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**レポート** をクリックします。

2 **Dell Windows Server（拡張可能エディション）** をクリックします。

3 **OpenManage Windows イベントログ** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。

4 生成するレポートの対象期間を選択します。

5 **オブジェクトの追加** をクリックします。

6 `Dell Windows Server` クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。

選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。

7 生成するレポートの対象となるイベントの **重要度** を選択します。

8 **実行** をクリックします。

OpenManage Windows イベントログ レポートが生成されます。

Operations Manager での BIOS 設定レポートの生成

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**レポート** をクリックします。

2 **Dell Windows Server（詳細エディション）** をクリックします。

3 **BIOS 設定** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。

4 生成するレポートの対象期間を選択します。

5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
6 `Dell Windows Server` クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7 必要とする **プロパティ** を選択します。
8 **実行** をクリックします。
BIOS 設定 レポートが生成されます。

Operations Manager でのファームウェアおよびドライバレポートの生成

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**レポート** をクリックします。
2 **Dell Windows Server（詳細エディション）** をクリックします。
3 **ファームウェアとドライババージョン** をクリックし、**タスク** ペインで **開く** をクリックします。
4 生成するレポートの対象期間を選択します。
5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
6 `Dell Windows Server` クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7 **実行** をクリックします。
ファームウェとドライババージョン のレポートが生成されます。

Operations Manager での RAID 設定レポートの生成

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**レポート** をクリックします。
2 **Dell Windows サーバー（詳細エディション）** をクリックします。
3 **RAID 設定** をクリックして、**タスク** ペインの **開く** をクリックします。
4 生成するレポートの対象期間を選択します。
5 **オブジェクトの追加** をクリックします。
6 `Dell Windows Server` クラスのオブジェクトを検索し、**追加** をクリックします。
選択されたオブジェクト ペインにオブジェクトが表示されます。
7 必要とする **プロパティ** を選択します。
8 **実行** をクリックします。
RAID 設定 レポートが生成されます。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能は、次のデバイスの検出および監視方法に基づいて、詳細または拡張可能インベントリを提供します。

- 第 12 ~ 14 世代 PowerEdge サーバ
- PowerVault サーバ
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバー

- Dell OEM Ready サーバー
- PowerEdge Storage Space Direct Ready ノード

これらのデバイスのインベントリおよび監視は、監視プリファレンスに基づいて、次の方法のいずれかで管理下 Dell EMC サーバまたはラック型ワークステーションにインストールされた iDRAC または iDRAC サービスモジュール（iSM）から実行できます。

- iDRAC–WS-MAN
- ホスト OS を介した iDRAC アクセス
- iSM–WMI

これは、ライセンス付きの機能です。

iDRAC-WS-MAN またはホスト OS からのサーバの監視に関する詳細については、『*Dell EMC OpenManage Integration Version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager User's Guide*』（Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 ユーザーズガイド）の「Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）機能」のセクションを参照してください。

iSM の対応プラットフォームのリストについては、**Dell.com/manuals** の『*iDRAC Service Module Installation Guide*』（iDRAC サービスモジュールインストールガイド）を参照してください。

Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.1 Operations Manager を使用した iSM-WMI

このセクションでは、iSM-Windows Management Instrumentation（WMI）を使用して Dell EMC デバイスを監視して、対応 Dell EMC デバイスから詳細を取得する方法について説明します。
このオプションは、第 12 世代、第 13 世代、および第 14 世代 PowerEdge サーバおよびサポートされている Dell EMC Precision ラック型ワークステーションの拡張可能なインベントリと監視を提供します。サポートされるプラットフォームの詳細については、**Dell.com/manuals** にある『*iDRAC Service Module Installation Guide*』（iDRAC サービスモジュールインストールガイド）を参照してください。これは、ライセンス付きの機能です。

前提条件が満たされている場合、Dell EMC Server Management Pack Suite インストーラおよび OMIMSSC は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を自動的にインポートします。

拡張可能エディションおよび詳細エディション機能の比較 - iSM-WMI

次の表は、iSM-WMI を使用して検出されたデバイスの拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。これらのデバイスは、Operations Manager コンソールで **サーバ（iSM-WMI）** として分類されます。

表 12. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
Dell EMC PowerEdge サーバ（iSM）	• 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 • サーバ、Dell EMC ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。	• 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 • 電源、温度のメトリックス、エネルギー、ネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、CUPS（1 秒あたりの使用率の計算）、PCIe SSD 摩耗率、および IO パフォーマンスメトリックを表示します。

iSM-WMI から DSMPS バージョン 7.1 を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの検出および分類

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Dell EMC PowerEdge サーバの検出および分類を可能にします。

次の表は、iSM-WMI を使用した Dell EMC サーバおよびラック監視（ライセンス対象）機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 13. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC PowerEdge サーバ	Dell EMC モノリシックサーバ Dell EMC モジュラーサーバ Dell EMC Sled グループ	PowerEdge サーバ
Dell EMC ラック型ワークステーション	Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラム	Dell Precision ラック型ワークステーション

iSM–WMI を使用した Dell EMC Power Edge サーバの検出

iSM–WMI を使用して Dell デバイスを検出する前に、次の前提条件を満たしていることを確認します。

- iSM の必要なバージョンが管理下ノードにインストールされている。

  メモ: Microsoft Nano Server を実行しているシステムで iSM–WMI からデバイスを監視している場合は、Dell.com/support にある『*iDRAC Service Module Installation Guide*』(iDRAC サービスモジュールインストールガイド) の「Nano オペレーティングシステムへの iDRAC サービスモジュールのインストール」の項を参照してください。

- Windows Management Instrumentation（WMI）機能がホストで有効に設定されている。

  詳細については、**Dell.com/idracmanuals** で『*Integrated Dell Remote Access Controller7/8/9 with Lifecycle Controller User's Guide*』（Integrated Dell Remote Access Controller7/8/9 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド）の「**Windows Management Instrumentation プロバイダ**」の項を参照してください。

- Dell EMC Feature Management Dashboard で、**エージェントプロキシの有効化** タスクが、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）の監視機能のため実行されている。

Dell EMC PowerEdge サーバは、Operations Manager エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

メモ: Dell EMC PowerEdge サーバは、Operations Manager コンソールの 管理 セクションにある エージェント管理対象 ビューで検出します。

Dell EMC PowerEdge サーバを検出するには、次の手順を実行します。

1. Operations Manager 管理者として管理サーバにログオンします。
2. Operations Manager コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**Windows コンピュータ** を選択して、画面上の指示に従います。

   詳細については、**Technet.microsoft.com** にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。

   メモ: インストーラは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視(ライセンス対象)管理パックを Operations Manager に自動的にインポートします。インストーラが管理パックのインストールに失敗した場合は、Operations Manager の 管理パックのインポート ウィザード、または Dell EMC Feature Management Dashboard を使用して管理パックをインポートしてください。

次の図に示すように、**Dell EMC 状態ビュー** の下の **Dell EMC サーバ（iSM）状態ビュー** 下に検出済みデバイスが表示されます。

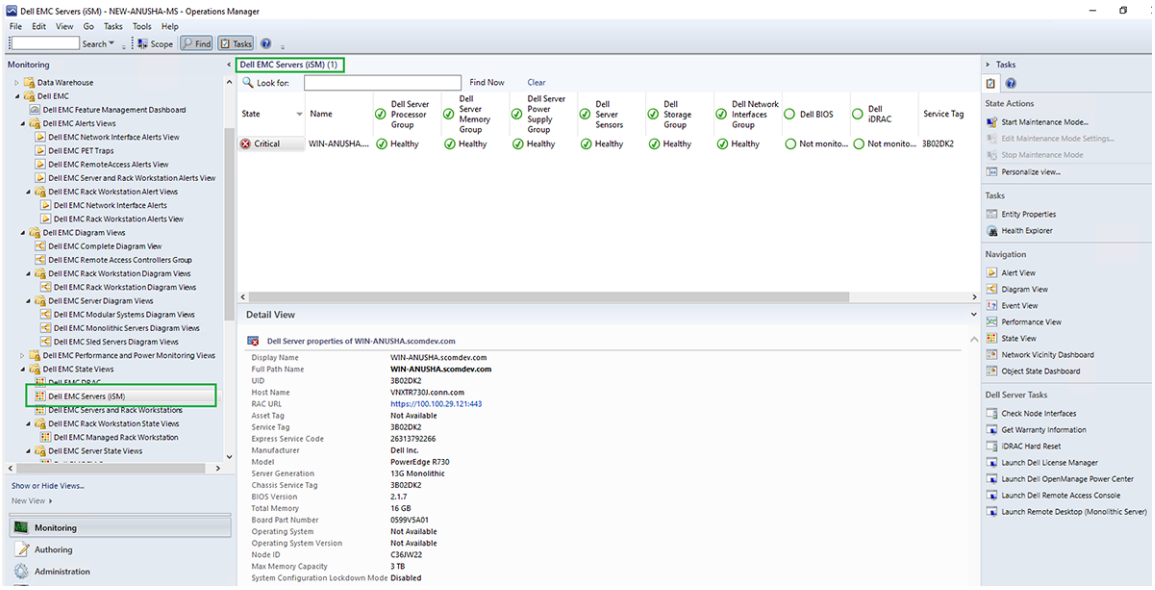

図 4. Dell EMC サーバ（iSM）

初めて iDRAC サービスモジュール（iSM）から Dell EMC PowerEdge サーバが検出されると、`Dell Server (iSM) informational alert` が生成されます。この情報アラートは、1 回限りのアラートです。

iSM-WMI を使用したオブジェクト検出

表 14. iSM-WMI を使用して検出されたオブジェクト。

検出オブジェクト	説明
Dell EMC PowerEdge サーバの検出	Dell EMC PowerEdge サーバを分類し、重要な属性およびコンポーネントにデータを投入します

監視

Operations Manager の **監視** ペインを使用して、検出された Dell EMC PowerEdge サーバの正常性情報を提供するビューを選択します。重大度レベルのインジケータ は、ネットワーク上の Dell EMC PowerEdge サーバの正常性を示すのに役立ちます。

これには、一定間隔とイベント発生時の両方における、Dell EMC モジュラーおよび Dell EMC モノリシックサーバと Dell Precision ラック型ワークステーションのグループレベルでの正常性の監視が含まれます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、iSM を使用した Dell EMC Server Management Pack Suite で検出された Dell EMC PowerEdge サーバの拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 15. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
バッテリーセンサーグループ	有	有
バッテリセンサー	無	有
BIOS ユニット	無	無
電流センサーグループ	無	無
電流センサー	無	無
ファンセンサーグループ	有	有
ファンセンサー	無	有
iDRAC	無	無
ホスト NIC グループ	有	有
ホスト NIC	無	有
iDRAC ライセンスグループ	有	有
iDRAC ライセンス	無	有
iDRAC ネットワークインタフェース	有	有
イントルージョンセンサーグループ	有	有
イントルージョンセンサー	無	有
メモリグループ	有	有
メモリユニット	無	有
ネットワークインタフェースグループ	有	有
ネットワークインタフェース	無	有
PCIe SSD バックプレーン	無	有
PCIeSSD 物理ディスク	無	有
PCIe SSD エクステンダ	無	有
プロセッサグループ	有	有
プロセッサユニット	無	有
電源装置グループ	有	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
電源ユニット	無	有
SD カードグループ	有	有
SD カード	無	有
ストレージグループ	有	有
ストレージコントローラー	無	有
ストレージコントローラバッテリーグループ	無	有
ストレージコントローラバッテリー	無	有
ストレージコネクタの内部 / 外部 / 直接接続物理ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラの内部 / 外部 / 直接接続物理ディスクインスタンス	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサーグループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	無	有
ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス	無	有
ストレージコントローラセンサー	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスク	無	有
ストレージエンクロージャ EMM ユニット	無	有
ストレージエンクロージャ電源装置グループ	無	有
ストレージエンクロージャ電源装置	無	有
ストレージエンクロージャセンサー	無	有
ストレージエンクロージャ温度センサー	無	有
ストレージエンクロージャ温度センサーグループ	無	有
チーミングされたネットワークインタフェースユニット	無	無
センサーグループ	有	有
温度センサーグループ	有	有
温度センサー	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
電圧センサーグループ	有	有
電圧センサー	無	有

Operations Manager コンソールでの iSM-WMI を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの表示オプション

Dell EMC Server Management Pack Suite および OMIMSSC は、Operations Manager コンソールの **監視** > **Dell EMC** で監視用に次のタイプのビューを提供します。

- Dell EMC アラートビュー
- Dell EMC ダイアグラムビュー
- Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- Dell EMC 状態ビュー

Dell EMC アラートビュー

このビューは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）からハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートが表示されます。

- Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントの リンクアップまたはリンクダウンアラート。

Operations Manager コンソール上での iSM–WMI を使用した Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）機能に対するアラートの表示

Operations Manager コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2 **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** をクリックします。
   次のアラートが表示されます。
   - **Dell EMC ネットワークインタフェースアラート** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
   - **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラート** - iDRAC7、iDRAC8、または iDRAC9 装備の第 12 世代、第 13 世代、および第 14 世代の PowerEdge サーバ、PowerVault サーバ、および Dell Precision ラックの SNMP トラップが表示されます。
   - **Dell EMC ラック型ワークステーションアラートビュー**
     - **Dell EMC ネットワークインタフェースアラート** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
     - **Dell EMC ラック型ワークステーションアラート**
3 任意の **アラートビュー** を選択します。
   各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4 **アラートの詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

Operations Manager コンソールでの Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）機能における Dell EMC PowerEdge サーバのダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell EMC PowerEdge サーバおよび対応 Dell EMC ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

Operations Manager コンソールで Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション (ライセンス対象) の Dell EMC ダイアグラムビューを表示する - iSM–WMI

Operations Manager コンソールでダイアグラムビューを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC ダイアグラムビュー** の順にクリックします。
2 次のビューについては、**Dell EMC ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
   - Dell EMC 完全ダイアグラムビュー
   - **Dell ラック型ワークステーションダイアグラムビュー**
     - Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー
   - **Dell サーバーダイアグラムビュー**
     - Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー
     - Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー
     - Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー
3 任意の **Dell EMC ダイアグラムビュー** を選択します。
   右側のペインに、選択した Dell EMC サーバまたはラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。
4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

iSM-WMI から検出された Dell EMC PowerEdge サーバの Dell EMC ダイアグラムビュー。

次の図は、WMI を使用した iSM から検出されたサーバーをダイアグラムビューで示しています。

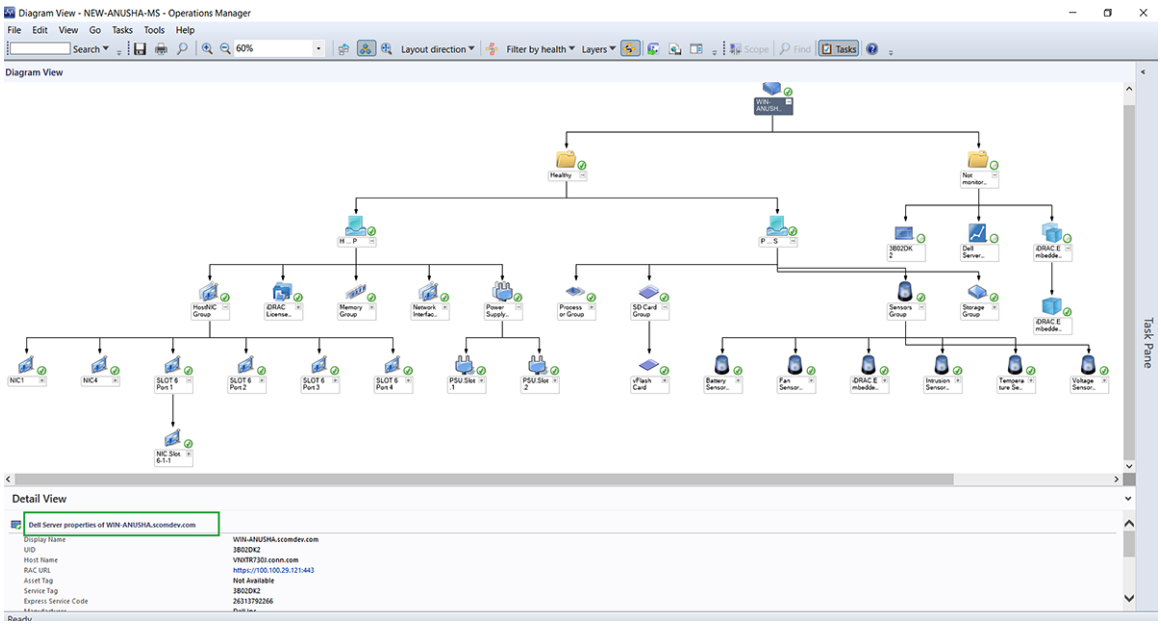

図 5. Dell EMC サーバ (iSM) ダイアグラムビュー

Dell EMC 完全ダイアグラムビュー

Dell EMC 完全ダイアグラムビュー には、Operations Manager で検出され監視するすべての対応 Dell EMC デバイスの図が示されます。**Operations Manager** では、個々のデバイス、およびそれらのコンポーネントのステータスを展開して確認することができます。以下の詳細を表示できます。次の詳細を表示することができます。

- Dell EMC モジュラーおよびモノリシックサーバ
- Dell EMC Sled グループ

- Dell EMC ラック型ワークステーション
- Chassis Management Controller
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外システム

Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー

Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー では、サポートしているすべての Dell EMC ラック型ワークステーションが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやそのコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内のラック型ワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC モジュラーおよび Dell EMC モノリシックシステム

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー と **Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー** には、次の詳細が表示されます。

- ネットワークインタフェースグループ
- メモリグループ
- 電源装置グループ
- センサーグループ
- プロセッサグループ
- ストレージコンポーネントグループ
- BIOS
- iDRAC
- ホスト NIC グループ
- SD カードグループ
- iDRAC ライセンスグループ

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー は、すべてのモジュラーシステムの図が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー

Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビューでは、すべてのモノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー

Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー では、すべての Sled サーバが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内の Sled サーバを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Operations Manager コンソールの Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション (ライセンス対象) 機能による Dell EMC PowerEdge サーバユニットダイアグラムビュー

Dell EMC モジュラーシステム または **Dell EMC モノリシックサーバ** のダイアグラムビューから Dell EMC PowerEdge サーバを選択し、特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- ネットワークインタフェースグループ

- メモリグループ
- 電源装置グループ
- センサーグループ
- プロセッサグループ
- ストレージコンポーネントグループ
- ホスト NIC グループ
- iDRAC ライセンスグループ
- PCIe/ SSD グループ
- SD カードグループ
- BIOS（インベントリのみ）
- iDRAC

iSM–WMI を使用した Dell EMC パフォーマンスビューおよび電力監視ビュー

メモ:

- システム基板の使用率メトリクスは、第 13 世代の PowerEdge サーバの一部でのみサポートされます。パフォーマンス情報の収集に関する詳細については、「Operations Manager で設定された Dell EMC サーバのパフォーマンスコレクションルールの表示」を参照してください。デフォルトでは、Dell サーバのパフォーマンスルールは無効に設定されています。
- **Dell EMC パフォーマンスビュー** には、CPU のパフォーマンスインデックス、メモリおよび I/O の使用率インデックス、およびシステムレベルの CUPS インデックスがグラフィック形式で表示されます。

パフォーマンスと電源監視を Operations Manager コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2 **監視** ペインで、**Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視** をクリックして、以下のビューを表示します。
   - **Dell パフォーマンスビュー（iSM）**
   - **ディスクパフォーマンス - iSM（%）**

     メモ: すべてのパフォーマンスメトリックルールは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能に対してデフォルトでは無効に設定されています。
3 **システム基板の使用率** メトリックを表示するには、**Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視** > **Dell EMC システム基板の使用率** をクリックして、以下のビューを表示します。
   - **CPU 使用率 - iSM（%）**
   - **IO 使用率 - iSM（%）**
   - **メモリ使用率 - iSM（%）**
   - **システム全体の使用率 - iSM（%）**
4 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲（必須値）を選択します。

   収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それが設定された重要しきい値を超過するかどうかをチェックします。重要しきい値を超過すると、サーバが状態を変更して重要アラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、Operations Manager コンソールの **オーサリング** ペインから上書き（有効化）することができます。ユニット監視は、ライセンス対象の監視機能のための **Dell サーバ** オブジェクトで使用できます。ユニット監視を有効にしてユニット監視のしきい値を設定するには、「パフォーマンスおよび電源監視ユニット監視の有効化」を参照してください。

パフォーマンス情報の収集に関する詳細については、「Operations Manager で設定された Dell EMC サーバのパフォーマンスコレクションルールの表示」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
2 **管理パックオブジェクト** > **監視** をクリックし、**次を検索：** フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
3 **Dell サーバ** > **パフォーマンス** をクリックします。
4 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
5 **上書き** > **監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。
たとえば、クラス：Dell サーバのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラスの全オブジェクト：Dell サーバ** を選択します。

上書きプロパティ 画面が表示されます。
6 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
7 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択：** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または管理パックを作成します。
管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

   a **管理パック** を右クリックして、**管理パックの作成** を選択します。
   管理パックの作成 画面が表示されます。
   b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
   管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
   c **作成** をクリックします。
   宛先の管理パックの選択： ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
8 **適用** をクリックします。

Dell EMC 状態ビュー

このビューは、すべての Dell EMC PowerEdge サーバと対応 Dell EMC ラック型ワークステーションの正常性を表示するために使用できます。Operations Manager コンソールで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC 状態ビュー** をクリックすると、ネットワーク上で Operations Manager によって管理されている各 Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの状態が表示されます。

次のグループのステータスを表示することができます。

- **Dell EMC 状態ビュー**
  - **Dell EMC サーバ（iSM）状態ビュー**
- **Dell EMC サーバ状態ビュー**
  - **Dell EMC Sled サーバ（iSM）状態ビュー**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。重要度レベルインジケータでは、Dell EMC Server Management Pack Suite がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の主要機能

本項では、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能で検出されたサーバの主な機能について説明します。

- システム設定ロックダウンモード
- iDRAC グループマネージャ
- 容量計画
- 障害が発生した CMC/MM の iDRAC 検出
- サーバポート接続情報

システム設定ロックダウンモード

システム設定ロックダウンモード機能は、第 14 世代の PowerEdge サーバの iDRAC で使用でき、ファームウェアのアップデートを含むシステム設定をロックします。この機能は、システムが誤って変更されないようにするためのものです。iDRAC コンソールを使用して、システム設定ロックダウンモードを有効または無効にできます。いったんシステム設定ロックダウンモードを有効にすると、システムの設定を変更することはできません。

システム設定ロックダウンモードの詳細は、**Dell EMC ダイアグラムビュー** の **詳細ビュー** ペインで表示できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide*』(Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 ユーザーズガイド) を参照してください。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出されたサーバで使用できます。

iDRAC グループマネージャ

iDRAC グループマネージャ機能は、第 14 世代 PowerEdge サーバで利用でき、同じローカルネットワーク上の iDRAC およびその関連サーバの基本的な管理を簡素化します。グループマネージャ機能により、別のアプリケーションを使用せずに一対多のコンソールを使用できるようになります。iDRAC グループ マネージャを使用して、サーバ障害の目視検査などの手動方式よりも強力な管理が可能になり、ユーザーは一連のサーバの詳細を確認することができます。

ダイアグラムビュー の **詳細ビュー** ペインで、**iDRAC** オブジェクトの下にある iDRAC グループマネージャ、iDRAC グループマネージャのステータス、および iDRAC グループ名の詳細を表示できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide*』(Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 ユーザーズガイド) を参照してください。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出されたサーバで使用できます。

容量計画

Dell サーバ容量チェック のユニット監視を使用して、サーバの使用率が設定された容量しきい値を超えたかどうかを監視できます。**Dell サーバ容量チェック** のユニット監視では、各サーバの最後の 1 日のシステムまたは CUPS の平均使用率が、設定されている容量しきい値と比較して監視されます。このユニット監視はデフォルトで **無効** に設定されています。**Dell サーバ容量チェック** のユニット監視を有効にするには、「Dell サーバ容量チェックのユニット監視を有効にする」を参照してください。

最小しきい値は 1 で、最大しきい値は 99 です。デフォルトのしきい値は 60 です。しきい値は、1 ~ 99 の範囲内で設定できます。指定した範囲以外のしきい値を指定すると、デフォルトのしきい値が想定されます。

最後の 1 日のシステムまたは CUPS の平均使用率が設定されたしきい値を超えると、サーバごとに警告イベントが生成されます。最後の 1 日のシステムまたは CUPS の平均使用率が設定されたしきい値内に戻ると、警告イベントが自動的に解決されます。

警告アラートの詳細は、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** > **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラートビュー** の下にある **アラート詳細** ペインに表示されます。

Dell サーバ容量チェック のユニット監視から取得した正常性状態は、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC 状態ビュー** > **Dell EMC サーバ (iSM) 状態ビュー** > **Dell サーバ容量しきい値チェック** の下で確認できます。また、**ダイアグラムビュー** で **Dell サーバ容量** オブジェクトの下にコンポーネント **Dell サーバ容量しきい値容量チェック** を表示することもできます。

容量計画機能では、1 日あたりの平均システム使用率の傾向を示すパフォーマンスグラフも提供されます。

容量計画機能のパフォーマンスグラフを表示するには、次の手順を実行します。

1 **監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** > **Dell EMC システム基板使用状況** > **システム全体の使用率 - iSM (%)** とクリックします。

2 目的の Dell EMC デバイスの **カウンタ** 列の下にある **容量チェックシステム基板の平均システム使用率（最終日）** を選択し、必要な値の時間範囲を選択します

。
収集されたデータは、選択した Dell EMC デバイスについて図形式で表示されます。

この機能は、サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出された Dell EMC PowerEdge サーバで使用できます。

障害が発生した CMC/OME-M の iDRAC 検出

この機能を使用すると、iDRAC が障害の発生した Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）を検出し、ラックスタイル管理（RSM）が有効になっているモジュラーサーバの iDRAC が、障害のあるまたは使用できないシャーシコントローラを検出します。この機能を使用することで、障害が発生した Dell EMC CMC/OME-M を通常の状態に戻す迅速な修復アクションを実行できます。

Dell シャーシコントローラセンサー は、Dell EMC CMC/OME-M の有無または障害を示します。

ユニット監視から取得した正常性状態を確認できます。**Dell シャーシコントローラセンサー** は、**Dell EMC ダイアグラムビュー** の **センサー** の下にあります。

メモ:

- **Dell シャーシコントローラセンサー** は、拡張可能管理パックおよび詳細管理パックの両方で使用できます。
- 障害が発生した Dell EMC CMC/OME の iDRAC 検出は、第 14 世代の PowerEdge FX2 シャーシのみでサポートされています。

サーバポート接続情報

サーバポート接続情報機能では、スイッチポートからサーバポートへの物理マッピング、および iDRAC 専用ポート接続の詳細が提供されます。この機能は、サーバのネットワークポートに接続されているスイッチポートと iDRAC 専用ポートを特定することで、ケーブルエラーのデバッグを減らすのに役立ちます。

Dell EMC ダイアグラムビュー の **詳細ビュー** ペインにある **iDRAC NIC** または **NIC** オブジェクトの下にサーバポート接続情報の詳細を表示できます。各 NIC のインベントリ情報とともに、スイッチのシャーシ ID 情報とポート ID 情報が入力されます。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出された Dell EMC PowerEdge サーバで使用できます。

メモ: この機能は、第 14 世代の PowerEdge サーバでのみサポートされています。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能（iSM–WMI）のための Dell ユニット監視

監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 16. Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（iSM–WMI）機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト		ユニット監視
Dell EMC PowerEdge サーバ		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell サーバー電源装置		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー電源装置ユニット	定期的
Dell サーバープロセッサグループ		
	Dell サーバープロセッサグループ	定期的
Dell サーバシャーシコントローラセンサー		
	Dell サーバシャーシコントローラセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラ		
	Dell サーバーストレージコントローラ	定期的
Dell サーバーコントローラバッテリ		
	Dell サーバーコントローラバッテリユニット	定期的
Dell バッテリセンサー		
	Dell サーバーバッテリセンサーの正常性	定期的
Dell バッテリセンサーグループ		
	Dell サーバーバッテリグループセンサーの正常性	定期的
Dell 電流センサー		
	Dell サーバー電流センサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサー		
	Dell サーバーファンセンサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサーグループ		
	Dell サーバーファングループセンサーの正常性	定期的
Dell イントルージョンセンサー		
	Dell サーバーイントルージョンセンサーの正常性	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー（オペレーティングシステムあり）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー（オペレーティングシステムなし）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー（オペレーティングシステムあり）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー（オペレーティングシステムなし）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell ネットワークインタフェースグループ		
	Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
Dell iDRAC ネットワークインタフェース		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェースユニット	定期的
Dell サーバ容量しきい値チェック		
	Dell サーバ容量しきい値チェック	定期的
Dell サーバーホスト NIC		
	Dell サーバーホスト NIC	定期的
Dell サーバーライセンス		
	Dell サーバーライセンス	定期的
Dell サーバーライセンスグループ		
	Dell サーバーライセンスグループ	定期的
物理ネットワークインタフェース		
	Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的
PCIe SSD バックプレーン		
	Dell サーバー PCIe SSD バックプレーン	定期的
PCIe SSD エクステンダ		
	Dell サーバー PCIe SSD エクステンダ	定期的
PCIe SSD 物理ディスク		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクの予測障害ディスク	定期的
	Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクのプライマリステータス	定期的
Dell サーバー SD カード		
	Dell サーバー SD カード	定期的
	Dell サーバー SD カードグループ	定期的
Dell サーバーコネクタエンクロージャ		
	Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM		
	Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー		
	Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク		
	Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置		
	Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー		
	Dell サーバー温度センサー	定期的
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク		
	Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
Dell ストレージコントローラ物理ディスク		
	Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的
Dell ストレージグループ		
	Dell サーバーストレージ	定期的
Dell ストレージ仮想ディスク		
	Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的
Dell 温度センサー		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的
Dell 温度センサーグループ		
	Dell サーバー温度センサグループーの正常性	定期的
Dell 電圧センサー		
	Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
Dell 電圧センサーグループ		
	Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

ルール

次の項には、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Dell EMC PowerEdge サーバからのルールを処理します。

iSM-WMI を使用した Dell EMC PowerEdge サーバ

Dell EMC サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を使用して検出された Dell EMC PowerEdge サーバに対するすべての情報、警告、および重要ベントには、対応するイベントルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 =「Lifecycle Controller ログ」
- イベント番号 = イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムイベントログ

Dell EMC PowerEdge サーバタスク

タスクは、Operations Manager コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

管理下タスクの概要

Operations Manager コンソールの **管理パックオブジェクト** の下の **オーサリング** でタスクを表示できます。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能 -iSM–WMI- を使用したタスクの実行

次の表に、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用して実行できるタスクのサマリを示します。

表 17. Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の iSM–WMI メソッドを使用して検出されたタスクのサマリ

タスク	説明
ノードインタフェースの確認	選択した Dell サーバと対応するインタフェースを確認し、WMI が到達可能か到達不能かを確認します。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 **メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。**
iDRAC ハードリセット	サーバをシャットダウンする必要なく、リモート iDRAC のリセット操作を実行します。 **メモ: このタスクは、iSM で検出されたサーバでのみ使用できます。**
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。 **メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。**
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。 **メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステム、OpenManage Server Administrator、および Dell OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。**
Dell Remote Access Console の起動	ライセンスベースの検出された Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション用の iDRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 **メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。**

ノードインタフェースの確認

ノードインタフェースの確認 タスクは、選択した Dell EMC PowerEdge サーバとそれに対応するインタフェースで、WMI にアクセス可能かどうかを確認します。
ノードインタフェースを確認するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **ノードインタフェースの確認** と選択します。

このタスクでは、接続チェックの概要を表示し、タスクが正常に完了した後のインタフェースを確認します。

保証情報の取得

このタスクを使用して、選択した Dell EMC PowerEdge サーバの保証ステータスを確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **保証情報の取得** と選択します。

リモート iDRAC ハードリセット

この機能で管理者はサーバーをシャットダウンする必要なく、リモート iDRAC のリセット操作を実行することができます。

iDRAC を使用すると、重要なシステムハードウェア、ファームウェア、またはソフトウェアの問題について、サポート対象サーバを監視できます。iDRAC は、さまざまな理由で応答しなくなることがあります。そのような場合は、ソケットからサーバを抜いて電源を切る必要があります。電源を切ると、iDRAC がリセットされます。

リモート iDRAC のハードリセット機能を使用して、iDRAC が応答しなくなるといつも、サーバの電源をオフにする（iDRAC のハードリセット）必要なく、リモート iDRAC のリセット操作を実行できます。iDRAC のリモートハードリセット機能はデフォルトで有効になっています。

この機能は、**WMI を使用して iSM** で検出された Dell EMC PowerEdge サーバで使用できます。この機能の詳細については、『*iDRAC Service Module Installation Guide*』（iDRAC サービスモジュールインストールガイド）と support.dell.com の『*iDRAC 8/7 v2.30.30.30 User's Guide*』（iDRAC 8/7 v2.30.30.30 ユーザーズガイド）の「**リモート iDRAC ハードリセット**」セクションを参照してください。

リモート iDRAC ハードリセットの実行

このセクションでは、WMI を使用した iSM から検出されたデバイスのリモート iDRAC ハードリセットを実行する手順について説明します。
リモートで iDRAC をリセットするには、まずホスト OS で管理者権限があることを確認する必要があります。
リモートで iDRAC をリセットするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2 **Dell** > **状態ビュー** > **サーバー（iSM）** の順にクリックします。
   状態の詳細が表示され、WMI を使用した iSM から検出されたサーバーが右のペインにリストされます。
3 リモートで iDRAC をリセットするサーバーを選択します。
4 右のペインに表示される **Dell サーバーのタスク**のリストから、**iDRAC のハードリセット**をクリックします。
   [タスクの実行 - iDRAC のハードリセット] ウィンドウが表示されます。
5 **実行**をクリックして確認します。
   [**タスクステータス - iDRAC のハードリセット**] ウィンドウがリセットの状態で表示されます。
6 **閉じる** をクリックします。

iDRAC はリモートで正常にリセットされました。

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクでは、管理システムで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスを一対多でライセンス展開し、レポートを作成するツールです。

ⓘ **メモ: Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「License Manager 起動タスクの作成」を参照してください。**

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

Dell OpenManage Power Center の起動 タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動

メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下システムに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

メモ: リモートデスクトップタスクでは、ホスト名を使用してシステムの管理サーバに接続します。管理サーバがホスト名を解決できない場合は、管理サーバで設定されているホスト名を使用して、サーバへのルートにホスト名と IP アドレスを追加します。

Operations Manager コンソールからリモートデスクトップを起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **リモートデスクトップの起動（モノリシックサーバ）** を選択します。

Operations Manager 向け DRAC 監視機能

DRAC 監視機能は、iDRAC6、iDRAC7、iDRAC8 などのさまざまな世代の iDRAC システムを検出し、SNMP を使用して監視します。

Microsoft System Center Operations Manager 向け DSMPS 7.1 を使用した Dell Remote Access Controller の検出および分類

Dell EMC Server Management Pack Suite では、Dell Remote Access Controllers（DRAC）、および統合 DRAC（iDRAC）の検出と分類が可能です。

次の表は、Dell DRAC 監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 18. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Remote Access Controller	Remote Access Controller グループ	iDRAC モジュラー、および iDRAC モノリシックインスタンス。 **メモ: DRAC 監視機能は、第 14 世代 PowerEdge サーバの検出をサポートしていません。これらのデバイスは、サーバおよびラック型ワークステーション監視機能の拡張可能エディションを使用して管理できます。**

DRAC デバイスの検出

DRAC デバイスは、Operations Manager コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出される必要があります。
DRAC デバイスを検出するには、次の手順を行います。

1. Operations Manager 管理者として管理サーバにログオンします。
2. Operations Manager コンソールで、**管理** をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4. **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。

   詳細については、**technet.microsoft.com** にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
5. Operations Manager の **デバイスコンソールの追加** 画面でスキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 の **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な **Run As アカウント** を選択します。
6. **Dell EMC Feature Management Dashboard** を使用して DRAC 監視機能を有効にします。

Operations Manager のための拡張性の推奨

分散型セットアップにおける多数ネットワークデバイスの管理時に、デバイスタイプごとに管理サーバの専用リソースプールを使用してください。管理グループでサポートされるデバイス数の詳細については、『Sizing Guide』（サイジングガイド）を参照してください。

Microsoft System Center Operations Manager 向け DSMPS バージョン 7.1 を使用した DRAC 監視機能による検出

表 19. DRAC 監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
iDRAC 検出	サポートされているすべての Integrated Dell Remote Access Controller を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュラー検出	モジュラーシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
iDRAC6 モジュラー検出	iDRAC6（モジュラー）グループを検出します。
iDRAC6 モノリシック検出	iDRAC6（モノリシック）グループを検出します。
iDRAC7 モジュラー検出	iDRAC7（モジュラー）グループを検出します。
iDRAC7 モノリシック検出	iDRAC7（モノリシック）グループを検出します。
iDRAC8 モジュラー検出	iDRAC8（モジュラー）グループを検出します。
iDRAC8 モノリシック検出	iDRAC8（モノリシック）グループを検出します。
Dell Remote Access グループ検出	Dell Remote Access グループを検出し、iDRAC にデータ投入します。
Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループと iDRAC（モノリシック）を検出します。
Dell Integrated Remote Access モジュラーグループ検出	iDRAC（モジュラー）グループを検出してデータ投入します。

Operations Manager での DRAC デバイスの監視

Dell EMC Server Management Pack Suite のインストール後、Operations Manager の **監視** ペインを使用して、検出された Dell DRAC デバイスの完全な正常性情報を表示するビューを選択することができます。DRAC 監視機能は、Dell DRAC デバイスの正常性を検出および監視します。一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell DRAC デバイスの正常性の監視が含まれます。重要度レベルインジケータ は、ネットワーク上の Dell DRAC デバイスの正常性を示します。

メモ: DRAC デバイスの正常性を監視するには、SNMP 監視アカウント付きのコミュニティ文字列の Run As アカウントを、Dell Remote Access Controller クラスまたは各 DRAC オブジェクト（異なる DRAC デバイスで異なる Run As アカウントがある場合）に関連付けます。

Dell EMC Server Management Pack 7.1 - Operations Manager コンソールでの DRAC 監視機能のビューオプション

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Operations Manager コンソールの **監視** > **Dell EMC** をクリックすると、監視用に次のタイプのビューを提供します。

- Dell EMC アラートビュー
- Dell EMC ダイアグラムビュー
- Dell EMC 状態ビュー

Dell EMC アラートビュー

このビューは、Dell DRAC デバイスからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。DRAC デバイスによって送信された SNMP トラップとプラットフォームイベントトラップ（PET）は、DRAC 監視機能によって表示されます。

Operations Manager コンソールでの DRAC 監視機能のアラートの表示

Operations Manager コンソールで DRAC アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2 **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** をクリックします。
次の **アラートビュー** が表示されます。
   - **PET トラップ** - これらのアラートには iDRAC6、iDRAC7 および iDRAC8 デバイスからの PET トラップに関する情報が含まれています。
   - **リモートアクセスアラート** - これらのアラートには、iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスからの SNMP トラップに関する情報が含まれています。
3 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。

Operations Manager コンソールでの DRAC 監視機能におけるリモートアクセスコントローラのダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビュー には、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell DRAC デバイスの階層的な図が表示されます。

Operations Manager コンソールでの DRAC 用 Dell EMC ダイアグラムビューの表示

Operations Manager コンソールで DRAC 監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動し、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC ダイアグラムビュー** をクリックします。
2 左側の **監視** ペインで **Dell EMC ダイアグラムビュー** フォルダに移動して、次のビューを表示します。
   - Dell EMC 完全ダイアグラムビュー
   - Remote Access Controller グループ
3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Remote Access Controller グループ

Remote Access Controller グループ ダイアグラムビューには、すべての iDRAC6、iDRAC7、および iDRAC8 デバイスが図示されます。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

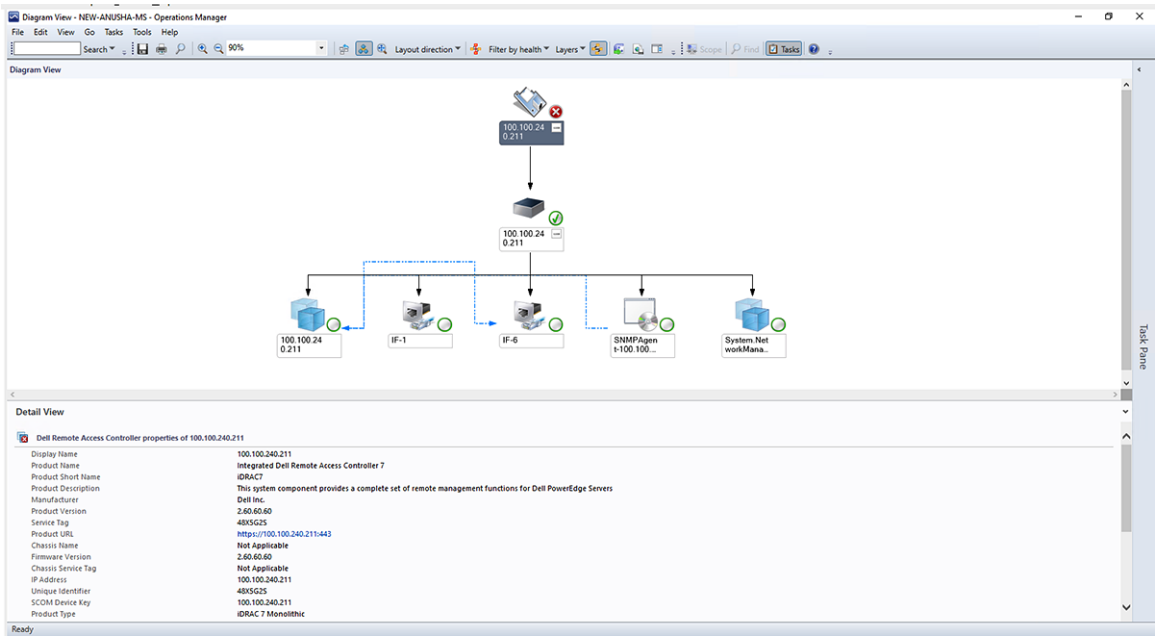

図 6. Remote Access Controller グループダイアグラム

Dell EMC 状態ビュー

このビューは、DRAC デバイスの正常性を表示するために使用できます。Operations Manager コンソールで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC 状態ビュー** > **DRAC** をクリックすると、ネットワーク上で Operations Manager によって管理されている各 Dell DRAC デバイスの状態が表示されます。

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。重要度レベルインジケータでは、Dell EMC Server Management Pack Suite がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。

DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

DRAC 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 20. DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト		ユニット監視
iDRAC6 Modular		
	Dell Remote Access ステータス	定期的
iDRAC6 モノリシック		
	Dell Remote Access ステータス	定期的
iDRAC7 モジュラー **メモ: iDRAC7 モジュラーおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。**		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell Remote Access ステータス	定期的
	コントローラグローバルステータス	定期的
	コントローラグローバルストレージステータス	定期的
iDRAC7 モノリシック		
	Dell Remote Access ステータス	定期的
	コントローラグローバルステータス	定期的
	コントローラグローバルストレージステータス	定期的
iDRAC8 モジュラー **メモ: iDRAC8 モジュラーおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。**		
	Dell Remote Access ステータス	定期的
	コントローラグローバルステータス	定期的
	コントローラグローバルストレージステータス	定期的
iDRAC8 モノリシック		
	Dell Remote Access ステータス	定期的
	コントローラグローバルステータス	定期的
	コントローラグローバルストレージステータス	定期的

ルール

次の項には、Dell DRAC 監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、DRAC トラップからのルールを処理します。

DRAC デバイス

DRAC デバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 =「DRAC/CMC 名または ip」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID

- データプロバイダ = SNMP トラップ

メモ: 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受け取るには、情報アラート管理パックをインポートします。

Dell EMC PowerEdge サーバタスク

タスクは、Operations Manager コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

管理下タスクの概要

Operations Manager コンソールの **管理パックオブジェクト** の下の **オーサリング** でタスクを表示できます。

DRAC を使用したタスクの実行

次の表に、DRAC を使用して実行されるタスクの概要を示します。

表 21. DRAC を使用したタスク

タスク	説明
ノードインタフェースのチェック	選択した Dell DRAC/iDRAC デバイスとそれに対応するインタフェースに対して SNMP が到達可能か到達不能かを確認します。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。
Dell Remote Access Console の起動	検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 **メモ: この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。**
Server Administrator の起動	Server Administrator が起動されます。 **メモ:** • Server Administrator コンソールは、デフォルトポートで Server Administrator が設定されている場合にのみ起動されます。 • この機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 装備のシステムでのみ使用可能です。

Dell Remote Access Controller（DRAC）タスク

ノードインタフェースの確認

ノードインタフェースの確認 タスクは、選択した Dell DRAC/iDRAC デバイスとその対応するインタフェースで SNMP にアクセスできるかどうかを確認します。

ノードインタフェースを確認するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC を選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** > **ノードインタフェースの確認** と選択します。

このタスクでは、接続チェックの概要を表示し、タスクが正常に完了した後のインタフェースを確認します。

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクでは、管理システムで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスを一対多でライセンス展開し、レポートを作成するツールです。

メモ: Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「License Manager 起動タスクの作成」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** > **Dell License Manager の起動** と選択します。

Remote Desktop の起動

メモ:

- Remote Desktop 機能は、iDRAC 7 および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。
- Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** > **リモートデスクトップの起動** と選択します。

OpenManage Server Administrator の起動

メモ:

- OpenManage Server Administrator（OMSA）コンソールは、デフォルトポートで Server Administrator が設定されている場合にのみ起動されます。
- Server Administrator 機能は、iDRAC7、および iDRAC8 搭載のシステムのみで使用可能です。

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** > **Server Administrator の起動** と選択します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動することができます。

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell Remote Access Controller タスク** > **Dell Remote Access Console の起動** を選択します。

5

Dell EMC OMIMSSC バージョン 7.1 でサポートされる監視機能

本項のトピックでは、Operations Manager 向け OMIMSSC バージョン 7.1 でサポートされる監視機能について説明します。

トピック：

- Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能
- Dell EMC シャーシ監視機能
- Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能
- Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能は、次のデバイスの検出および監視方法に基づいて、詳細または拡張可能インベントリを提供します。

- 第 12 ~ 14 世代 PowerEdge サーバ
- PowerVault サーバ
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバー
- Dell OEM Ready サーバー
- PowerEdge Storage Space Direct Ready ノード

これらのデバイスのインベントリおよび監視は、監視プリファレンスに基づいて、次の方法のいずれかで管理下 Dell EMC サーバまたはラック型ワークステーションにインストールされた iDRAC または iDRAC サービスモジュール（iSM）から実行できます。

- iDRAC–WS-MAN
- ホスト OS を介した iDRAC アクセス
- iSM–WMI

これは、ライセンス付きの機能です。

iDRAC-WS-MAN またはホスト OS からのサーバの監視に関する詳細については、『*Dell EMC OpenManage Integration Version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager User's Guide*』（Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 ユーザーズガイド）の「Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）機能」のセクションを参照してください。

iSM の対応プラットフォームのリストについては、**Dell.com/manuals** の『*iDRAC Service Module Installation Guide*』（iDRAC サービスモジュールインストールガイド）を参照してください。

OMIMSSC を使用した iDRAC-WS-MAN または ホスト OS からの iDRAC アクセス

このセクションでは、サーバの iDRAC-WS-MAN（iDRAC IP）またはホスト OS（ホスト IP）を介した iDRAC アクセスを通じて、Dell EMC OMIMSSC コンソールで Dell EMC デバイスを監視する方法について説明します。後者は試験的な機能です。

このオプションでは、次の Dell EMC デバイスの詳細インベントリと監視を提供します。

- デルの第 12、13、および 14 世代 PowerEdge サーバ
- PowerVault サーバ
- Dell Precision ラック
- Dell ブランドの OEM サーバー
- Dell OEM Ready サーバー

メモ: PowerVault サーバは iDRAC サービスモジュール（iSM）ではサポートされません。

Dell EMC デバイスの検出の詳細については、「Dell EMC PowerEdge サーバの検出」を参照してください。

ホスト OS からの iDRAC アクセス（試験的機能）の使用に関する詳細については、**Dell.com/idracmanuals** の『Integrated Dell Remote Access Controller7/8/9 with Lifecycle Controller User's Guide』（Integrated Dell Remote Access Controller7/8/9 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド）を参照してください。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）の拡張可能エディションおよび詳細エディションの比較

次の表は、拡張可能エディションおよび詳細エディション機能を使用することができる環境の理解に役立ちます。

表 22. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）	• 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 • サーバー、ラック型ワークステーション、およびコンポーネントグループレベルでの正常性監視。	• 個々のコンポーネントのインベントリおよび正常性監視。 • 電源、温度のメトリックス、およびネットワークインタフェースカード、プロセッサ、メモリ、1 秒あたりの使用率の計算（CUPS）、PCIe SSD 摩耗率、および IO パフォーマンスメトリックの表示。

iDRAC-WS-MAN を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの検出と分類

Dell EMC OMIMSSC は、Dell EMC PowerEdge サーバの検出と分類を可能にします。

次の表は、iDRAC–WS-MAN からの Dell EMC サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 23. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC PowerEdge サーバ	Dell EMC モノリシックサーバ Dell EMC モジュラーサーバ Dell EMC Sled グループ	PowerEdge システム。 PowerVault サーバ。
Dell EMC ラック型ワークステーション	Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラム	Dell Precision ラック

iDRAC-WS-MAN を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの検出

前提条件：

- 共通の前提条件：
  - Dell EMC サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を使用して Dell EMC PowerEdge サーバを検出する前に Microsoft SMASH ライブラリ（MPB）ファイルをインストールします。

    Microsoft SMASH ライブラリ（MPB）ファイルのインストールの詳細については、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement で『*Dell EMC OpenManage Integration version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager Installation Guide*』（Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 インストールガイド）の「WS-Management および SMASH デバイステンプレートのインストール」セクションを参照してください。
- ホスト OS からの iDRAC アクセスの場合：
  - iSM バージョンが管理下ノードにインストールされている必要があります。
  - ホスト OS からの iDRAC アクセスが有効に設定されている。

    これは試験的な機能です。詳細については、*Dell.com/idracmanuals* にある『*Integrated Dell Remote Access Controller7/8 with Lifecycle Controller User's Guide*』（Integrated Dell Remote Access Controller7/8 with Lifecycle Controller ユーザーズガイド）の「**ホスト OS からの iDRAC アクセス（試験的機能）**」を参照してください。

iDRAC-WS-MAN を使用した iDRAC またはホスト OS からの iDRAC アクセスで Dell EMC PowerEdge サーバを検出するには、次の手順を実行します。

1. Operations Manager 管理グループの管理者として Operations Manager にログオンします。
2. Operations Manager コンソールで、**オーサリング** をクリックします。
3. ナビゲーションペインの下部で**監視の追加ウィザード**をクリックします。

   監視の追加ウィザード 画面が表示されます。
4. **監視タイプの選択** 画面で、**WS-Management と SMASH デバイス検出** を選択して、**次へ** をクリックします。
5. **一般プロパティ** 画面の **名前** フィールドに、ウィザードの名前を入力します。
6. **管理パック**で、**新規**をクリックします。

   管理パックの作成 画面が表示されます。
7. **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。

   管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
8. **作成** をクリックします。

   管理パック ドロップダウンボックスで、作成された管理パックが選択されています。
9. **次へ** をクリックします。
10. **ターゲットの指定** ドロップダウンメニューで、これらのデバイスの監視のためのリソースプールを選択して、**次へ** をクリックします。
11. **検出の実行に使用するアカウントの指定** 画面で、**新規** をクリックして、シンプル認証の Run As アカウントを作成します。

    シンプル認証タイプの Run As アカウントの作成の詳細については、「シンプル認証 Run As アカウントの作成」を参照してください。

ⓘ **メモ: iDRAC 用に AD ドメイン資格情報を使用している場合は、`username@domainname.com` というフォーマットで資格情報を入力してください。**

12 **Run As アカウント** ドロップダウンメニューから作成した Ran As アカウントを選択して、**次へ** をクリックします。

13 **追加** をクリックします。

14 **デバイスの追加** 画面で、検出するシステムの `iDRAC IP`（優先検出方法が iDRAC-WS-MAN の場合）または `ホスト IP`（優先検出方法がホスト OS からの iDRAC アクセスの場合）アドレスを監視プリファレンスに基づいて指定します。システムの優先 IP アドレスは、次の方法で指定できます。

- 提供した **IP サブネット** をスキャンする。
- 指定された **IP 範囲** をスキャンする。
- iDRAC IP/ ホスト IP アドレスのリストを含むテキストファイルをインポートする。

詳細については、*Dell.com/idracmanuals* で『*Integrated Dell Remote Access Controller7/9 with Lifecycle Controller* ユーザーズガイド』の「**iSM PowerShell スクリプトを使用した設定**」を参照してください。

15 **詳細オプション** をクリックし、**CA チェックを省略** および **CN チェックを省略** オプションを選択して、**OK** をクリックします。

16 **デバイスのスキャン** をクリックして、ネットワーク上の Dell EMC PowerEdge サーバを検索します。

IP アドレスが **使用可能デバイス** にリストされます。

17 **追加** をクリックして、監視する IP アドレスのリストを追加し、**OK** をクリックします。

18 **監視するデバイスの指定** 画面で、**作成** をクリックします。

19 **閉じる** をクリックします。

スキャンされた Dell EMC PowerEdge サーバは、最初に **監視** > **WS-Management と SMASH 監視** > **WS-Management デバイス状態** 画面に表示されます。Operations Manager によって自動的にトリガされた SMASH 検出が完了すると、Dell EMC PowerEdge サーバが **監視** > **WS-Management と SMASH 監視** > **SMASH デバイス状態** 画面に表示されます。

20 Dell EMC Feature Management Dashboard を使用して Dell EMC サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を有効にします。

Operations Manager での iDRAC-WS-MAN を使用したオブジェクト検出

表 24. iDRAC-WS-MAN を使用して検出されたオブジェクト

検出オブジェクト	説明
Dell EMC PowerEdge サーバの検出	Dell EMC PowerEdge サーバを分類し、重要な属性およびコンポーネントにデータを投入します
Dell Device Helper 検出	**DellDeviceHelper** をオブジェクトとして検出します。
Dell ホスト NIC 相関検出	ホスト NIC インタフェースと物理インターフェイスを相関させます。 ⓘ **メモ: チーミングされたネットワークインタフェースは、チーム内の NIC を 1 つだけ表示します。**

監視

Dell EMC Server Management Pack Suite および Dell EMC OMIMSSC 用 Configuration Management パックのインストール後、Operations Manager の **監視** ペインを使用して、ペインを使用して、検出された Dell EMC PowerEdge サーバの正常性情報を表示するビューを選択することができます。**Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）** 機能は、Dell EMC PowerEdge サーバの正常性を検出して監視します。

メモ: ホスト OS からの iDRAC アクセス機能で検出されたデバイスからの SNMP アラートを受信するには、管理下ノードで SNMP サービスをインストールし、`SNMP Services` で管理サーバの IP アドレスをトラップの送信先として設定する必要があります。

管理下ノードで SNMP サービスをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 管理下ノードで **サーバマネージャ** > **役割と機能** > **機能** と移動します。
2. `SNMP Services` をインストールします。
3. 使用可能なサービスのリストから、`SNMP Services` を右クリックし、**プロパティ** を選択します。
4. **SNMP サービスのプロパティ（ローカルコンピュータ）** ウィンドウで、**トラップ**タブを選択します。
5. **コミュニティ名**フィールドでコミュニティ文字列を設定し、**トラップ送信先**フィールドに管理サーバーの IP アドレスを入力して OK をクリックします。

これでホスト OS からの iSRAC アクセス（試験的）方法を使用して iSM で検出したノードの SNMP トラップを受信できます。

重要度レベルインジケータ は、ネットワーク上の Dell EMC PowerEdge サーバの正常性を示します。これには、モジュラー、モノリシックシステム、およびサポートされている Dell Precision ラックとそれらのコンポーネントの正常性の定期的な監視が含まれています。

ライセンス不要の監視機能の **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視** および **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）** 機能によって監視されるシステムコンポーネントが全く同じではない場合、ライセンス不要（OMSA）およびライセンス対象（iDRAC–WS-MAN、ホスト OS からの iDRAC アクセス、または iSM–WMI）方法で表示されるサーバ全体の正常性が異なる可能性があります。そのような不一致を見つけた場合は、特定のコンポーネントの状態まで掘り下げ、システムコンポーネントの特定の問題を解決しサーバ全体の正常性を **OK** 状態にします。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、Dell EMC OMIMSSC Operations Manager で、iDRAC-WS-MAN を使用して検出された Dell EMC デバイスの拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 25. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能（iDRAC-WS-MAN）

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
BIOS	無	無
バッテリーセンサーグループ	無	有
バッテリセンサー	無	有
電流センサーグループ	無	有
電流センサー	無	有
ファンセンサーグループ	無	有
ファンセンサー	無	有
ホスト NIC グループ	無	有
ホスト NIC	無	有
iDRAC ネットワークインタフェース	有	有
iDRAC	無	無

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
イントルージョンセンサーグループ	無	有
イントルージョンセンサー	無	有
ライセンスグループ	有	無
ライセンス	無	有
メモリ	有	無
メモリインスタンス	有	有
物理ネットワークインタフェース	無	有
物理ネットワークインタフェースグループ	有	有
プロセッサグループ	有	無
プロセッサ	有	無
電源装置グループ	有	有
電源装置	無	有
PCIe SSD エクステンダ	無	有
PCIe SSD バックプレーン	無	有
PCIeSSD 物理ディスク	無	有
サーバーセンサー	無	有
サーバーストレージ	有	有
ストレージコントローラコネクタ	無	有
ストレージコントローラー	無	有
ストレージコントローラセンサー	無	有
ストレージコントローラバッテリーグループ	無	有
ストレージコントローラバッテリー	無	有
ストレージ仮想ディスクグループ	無	有
ストレージ仮想ディスク	無	有
ストレージコントローラ物理ディスクグループ	無	有
ストレージコントローラ物理ディスク	無	有

ハードウェアコンポーネント	拡張性	詳細
ストレージコントローラエンクロージャ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ EMM	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサーグループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ電源装置グループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ電源装置	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ温度センサーグループ	無	有
ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー	無	有
ストレージコントローラエンクロージャセンサー	無	有
SD カードグループ	無	有
SD カード	無	有
温度センサーグループ	無	有
温度センサー	無	有
電圧センサーグループ	無	有
電圧センサー	無	有

Operations Manager コンソールでの iDRAC-WS-MAN を使用した Dell EMC PowerEdge サーバの表示オプション

Dell EMC Server Management Pack Suite および OMIMSSC Operations Manager では、Operations Manager コンソールの **Dell EMC** フォルダに、以下の種類の監視用ビューを提供します。

- Dell EMC アラートビュー
- Dell EMC ダイアグラムビュー
- Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- Dell EMC 状態ビュー

アラートビュー

このビューは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションからハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能によって、次のアラートが表示されます。

- PowerEdge サーバ、PowerVault サーバ、およびサポート対象の Dell Precision ラックの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受け取ったイベントに対するアラートをリンクアップおよびリンクダウンします。

Operations Manager コンソールで Dell EMC サーバおよびラック監視（ライセンス対象）機能のアラートを表示する

Operations Manager コンソールで Dell EMC サーバおよびラック監視（ライセンス対象）機能のアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2 **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** をクリックします。

   次の **Dell EMC アラートビュー** が表示されます。

   - **Dell EMC ネットワークインタフェースアラートビュー** — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
   - **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラートビュー** - iDRAC7、iDRAC8 または iDRAC9 装備の第 12、13、および 14 世代の Dell PowerEdge サーバ、PowerVault サーバ、および Dell Precision ラックの SNMP トラップが表示されます。
   - **Dell EMC ラック型ワークステーションアラートビュー**
     - **Dell EMC ネットワークインタフェースアラート**
     - **Dell EMC ラック型ワークステーションアラート**
3 **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラートビュー** または **Dell EMC ラック型ワークステーションアラート** を選択します。

   各 **Dell EMC アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

Operations Manager コンソールでの Dell EMC サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能における Dell EMC PowerEdge サーバのダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビュー には、ネットワーク上のすべての Dell EMC PowerEdge サーバおよび対応 Precision ラック型ワークステーションの階層的な図が表示されます。

Operations Manager コンソールで Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）機能の Dell EMC ダイアグラムビューを表示する

Operations Manager コンソールで Dell EMC ダイアグラムビューを表示するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールを起動し、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC ダイアグラムビュー** をクリックします。
2 次のビューの **Dell EMC ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
   - Dell EMC サーバのダイアグラムビュー
     1 Dell EMC 完全ダイアグラムビュー
     2 Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー
     3 Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー
3 任意の **Dell EMC ダイアグラムビュー** を選択します。

   右側のペインに、選択した Dell EMC デバイスの階層的な図が表示されます。
4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー

Dell EMC ラック型ワークステーションのダイアグラムビュー では、サポートしているすべての Dell EMC ラック型ワークステーションが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやそのコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内のラック型ワークステーションを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC モジュラーシステムおよび Dell EMC モノリシックシステム

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー と **Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー** には、次の詳細が表示されます。

- 物理ネットワークインタフェース
- メモリ
- 電源ユニット
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- BIOS（インベントリのみ）
- iDRAC NIC
- ホスト NIC
- SD カード
- ライセンス

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー

Dell EMC モジュラーシステムのダイアグラムビュー は、すべてのモジュラーシステムの図が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー

Dell EMC モノリシックシステムのダイアグラムビュー では、すべてのモノリシックシステムの図が表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー

Dell EMC Sled サーバのダイアグラムビュー では、すべての Sled サーバが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。ダイアグラム内の Sled サーバを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Operations Manager コンソールの Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）機能による Dell EMC PowerEdge サーバユニットのダイアグラムビュー

Dell EMC モジュラーシステムビュー または **Dell EMC モノリシックサーバのダイアグラムビュー** から Dell EMC PowerEdge サーバを選択し、特定のシステムに固有のダイアグラムを表示します。

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- 物理インタフェース
- メモリ
- 電源ユニット
- センサー
- プロセッサ
- ストレージコンポーネント
- ホスト NIC
- ライセンス
- PCIe/ SSD
- SD カード

- BIOS（インベントリのみ）
- iDRAC NIC

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ドライブ、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントのステータスと正常性を表示するには、任意の Dell EMC システムインスタンスダイアグラムビューで **ストレージ** コンポーネントを展開します。

iDRAC–WS-MAN を使用した Dell EMC パフォーマンスビューおよび電力監視ビュー

メモ:

- システム基板の使用率メトリクスは、第 13 世代の PowerEdge サーバの一部でのみサポートされます。パフォーマンス情報の収集に関する詳細については、「Operations Manager で設定された Dell EMC サーバのパフォーマンスコレクションルールの表示」を参照してください。また、Dell EMC Server Performance ルールを有効にしてください。
- **Dell EMC パフォーマンスビュー** には、CPU、メモリ、I/O の使用率 のパフォーマンスインデックス、およびシステムレベルの CUPS インデックスがグラフィック形式で表示されます。

パフォーマンスと電源監視を Operations Manager コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を起動して、**監視** をクリックします。
2 **監視** ペインで、**Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、以下のビューを表示します。
   - **Dell EMC パフォーマンスビュー**
   - **ディスクパフォーマンス - ライセンス対象（%）**

     メモ: すべてのパフォーマンスメトリックルールは、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能に対してデフォルトでは無効に設定されています。
3 **システム基板の使用率** メトリックを表示するには、**Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** > **Dell EMC システム基板の使用率** をクリックして、以下のビューを表示します。
   - **CPU 使用率（%）**
   - **IO 使用率（%）**
   - **メモリ使用率（%）**
   - **システム全体の使用率（%）**
4 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、必須値の時間範を選択します。

   収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

ユニット監視は、2 つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、Dell サーバが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、Operations Manager コンソールの **オーサリング** ペインから上書き（有効化）することができます。ユニット監視は、ライセンス対象の監視機能のための **Dell サーバ** オブジェクトで使用できます。ユニット監視のしきい値を有効にするには、「パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化」を参照してください。

パフォーマンス情報の収集に関する詳細については、「Operations Manager で設定された Dell EMC サーバのパフォーマンスコレクションルールの表示」を参照してください。

パフォーマンスおよび電源監視のユニット監視の有効化

パフォーマンスおよび電源監視ビューのユニット監視を有効にするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
2 **管理パックオブジェクト** > **監視** をクリックし、**次を検索：** フィールドで **パフォーマンス** を検索します。
3 **Dell サーバ** > **パフォーマンス** をクリックします。
4 有効にしたいユニット監視を右クリックします。
5 **上書き** > **監視の上書き** と選択し、要件に応じてオプションを選択します。

たとえば、クラス：Dell サーバのすべてのオブジェクトに対するユニット監視を上書きするには、**クラスの全オブジェクト：Dell サーバ** を選択します。

上書きプロパティ 画面が表示されます。

6 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。

7 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択：** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または管理パックを作成します。
管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

   a **管理パック** を右クリックして、**管理パックの作成** を選択します。
   管理パックの作成 画面が表示されます。
   b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
   管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
   c **作成** をクリックします。
   宛先の管理パックの選択： ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。

8 **適用** をクリックします。

状態ビュー

このビューは、Dell サーバの正常性状態（帯域外）を表示するために使用できます。Operations Manager コンソールで、**Dell** > **状態ビュー** をクリックすると、ネットワーク上で Operations Manager によって管理されている各 Dell サーバの状態が表示されます。

次のグループのステータスを表示することができます。

- **管理下サーバー（帯域外）**
- **管理対象外サーバー（帯域外）**

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能での iDRAC-WS-MAN による Dell EMC PowerEdge サーバの主要機能

本項では、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能で検出されたサーバの主な機能について説明します。

- システム設定ロックダウンモード
- iDRAC グループマネージャ
- イベント自動解決
- 容量計画
- iDRAC による障害の発生した CMC の検出
- サーバポート接続情報

システム設定ロックダウンモード

システム設定ロックダウンモード機能は、第 14 世代の PowerEdge サーバの iDRAC で使用でき、ファームウェアのアップデートを含むシステム設定をロックします。いったんシステム設定ロックダウンモードを有効にすると、システムの設定を変更することはできません。この機能は、システムが誤って変更されないようにするためのものです。iDRAC コンソールを使用して、システム設定ロックダウンモードを有効または無効にできます。

システム設定ロックダウンモードが有効の場合、サーバでトラップ送信先情報を設定できません。したがって、アラートは監視用に生成されません。このような場合は、システム設定ロックダウンモードが有効になっていること、およびアラートのトラップ送信先情報が設定されていないことを伝える重大なアラートが通知されます。

メモ: サーバの検出間隔が更新または変更された直後に、*Dell OM：*システム設定ロックダウン 警告ルールの間隔を更新することをお勧めします。この推奨事項により、一定の間隔でサーバ検出が完了した後に、システムロックダウンモードのアラートが生成されるようになります。

システム設定ロックダウンモードの詳細は、**Dell EMC ダイアグラムビュー** の **詳細ビュー** ペインで表示できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide*』(Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 ユーザーズガイド) を参照してください。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出されたサーバで使用できます。

iDRAC グループマネージャ

iDRAC グループマネージャ機能は、第 14 世代 PowerEdge サーバで利用でき、同じローカルネットワーク上の iDRAC およびその関連サーバの基本的な管理を簡素化します。グループマネージャ機能により、別のアプリケーションを使用せずに一対多のコンソールを使用できるようになります。iDRAC グループ マネージャを使用して、サーバ障害の目視検査などの手動方式よりも強力な管理が可能になり、ユーザーは一連のサーバの詳細を確認することができます。

ダイアグラムビュー の **詳細ビュー** ペインで、**iDRAC** オブジェクトの下にある iDRAC グループマネージャ、iDRAC グループマネージャのステータス、および iDRAC グループ名の詳細を表示できます。この機能の詳細については、『*Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 User's Guide*』(Integrated Dell Remote Access Controller 9 Version 3.00.00.00 ユーザーズガイド) を参照してください。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出されたサーバで使用できます。

イベント自動解決

本項では、イベント自動解決機能を使用した Dell デバイスイベントの自動解決または確認について説明します。

Dell EMC Server Management Pack Suite は、Dell デバイスからイベントを受信して処理します。これらのイベントは、問題、情報、および解決イベントとして幅広く分類できます。これらのイベントはすべて、手動で閉じるまでコンソールに残ります。ノードで問題が解決された後でも、問題イベントと対応する解決イベントは、手動で確認されるまでコンソールに残ります。イベント自動解決機能は、このような Dell デバイスイベントを自動的に解決または確認します。

イベントの自動解決は、次のように分類できます。

- 問題から問題 - 1 つの問題イベントが別の問題イベントを解決します。たとえば、温度センサーは、警告しきい値を超えたときに警告イベントを送信します。アクションがない場合、特定の時間が経過すると、同じセンサーは重要イベントを超えたときに重要イベントを送信します。この場合、警告イベントは存在しないため、警告イベントの重要性はありません。そのため、警告イベントは確認され、コンソールには重要イベントだけが表示されます。
- 問題から解決 — 1 つの解決イベントまたは正常イベントが問題イベントを解決します。たとえば、温度センサーは、警告しきい値を超えたときに警告イベントを送信します。管理者が適切なアクションを実行すると、同じセンサーが、特定の時間が経過すると、解決イベントまたは通常イベントを送信します。この場合、警告イベントは存在しないため、警告イベントの重要性はありません。そのため、警告イベントは確認され、コンソールには通常イベントだけが表示されます。

この機能は、iDRAC-WS-MAN で検出されたサーバでのみ使用できます。デフォルトでは、**イベント自動解決** は **無効** に設定されています。**イベント自動解決の有効化** タスクを使用して、この機能を有効にします。タスク、**イベント自動解決の有効化**、および **イベント解決の無効化** は、**Dell EMC** > **Dell EMC Feature Management Dashboard** > **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象)** > **Dell EMC 監視機能タスク** で実行できます。

容量計画

Dell サーバ容量チェック のユニット監視を使用して、サーバの使用率が設定された容量しきい値を超えたかどうかを監視できます。**Dell サーバ容量チェック** のユニット監視では、各サーバの最後の 1 日のシステムまたは CUPS の平均使用率が、設定されている容量しきい値と比較して監視されます。このユニット監視はデフォルトで **無効** に設定されています。**Dell サーバ容量チェック** のユニット監視を有効にするには、「Dell サーバ容量チェックのユニット監視を有効にする」を参照してください。

最小しきい値は 1 で、最大しきい値は 99 です。デフォルトのしきい値は 60 です。しきい値は、1 ~ 99 の範囲内で設定できます。指定した範囲以外のしきい値を指定すると、そのしきい値はデフォルト値にリセットされます。

最後の 1 日のシステムまたは CUPS の平均使用率が設定されたしきい値を超えると、サーバごとに警告イベントが生成されます。最後の 1 日のシステムまたは CUPS の平均使用率が設定されたしきい値内に戻ると、警告イベントが自動的に解決されます。

警告アラートの詳細は、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** > **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラートビュー** の下にある **アラート詳細ペイン** に表示されます。

Dell **サーバ容量チェック** のユニット監視から取得した正常性状態は、**監視** > **Dell** > **Dell EMC 状態ビュー** > **Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションアラート（ライセンス対象）** > **Dell サーバ容量しきい値チェック** の下で確認できます。また、**ダイアグラムビュー** で **Dell サーバ** オブジェクトの下にコンポーネント **Dell サーバ容量しきい値チェック** を表示することもできます。

メモ: デフォルトでは、状態ビュー の Dell サーバ容量しきい値チェック 列は無効になっています。

容量計画機能では、1 日あたりの平均システム使用率の傾向を示すパフォーマンスグラフも提供されます。

容量計画機能のパフォーマンスグラフを表示するには、次の手順を実行します。

1 **監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** > **Dell EMC システム基板使用状況ビュー** > **システム全体の使用率（%）** とクリックします。
2 目的の Dell EMC デバイスの **カウンタ** 列の下にある **容量チェックシステム基板の平均システム使用率（最終日）** を選択し、必要な値の時間範囲を選択します

。
収集されたデータは、選択した Dell EMC デバイスについて図形式で表示されます。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出されたサーバで使用できます。

Dell サーバ容量チェックのユニット監視の有効化

本項では、Dell サーバ容量チェックのユニット監視を有効にする方法について説明します。
Dell サーバ容量チェックのユニット監視を有効にするには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソール を起動して、**オーサリング** をクリックします。
2 **管理パックオブジェクト** > **監視** をクリックし、**次を検索：** フィールドで `Dell サーバ容量チェック` を検索します。
3 **エンティティ正常性** > **可用性** とクリックします。
4 **Dell サーバ容量チェック** を右クリックし、**上書き** > **監視の上書き** > **クラスの全オブジェクト：Dell サーバ容量しきい値チェック** を選択します。
上書きプロパティ 画面が表示されます。
5 **有効** を選択し、**上書き値** を **True** に設定します。
6 **管理パック** 下で、**宛先の管理パックの選択：** ドロップダウンメニューから作成された管理パックを選択、または管理パックを作成します。
管理パックを作成するには、次の手順を実行します。

   a **管理パック** を右クリックして、**管理パックの作成** を選択します。
   管理パックの作成 ページが表示されます。
   b **名前** フィールドで管理パックの名前を入力して、**新規** をクリックします。
   管理パックの作成についての情報は、Technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
   c **作成** をクリックします。
   宛先の管理パックの選択： ドロップダウンメニュー内で、作成された管理パックが選択されています。
7 **適用** をクリックします。

iDRAC による障害が発生した Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME–M）の検出

この機能を使用すると、iDRAC が障害の発生した Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）を検出し、ラックスタイル管理（RSM）が有効になっているモジュラーサーバの iDRAC が、障害のあるまたは使用できないシャーシコントローラを検出します。この機能を使用することで、障害が発生した Dell EMC CMC/OME-M を通常の状態に戻す迅速な修復アクションを実行できます。

Dell シャーシコントローラセンサー は、Dell EMC CMC/OME-M の有無または障害を示します。

ユニット監視から取得した正常性状態を確認できます。**Dell シャーシコントローラセンサー** は、**Dell EMC ダイアグラムビュー** の **センサー** の下にあります。

メモ:

- **Dell シャーシコントローラセンサー** は、拡張可能管理パックおよび詳細管理パックの両方で使用できます。
- iDRAC による障害が発生した Dell EMC CMC/OME-M の検出は、Dell EMC PowerEdge FX2 シャーシの第 13 および 14 世代でサポートされています。

サーバポート接続情報

サーバポート接続情報機能では、スイッチポートからサーバポートへの物理マッピング、および iDRAC 専用ポート接続の詳細が提供されます。この機能は、サーバのネットワークポートに接続されているスイッチポートと iDRAC 専用ポートを特定することで、ケーブルエラーのデバッグを減らすのに役立ちます。

Dell EMC ダイアグラムビュー の **詳細ビュー** ペインにある **iDRAC NIC** または **NIC** オブジェクトの下にサーバポート接続情報の詳細を表示できます。各 NIC のインベントリ情報とともに、スイッチのシャーシ ID 情報とポート ID 情報が入力されます。

この機能は、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の iDRAC および iSM の両方の方法で検出された Dell EMC PowerEdge サーバで使用できます。

メモ: この機能は、第 14 世代の PowerEdge サーバでのみサポートされています。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション（ライセンス対象）のユニット監視機能 - iDRAC-WS-MAN

監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 26. Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能の Dell ユニット監視

オブジェクト		ユニット監視
Dell EMC PowerEdge サーバ		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell サーバー電源装置		
	Dell サーバー電源装置ユニット	定期的
Dell サーバープロセッサグループ		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバープロセッサグループ	定期的
Dell サーバシャーシコントローラセンサー		
	Dell サーバシャーシコントローラセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラ		
	Dell サーバーストレージコントローラ	定期的
Dell サーバーコントローラバッテリ		
	Dell サーバーコントローラバッテリユニット	定期的
Dell バッテリセンサー		
	Dell サーバーバッテリセンサーの正常性	定期的
Dell バッテリセンサーグループ		
	Dell サーバーバッテリグループセンサーの正常性	定期的
Dell 電流センサー		
	Dell サーバー電流センサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサー		
	Dell サーバーファンセンサーの正常性	定期的
Dell ファンセンサーグループ		
	Dell サーバーファングループセンサーの正常性	定期的
Dell イントルージョンセンサー		
	Dell サーバーイントルージョンセンサーの正常性	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー（オペレーティングシステムあり）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モジュラーブレードサーバー（オペレーティングシステムなし）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー（オペレーティングシステムあり）		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell モノリシックサーバー（オペレーティングシステムなし）		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
Dell ネットワークインタフェースグループ		
	Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
Dell iDRAC ネットワークインタフェース		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェースユニット	定期的
Dell サーバ容量しきい値チェック		
	Dell サーバ容量しきい値チェック	定期的
Dell サーバーホスト NIC		
	Dell サーバーホスト NIC	定期的
Dell サーバーライセンス		
	Dell サーバーライセンス	定期的
Dell サーバーライセンスグループ		
	Dell サーバーライセンスグループ	定期的
物理ネットワークインタフェース		
	Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的
PCIe SSD バックプレーン		
	Dell サーバー PCIe SSD バックプレーン	定期的
PCIe SSD エクステンダ		
	Dell サーバー PCIe SSD エクステンダ	定期的
PCIe SSD 物理ディスク		
	Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクの予測障害ディスク	定期的
	Dell サーバー PCIe SSD 物理ディスクのプライマリステータス	定期的

オブジェクト		ユニット監視
Dell サーバー SD カード		
	Dell サーバー SD カード	定期的
	Dell サーバー SD カードグループ	定期的
Dell サーバーコネクタエンクロージャ		
	Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM		
	Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー		
	Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク		
	Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置		
	Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー		
	Dell サーバー温度センサー	定期的
Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク		
	Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
Dell ストレージコントローラ物理ディスク		
	Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的
Dell ストレージグループ		
	Dell サーバーストレージ	定期的
Dell ストレージ仮想ディスク		
	Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的
Dell 温度センサー		
	Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的
Dell 温度センサーグループ		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバー温度センサグループーの正常性	定期的
Dell 電圧センサー		
	Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
Dell 電圧センサーグループ		
	Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

ルール

次の項には、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite および OMIMSSC は、Dell EMC PowerEdge サーバからのルールを処理します。

iDRAC–WS-MAN を介した Dell EMC PowerEdge サーバ

Dell EMC サーバおよびラックの監視（ライセンス対象）機能を使用して検出された Dell EMC PowerEdge サーバに対するすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 =「Dell サーバー IP」
- OID = トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップイベントプロバイダ

Dell EMC PowerEdge サーバタスク

タスクは、Operations Manager コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

管理下タスクの概要

Operations Manager コンソールの **管理パックオブジェクト** の下の **オーサリング** でタスクを表示できます。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用したタスクの実行 - iDRAC-WS-MAN

次の表に、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用して実行できるタスクのサマリを示します。

表 27. Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用して検出される Dell タスクのサマリ

タスク	説明
ノードインタフェースの確認	選択した Dell EMC PowerEdge サーバとそれに対応するインタフェースで、WS-MAN または SNMP にアクセス可能かどうかを確認します。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 **メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。**
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。 **メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。**
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの OpenManage Power Center コンソールを起動します。 **メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステム、OpenManage Server Administrator、および OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。**
Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバー）の起動	選択したシステム向けの OpenManage Server Administrator コンソールを起動します。 **メモ: OpenManage Server Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。**
Dell Remote Access Console の起動	ライセンスベースの検出された Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション用の iDRAC コンソールを起動します。
Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 **メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。**

Dell EMC PowerEdge サーバのタスク

ノードインタフェースの確認

ノードインタフェースの確認 タスクは、選択した Dell EMC PowerEdge サーバとそれに対応するインタフェースで、WS-MAN または SNMP にアクセス可能かどうかを確認します。
ノードインタフェースを確認するには、次の手順に従います。

1. Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2. **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3. **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **ノードインタフェースの確認** と選択します。

このタスクでは、接続チェックの概要を表示し、タスクが正常に完了した後のインタフェースを確認します。

保証情報の取得

このタスクを使用して、選択した Dell EMC PowerEdge サーバの保証ステータスを確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **保証情報の取得** と選択します。

Dell License Manager の起動

Dell License Manager の起動 タスクでは、管理システムで Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスを一対多でライセンス展開し、レポートを作成するツールです。

メモ: Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「License Manager 起動タスクの作成」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell License Manager の起動** と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

Dell OpenManage Power Center の起動 タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell OpenManage Power Center の起動** と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバー）の起動

メモ: OpenManage Server Administrator（OMSA）の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

Operations Manager コンソールから OMSA を起動するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバ）の起動** を選択します。

メモ: Dell EMC Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Dell Remote Access Console の起動

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **Dell Remote Access Console の起動** と選択します。

Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動

メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下システムに Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。

メモ: リモートデスクトップタスクでは、ホスト名を使用してシステムの管理サーバに接続します。管理サーバがホスト名を解決できない場合は、管理サーバで設定されているホスト名を使用して、サーバへのルートにホスト名と IP アドレスを追加します。

Operations Manager コンソールからリモートデスクトップを起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC PowerEdge サーバを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** でアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell サーバタスク** > **リモートデスクトップの起動（モノリシックサーバ）** を選択します。

Dell EMC シャーシ監視機能

Dell EMC シャーシ監視機能は、PowerEdge MX7000、PowerEdge FX2/FX2s シャーシ、PowerEdge VRTX シャーシ、PowerEdge M1000E シャーシ、および Dell OEM Ready シャーシ上の Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modulation（CMC/OME–M）の検出と監視について、次を使用してサポートします。

- SNMP および / または WS-MAN プロトコル
- RedFish

Dell EMC シャーシ監視機能は、対応する Operations Manager の個々のシャーシコンポーネントの詳細監視もサポートします。

Dell EMC OMIMSSC Operations Manager を使用した Dell EMC シャーシの検出と分類

Dell EMC OpenManage Integration for Microsoft System Center Operations Manager を使用して、Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）である PowerEdge MX7000、PowerEdge FX2/FX2s、PowerEdge M1000e、および PowerEdge VRTX を検出し分類できます。

次の表は、Dell EMC シャーシ監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 28. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC CMC/OME-M	Dell シャーシダイアグラムビュー	ネットワーク上の CMC/OME-M インスタンス、シャーシとそのコンポーネント、およびシャーシ内で使用されるサーバモジュールスロット。
Dell EMC PowerEdge M1000e	Dell EMC M1000e シャーシダイアグラムビュー	PowerEdge M1000e
Dell EMC PowerEdge VRTX	Dell EMC VRTX シャーシダイアグラムビュー	PowerEdge VRTX
Dell EMC FX2	Dell EMC FX2 シャーシダイアグラムビュー	PowerEdge FX2
Dell EMC PowerEdge MX7000	Dell EMC MX7000 シャーシダイアグラムビュー	PowerEdge MX7000

Dell EMC OMIMSSC Operations Manager での Dell EMC シャーシデバイスの検出

IP アドレスまたは IP 範囲を使用して、Operations Manager 向け OMIMSSC で Dell EMC シャーシデバイスを検出できます。シャーシを検出するには、シャーシの IP アドレスとデバイスタイプ資格情報を入力します。IP 範囲を使用してシャーシを検出する場合は、開始範囲と終了範囲を含めることによって、サブネット内の IP（IPv4）の範囲を指定します。
シャーシを検出するには、次の手順を実行します。

1 Dell EMC OMIMSSC で、**監視** > **モジュラーシステムビュー** の順にクリックし、**検出** をクリックします。
2 **検出** ページで、必要なオプションを選択します。
   - **IP アドレスを使用した検出** - IP アドレスを使用してシャーシを検出します。
   - **IP 範囲を使用した検出** - IP 範囲内のすべてのシャーシを検出します。
3 **IP アドレスまたは IP アドレス範囲を使用した検出** で、次のいずれかを実行します。
   - **IP アドレスの開始範囲**、および **IP アドレスの終了範囲** に、含める IP アドレス範囲を入力します。これは開始範囲と終了範囲です。
   - IP アドレス範囲を除外する場合は、**除外範囲の有効化** を選択して、**IP アドレスの開始範囲** と **IP アドレスの終了範囲** で除外する範囲を指定します。
4 **この資格情報プロファイルの適用** で、デバイスタイプ資格情報プロファイルを選択します。
   選択したプロファイルが、すべてのシャーシに適用されます。
5 新しい資格情報プロファイルを作成するには、**新規作成** を選択してデバイスタイプ資格情報プロファイルを作成します。
   資格情報プロファイルページが表示されます。
6 資格情報タイプで **デバイス資格情報プロファイル** を選択します。
   資格情報 フィールドが有効になります。
7 資格情報の詳細を入力し、**終了** をクリックします。
8 **モジュラーシステム IP アドレス** で、検出するシャーシの IP アドレスを入力します。
9 固有のジョブ名を入力し、**終了** をクリックします。
10 （オプション）このジョブを追跡するには、**ジョブリストに移動** オプションを選択します。
   ジョブとログセンター ページが表示されます。検出ジョブを展開して、**実行中** タブでジョブの進行状況を表示します。

Operations Manager での Dell EMC シャーシの検出

シャーシデバイスは、Operations Manager コンソールの **管理** セクションでネットワークデバイスとして検出されます。

Operations Manager でシャーシデバイスを検出するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager 管理者として管理サーバにログインします。
2 Operations Manager コンソールで、**管理** をクリックします。
3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4 **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。

   詳細については、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。

   メモ: シャーシデバイスの検出用に作成した Run As アカウント を選択します。詳細については、dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement にある『*Dell EMC OpenManage Integration version 7.1 for Microsoft System Center fpr Operations Manager Installation Guide*』(Dell EMC OpenManage Integration Version 7.1 for Microsoft System Center Operations Manager インストールガイド) の「サーバモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

5 Operations Manager の**デバイスコンソールの追加**画面で、スキャンする IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。
6 **Dell EMC Feature Management Dashboard** を使用して、シャーシ監視機能を有効にします。

   メモ: OMIMSSC コンソールから Microsoft System Center との同期を実行して、Operations Manager で検出されたシャーシデバイスの検出を完了します。

Dell EMC シャーシ検出パラメーター、パフォーマンス、および正常性メトリックの上書き

検出パラメーター、パフォーマンス、正常性メトリックを上書きすることで、Dell EMC シャーシの検出をカスタマイズできます。
検出パラメーター、パフォーマンス、および正常性メトリックを上書きするには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールにログインします。
2 左側のペインで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC OpenManage Integration ビュー** > **OpenManage Integration Dashboard** をクリックします。

   Dell EMC OMIMSSC コンソールのログインページが表示されます。
3 **ユーザー名** にユーザー名を入力します。ユーザー名を domain\username の形式で入力します。
4 **パスワード** にパスワードを入力し、**ログイン** をクリックします。

   概要 ページが表示されます。
5 **プロファイルと設定** > **設定設定** を選択します。

   検出、監視、およびパフォーマンスの上書き ページが表示されます。
6 **編集** をクリックします。

   検出、監視、およびパフォーマンス間隔の上書き ウィザードが表示されます。
7 **検出、監視、およびパフォーマンス間隔の上書き** ページでは、次のアクションを実行できます。
   a **デバイスタイプ** リストで、**シャーシ** チェックボックスを選択します。
   b **検出タイプ** ドロップダウンリストで、検出モードを選択します。
   c **検出間隔 (秒)** の下で検出間隔を秒単位で入力します。
   d **正常性間隔 (秒)** の下で正常性間隔を秒単位で入力します。
   e **メトリック監視** ドロップダウンリストでは、メトリック監視を使用する場合は **はい** を選択し、メトリック監視を使用しない場合は **いいえ** を選択します。

      メモ: メトリック監視 は、詳細 検出モードでシャーシデバイスを検出した場合にだけ有効化されます。

   f **メトリック間隔 (秒)** の下でメトリック間隔を秒単位で入力します。
8 設定を保存するには、**適用**をクリックします。設定を取り消すには **キャンセル**をクリックします。

監視

Operations Manager の **監視** ペインを使用して、検出された Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）デバイスの完全な正常性情報を表示するビューを選択することができます。Dell EMC シャーシ監視機能は、Dell CMC/OME-M デバイスの正常性を検出および監視します。重要度レベルインジケータ は、ネットワーク上の Dell CMC/OME-M デバイスの正常性を示します。

シャーシ監視には、一定間隔およびイベント発生時の両方における Dell シャーシデバイスの正常性の監視が含まれます。

メモ: Dell EMC シャーシの詳細監視を実行するには、プロファイル（Dell CMC ログインアカウントプロファイル）に対して、Dell Modular Chassis クラスまたは各 CMC オブジェクト（異なる CMC/OME-M デバイスで異なる Run As アカウントがある場合）としてのターゲットに Dell CMC へのアクセスに必要な WS-MAN 認証情報 Run As アカウントを関連付けます。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 29. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	PowerEdge MX7000		PowerEdge M1000e		PowerEdge FX2		PowerEdge VRTX	
	拡張性	詳細	拡張性	詳細	拡張性	詳細	拡張性	詳細
CMC/OME-M スロット情報	有	有	有	有	有	有	有	有
CMC/OME-M スロット	有	有	有	有	有	有	有	有
ファングループ	有	有	有	有	有	有	有	有
ファン	無	有	無	有	無	有	無	有
IO モジュールグループ	有	有	有	有	有	有	有	有
IO モジュール	無	有	無	有	無	有	無	有
PCIe デバイスグループ	無	無	有	有	有	有	有	有
PCIe デバイス	無	無	無	無	無	有	無	無
電源装置グループ	有	有	有	有	有	有	有	有
電源装置	無	有	無	有	無	有	無	有
保管時	無	無	無	無	無	無	有	有
ストレージコントローラー	無	無	無	無	無	無	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスクグループ	無	無	無	無	無	無	無	有
ストレージコントローラ仮想ディスク	無	無	無	無	無	無	無	有

ハードウェアコンポーネント	PowerEdge MX7000		PowerEdge M1000e		PowerEdge FX2		PowerEdge VRTX	
	拡張性	詳細	拡張性	詳細	拡張性	詳細	拡張性	詳細
ストレージコントローラ物理ディスクグループ	無	無	無	無	無	無	無	有
ストレージコントローラ物理ディスク	無	無	無	無	無	無	無	有
ストレージエンクロージャ	無	無	無	無	無	無	無	有

Operations Manager コンソールでの Dell EMC シャーシの表示オプション

Dell EMC OMIMSSC for Operations Manager では、Operations Manager コンソールの **監視** > **Dell EMC** の下に、監視用に次のタイプのビューが提供されます。

- Dell EMC アラートビュー
- Dell EMC ダイアグラムビュー
- Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー
- Dell EMC 状態ビュー

Dell EMC アラートビュー

このビューは、Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）デバイスからのハードウェアおよびストレージイベントの管理に使用できます。シャーシデバイスから送信された SNMP トラップは、Dell EMC シャーシ監視機能によって表示されます。

Operations Manager コンソールで Dell EMC シャーシ監視機能のアラートを表示する

Operations Manager コンソールでシャーシ監視アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** をクリックします。
2 **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー** をクリックします。
次の個別の **アラートビュー** が表示されます。
   - **Dell EMC シャーシアラート** — 検出されたシャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
   - **Dell EMC シャーシのアラートビュー**
     - **Dell EMC FX2 シャーシのアラートビュー** — 検出された PowerEdge FX2 シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
     - **Dell EMC M1000E シャーシのアラートビュー** — 検出された PowerEdge M1000E シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
     - **Dell EMC MX7000 シャーシのアラートビュー** — 検出された PowerEdge MX7000 シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
     - **Dell EMC VRTX シャーシのアラートビュー** — 検出された PowerEdge VRTX シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
3 任意の **アラートビュー** を選択します。
各 **アラートビュー** の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。
4 **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

Operations Manager コンソールの Dell EMC シャーシ監視機能のダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビュー では、ネットワーク上のすべての Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）である PowerEdge MX7000、PowerEdge FX2、PowerEdge M1000e、および PowerEdge VRTX を階層的かつグラフィカルに表示します。

Operations Manager コンソールでのダイアグラム表示

Operations Manager コンソールでシャーシ監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動し、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC ダイアグラムビュー** をクリックします。
2 次のビューについては、**Dell EMC ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
   - Dell EMC Chassis Management Controllers グループ
   - Dell EMC シャーシダイアグラムビュー
     - **Dell EMC FX2 シャーシダイアグラムビュー**
     - **Dell EMC M1000E シャーシダイアグラムビュー**
     - **Dell EMC MX7000 シャーシダイアグラムビュー**
     - **Dell EMC VRTX シャーシダイアグラムビュー**
3 任意の **ダイアグラムビュー** を選択します。
   右側のペインに、選択した Dell EMC デバイスの階層的な図が表示されます。
4 ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC Chassis Management Controllers グループ

Dell EMC Chassis Management Controllers グループ ダイアグラムビューには、すべての Dell EMC Chassis Management Controllers/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）、PowerEdge MX7000、PowerEdge FX2、PowerEdge M1000E、および PowerEdge VRTX、およびそのインベントリが図示されます。シャーシの検出については、「Operations Manager の Dell EMC シャーシ」を参照してください。

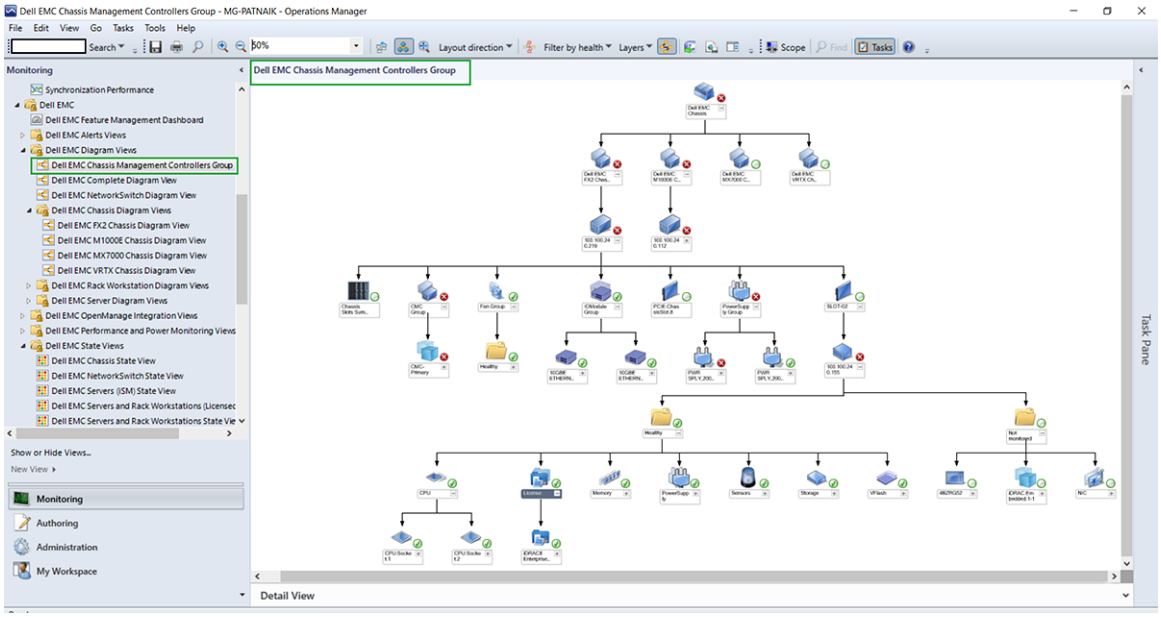

図 7. Dell EMC Chassis Management Controllers グループのダイアグラム

検出された Dell EMC CMC シャーシについて、以下を表示するために、デフォルトで無効となっているスロット検出を有効にしてください。

- **シャーシスロットサマリ** 内の使用中および空きスロットのサマリ
- **ダイアグラムビュー** に反映された、CMC シャーシで変更済みのスロットインベントリの詳細。
- ライセンス対象またはライセンス不要の監視機能を使用して検出された Dell EMC PowerEdge サーバと、**Dell EMC Chassis Management Controllers グループ** ダイアグラムに表示される CMC シャーシのスロットとの相関関係。Dell EMC PowerEdge サーバは、ダイアグラムのスロットの下に表示されます。

メモ: シンプル認証、基本認証、ダイジェスト認証のみを使用した CMC/OME-M スロット検出の Run As アカウント を作成します。詳細については、Dell.com/support/home で、『*Dell EMC OpenManage Integration Version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager Installation Guide*』(Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 インストールガイド) の「シャーシスロットサマリを使用したサーバモジュールの相関のための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

メモ: モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが 該当なし と表示され、シャーシブレード相関が不可能になる場合があります。

Dell EMC シャーシダイアグラムビュー

Dell EMC シャーシダイアグラムビューには、PowerEdge MX7000、PowerEdge FX2、PowerEdge M1000E シャーシ、および PowerEdge VRTX シャーシデバイスのグラフィック表示があります。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー

メモ: Dell EMC シャーシパフォーマンスビュー は、Dell EMC シャーシ監視機能の詳細機能がインストールされていて、メトリックパラメーターを上書きしているときに メトリック監視 を はい として選択した場合にのみ使用できます。メトリックパラメーターの上書きの詳細については、「Dell EMC シャーシ検出パラメーター、パフォーマンス、および正常性メトリックの上書き」を参照してください。

パフォーマンスと電源監視を Operations Manager コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**監視** をクリックします。

2 監視 ペインで、**Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** をクリックして、次の内容を表示します。

- **Dell EMC シャーシパフォーマンスビュー**

3 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲（必須値）を選択します。収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

Dell EMC 状態ビュー

このビューは、Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular（CMC/OME-M）デバイスの正常性を表示するために使用することができます。Operations Manager コンソールで **監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC 状態ビュー** とクリックすると、ネットワーク上で Operations Manager によって管理される各 Dell EMC デバイスのステータスが表示されます。

状態ビューを表示する Dell CMC グループを選択します。次のデバイスのステータスを表示することができます。

- **Dell EMC 状態ビュー**
- **Dell EMC シャーシ状態ビュー**
  - **Dell EMC FX2 シャーシ状態ビュー**
  - **Dell EMC M1000E シャーシ状態ビュー**
  - **Dell EMC MX7000 シャーシ状態ビュー**
  - **Dell EMC VRTX シャーシ状態ビュー**

コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。重要度レベルインジケータ では、Operations Manager 向け Dell EMC OMIMSSC がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。

Dell EMC シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

シャーシ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 30. Dell EMC シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視。

オブジェクト		ユニット監視
Dell EMC CMC/OME-M		
	Dell シャーシ Run As アカウントの関連付け	定期的
	Dell CMC ステータス	定期的
Dell シャーシ正常性全般		
	Dell シャーシ正常性全般ユニット監視	定期的
Dell シャーシ I/O モジュール		
	Dell シャーシ I/O モジュール正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell モジュラーシャーシファン		
	Dell シャーシファン正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラ		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell シャーシ CMC 正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラーコントローラグループ		
	Dell シャーシ CMC グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置		
	Dell シャーシ電源装置正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー電源装置グループ		
	Dell シャーシ電源装置グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシモジュラー PCIe デバイス		
	Dell シャーシ PCIe デバイス正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージエンクロージャ		
	Dell シャーシストレージエンクロージャ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ		
	Dell シャーシストレージコントローラ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
	Dell シャーシストレージコントローラバッテリー正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラ仮想ディスク		
	Dell シャーシストレージ仮想ディスク正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ内部物理ディスク		
	Dell シャーシストレージ内部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
	Dell シャーシストレージ内部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell シャーシストレージコントローラエンクロージャ外部物理ディスク		
	Dell シャーシストレージ外部物理ディスクプライマリ正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的
	Dell シャーシストレージ外部物理ディスクの予測障害正常性ステータスポーリングに基づいたユニット監視	定期的

ルール

次の項には、Dell EMC シャーシ監視機能に固有のルールがリストされています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell EMC Server Management Pack Suite は、シャーシトラップからのルールを処理します。

Dell EMC シャーシデバイス

シャーシデバイス向けのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 =「DRAC/CMC 名または IP」
- OID = DRAC /CMC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

メモ: 情報アラートはデフォルトでオフになっています。これらのアラートを受信するには、情報アラート管理パックをインポートします。

パフォーマンスコレクションルール

Operations Manager コンソールで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC パフォーマンスおよび電源監視ビュー** > **Dell EMC シャーシパフォーマンスビュー** をクリックして、Dell EMC シャーシから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、パフォーマンスメトリックを上書きしながら、**メトリック監視** を使用または選択した場合にデフォルトで有効になります。**メトリック監視** の使用方法の詳細については、「Dell EMC シャーシ検出パラメーター、パフォーマンス、および正常性メトリックの上書き」を参照してください。

Dell EMC PowerEdge サーバタスク

タスクは、Operations Manager コンソールの **タスク** ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが **タスク** ペインに表示されます。

管理下タスクの概要

Operations Manager コンソールの **管理パックオブジェクト** の下の **オーサリング** でタスクを表示できます。

Operations Manager で実行される Dell EMC シャーシタスク

次の表に、Dell EMC シャーシを使用して実行できるタスクの概要を示します。

表 31. Dell EMC シャーシを使用するタスク

タスク	説明
ノードインタフェースの確認	選択した Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular (CMC/OME-M) デバイスと対応するインタフェースを確認し、WS-MAN または SNMP が到達可能か到達不能かを確認します。
Dell CMC Console の起動	CMC/OME-M コンソールを起動します。

Dell EMC シャーシタスク

ノードインタフェースの確認

ノードインタフェースの確認 タスクは、選択した Dell CMC/OME-M デバイスと対応するインタフェースが到達可能か到達不能かを確認します。ノードインタフェースを確認するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかで目的の Dell EMC CMC を選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell CMC タスク** > **ノードインタフェースの確認** と選択します。

Dell CMC コンソールの起動

CMC コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールで、**Dell EMC ダイアグラムビュー**、**Dell EMC 状態ビュー**、または **Dell EMC アラートビュー** に移動します。
2 **ダイアグラムビュー**、**状態ビュー** のどちらかで CMC/OME-M デバイスを選択するか、**Dell EMC アラートビュー** のアラートを選択します。
3 **タスク** ペインで、**Dell CMC タスク** > **Dell CMC Console の起動** と選択します。

Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能

シャーシモジュラーサーバー相関機能は次をサポートします。

- シャーシスロットでライセンス対象またはライセンス不要の監視機能を使用して検出されたモジュラーサーバ相関。

  メモ: Dell EMC Chassis Management Controller/OpenManage Enterprise Modular (CMC/OME-M) スロット検出はデフォルトで無効になっています。このため、相関機能を動作させるには、CMC/OME-M スロット検出を有効にします。

- シャーシ共有ストレージコンポーネントと Dell EMC PowerEdge サーバの相関。

  メモ: シャーシ共有コンポーネントと Dell EMC PowerEdge サーバとの相関のために、Dell EMC シャーシ詳細監視をインポートします。

Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能を使用して検出されたオブジェクトのリスト

表 32. Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能検出

検出オブジェクト	説明
Dell EMC シャーシからモジュラーサーバへの相関検出	Dell EMC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。
Dell EMC シャーシストレージからブレードサーバへの相関検出	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視によって検出された Dell EMC PowerEdege サーバで、シャーシ共有コンポーネント間の相関関係を検出します。

Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能

Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能は、M-Series、Z-Series、N-Series、S-Series スイッチなどのネットワークスイッチの検出と監視をサポートします。Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能では、SNMP ベースの通信が実行されます。

また、Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能は、サポートされている Operations Manager の個々のスイッチコンポーネントの詳細レベルの監視もサポートします。

OMIMSSC 管理ポータルからの検出用の Dell EMC ネットワークスイッチ管理パックのインポート

OMIMSSC 管理ポータルから検出用の Dell EMC ネットワークスイッチ管理パックをインポートするには、次の手順を実行します。

1 デフォルトの管理者として、パスワードフィールドにパスワードを入力して、OMIMSSC ポータルにログインします。
OMIMSSC 管理ポータルページが表示されます。
2 左下のペインで、**設定** をクリックし、**コンソール登録** をクリックします。
登録済みコンソールが表示されます。
3 登録済みコンソールを選択します。
管理パックのインポート オプションが有効化されます。
4 **管理パックのインポート** をクリックします。
デバイスの管理パックのインポート ページが表示されます。
5 **ネットワークスイッチ** > **インストール** > **実行** を選択します。
Dell EMC ネットワークスイッチ管理パックがインポートされます。

メモ: 既存の管理パックを再インストールまたは修復する場合は、上記の手順に従ってインポートします。

メモ: インポートした管理パックを削除するには、ネットワークスイッチ > アンインストール > 実行 の順に選択します。Dell ネットワークスイッチ用にインポートされたすべての管理パックが削除されます。

Dell EMC OMIMSSC Operations Manager を使用した Dell EMC ネットワークスイッチの検出と分類

Microsoft System Center Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration を使用すると、M-Series、Z-Series、N-Series、S-Series スイッチなどの Dell EMC ネットワークスイッチを検出して分類できます。

次の表は、ネットワークスイッチ監視機能によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 33. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell EMC ネットワークスイッチ	Dell EMC ネットワークスイッチのダイアグラムビュー	ネットワーク、スイッチ、およびそのコンポーネント上のスイッチインスタンス。

Dell EMC OMIMSSC を使用した Dell EMC ネットワークスイッチの検出

OMIMSSC から Operations Manager に Dell EMC ネットワークスイッチ管理パックをインポートします。

IP アドレスまたは IP 範囲を使用して、スイッチを検出できます。スイッチを検出するには、スイッチの IP アドレスとスイッチのデバイス資格情報プロファイルを指定します。IP 範囲を使用してスイッチを検出する場合は、範囲に開始 IP と終了 IP を含めることによって、サブネット内の IP（IPv4）の範囲を指定します。

スイッチを検出するには、次の手順に従います。

1 OMIMSSC で次の手順を実行します。
   - ナビゲーションペインで、**監視** > **ネットワークスイッチビュー** > **検出** をクリックします。
2 **検出** ページで、次の中から必要なオプションを選択します。
   - **IP アドレスを使用した検出**：IP アドレスを使用してスイッチを検出します。
   - **IP 範囲を使用した検出**：IP 範囲を使用して複数のスイッチを検出します。
3 **IP アドレスまたは IP アドレス範囲を使用した検出** で、次のいずれかを実行します。
   - **IP アドレスの開始範囲** と **IP アドレスの終了範囲** には、検出するスイッチの IP アドレス範囲を指定します。これには、開始 IP 範囲と終了 IP 範囲が含まれます。
   - （任意）IP アドレス範囲を除外する場合は、**除外範囲の有効化** を選択します。

     IP アドレスの開始範囲 と **IP アドレスの終了範囲** では、除外する範囲を指定します。
4 **この資格情報プロファイルの適用** で、デバイスタイプ資格情報プロファイルを選択します。

   選択したプロファイルがすべてのスイッチに適用されます。
5 デバイス資格情報プロファイルを選択するか、**新規作成** をクリックしてデバイス資格情報プロファイルを作成します。

   選択した資格情報プロファイルは、スイッチの検出に適用されます。
6 資格情報タイプで、**デバイス資格情報プロファイル** を選択します。

   資格情報 フィールドが有効になります。
7 資格情報の詳細を入力し、**終了** をクリックします。
8 **ネットワークスイッチの IP アドレス** で、検出するスイッチの IP アドレスを指定します。
9 固有のジョブ名を入力し、**終了** をクリックします。
10 （任意）ジョブを追跡するには、**ジョブリストに移動** オプションを選択します。

ジョブとログセンター ページが表示されます。検出ジョブを展開して、**実行中** タブでジョブの進行状況を表示します。

Operations Manager での Dell EMC ネットワークスイッチの検出

Dell EMC ネットワークスイッチは、Operations Manager コンソールでネットワークデバイスとして検出できます。Dell EMC ネットワークスイッチ管理パックは、OMIMSSC から Operations Manager にインポートできます。

Operations Manager でネットワークスイッチを検出するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager 管理者として管理サーバにログインします。
2 Operations Manager コンソールで、**管理** をクリックします。
3 ナビゲーションペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
4 **検出ウィザード** を実行し、**ネットワークデバイス** を選択して、画面上の指示に従います。詳細については、technet.microsoft.com にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。
5 Operations Manager の **デバイスコンソールの追加** で、検出する IP アドレスを入力します。
6 SNMP v1 または v2 **Run As アカウント** ドロップダウンボックスから適切な Run as アカウントを選択します。
7 スイッチ監視機能は、OMIMSSC 管理ポータルからインポートすると有効になります。

メモ: OMIMSSC コンソールから Microsoft System Center との同期を実行して、Operations Manager で検出されたネットワークスイッチの検出を完了します。

Dell EMC ネットワークスイッチ検出パラメーターおよび正常性メトリックの上書き

検出パラメーター、パフォーマンス、および正常性メトリックを上書きすることによって、ネットワークスイッチの検出をカスタマイズできます。
検出パラメーターと正常性メトリックを上書きするには、次の手順を実行します

1 Operations Manager コンソールにログインします。
2 左下のペインで、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC OpenManage Integration ビュー** > **OpenManage Integration Dashboard** をクリックします。
   Dell EMC OMIMSSC コンソールのログインページが表示されます。
3 **ユーザー名** ボックスにユーザー名を入力します。ユーザー名を domain\username の形式で入力します。
4 **パスワード** ボックスにパスワードを入力して、**ログイン** をクリックします。
   概要 ページが表示されます。
5 **プロファイルと設定** > **設定設定** を選択します。
   検出、監視、およびパフォーマンスの上書き ページが表示されます。
6 **編集** をクリックします。
   検出、監視、およびパフォーマンス間隔の上書き ページが表示されます。
7 **検出、監視、およびパフォーマンス間隔の上書き** ページでは、次のアクションを実行できます。
   a スイッチパラメーターを編集するには、**ネットワークスイッチ** チェックボックスをオンにします。
   b **検出タイプ** ドロップダウンメニューから、検出モードを選択します。
   c 検出間隔を編集するには、**検出間隔（秒）** の下で、検出間隔を秒単位で入力します。
   d 正常性間隔を編集するには、**正常性間隔（秒）** の下で正常性間隔を秒単位で入力します。

   メモ: Dell EMC ネットワークスイッチでは、メトリック監視 はサポートされていません。

8 **適用** をクリックして設定を保存するか、取り消すには **キャンセル** をクリックします。

監視

Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能は、Dell EMC ネットワークスイッチの正常性を検出して監視します。Operations Manager の **監視** ペインを使用して、検出された Dell EMC ネットワークスイッチの完全な正常性情報を提供するビューを選択できます。重大度レベルのインジケータ は、ネットワーク上の Dell EMC ネットワークスイッチの正常性を示します。

Dell EMC ネットワークスイッチ監視には、定期的に、または定期的に稼働している状態で、Dell EMC ネットワークスイッチの正常性を監視する機能が含まれます。

メモ: ネットワークスイッチデバイスの正常性を監視するとき、SNMP 監視アカウントにコミュニティ文字列の Run As アカウントを関連付けます。SNMP 監視アカウントは、Dell EMC ネットワークスイッチのクラスまたは各スイッチオブジェクト（異なるネットワークスイッチデバイスで異なる Run As アカウントがある場合）を対象にしています。

監視対象ハードウェアコンポーネント

次の表は、拡張可能機能および詳細機能でサポートされる、監視対象ハードウェアコンポーネントの情報を示しています。

表 34. 監視対象ハードウェアコンポーネント — 拡張可能機能および詳細機能

ハードウェアコンポーネント	検出モード	
	拡張性	詳細
スイッチ	有	有
ファングループ	有	有
ファンユニット	無	有
電源装置グループ	有	有
電源ユニット	無	有
インタフェース	有	無
ユーザーポートグループ	有	無
ユーザーポートインスタンス	無	有

Operations Manager コンソールでの Dell EMC ネットワークスイッチの表示オプション

Dell EMC OMIMSSC for Operations Manager では、Operations Manager コンソールの **監視** > **Dell EMC** の下に、監視用に次のタイプのビューが提供されます。

- Dell EMC アラートビュー
- Dell EMC ダイアグラムビュー
- Dell EMC 状態ビュー

Dell EMC アラートビュー

このビューは、Dell EMC ネットワークスイッチからハードウェアを管理するために使用できます。検出されたネットワークデバイスまたはスイッチを介して送信された SNMP トラップは、Dell EMC ネットワークスイッチのアラートビューに表示されます。

Operations Manager でのアラートの表示

Operations Manager コンソールでネットワークスイッチ監視アラートを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を起動します。
2 **監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC アラートビュー**.とクリックします。
3 **Dell EMC ネットワークスイッチアラートビュー** を選択します。
事前に定義された基準を満たし、スイッチに割り当てられているアラートが表示されます。
4 Dell EMC ネットワークスイッチアラートビュー でアラートを選択すると、アラートの詳細が **アラートの詳細** ペインに表示されます。

Dell EMC ダイアグラムビュー

Dell EMC ダイアグラムビュー には、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell EMC ネットワークスイッチデバイスの階層的な図が表示されます。

Operations Manager コンソールでのダイアグラム表示

Operations Manager コンソールでネットワークスイッチ監視機能のダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソール を起動します。
2 **監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC ダイアグラムビュー** をクリックします。
3 次の の **ダイアグラムビュー** フォルダに移動します。
   - 完全ダイアグラムビュー
   - **Dell EMC ネットワークスイッチのダイアグラムビュー**
4 任意の ダイアグラムビュー を選択します。
ネットワークスイッチデバイスの階層的な図が表示されます。
5 ネットワークスイッチグループを展開して、検出されたサポートされているスイッチとサポートされていないスイッチを表示します。
6 ダイアグラムビューのスイッチコンポーネントをさらに展開して、基盤となるコンポーネントを表示できます。
詳細ビュー ペインに詳細を表示するコンポーネントを選択します。

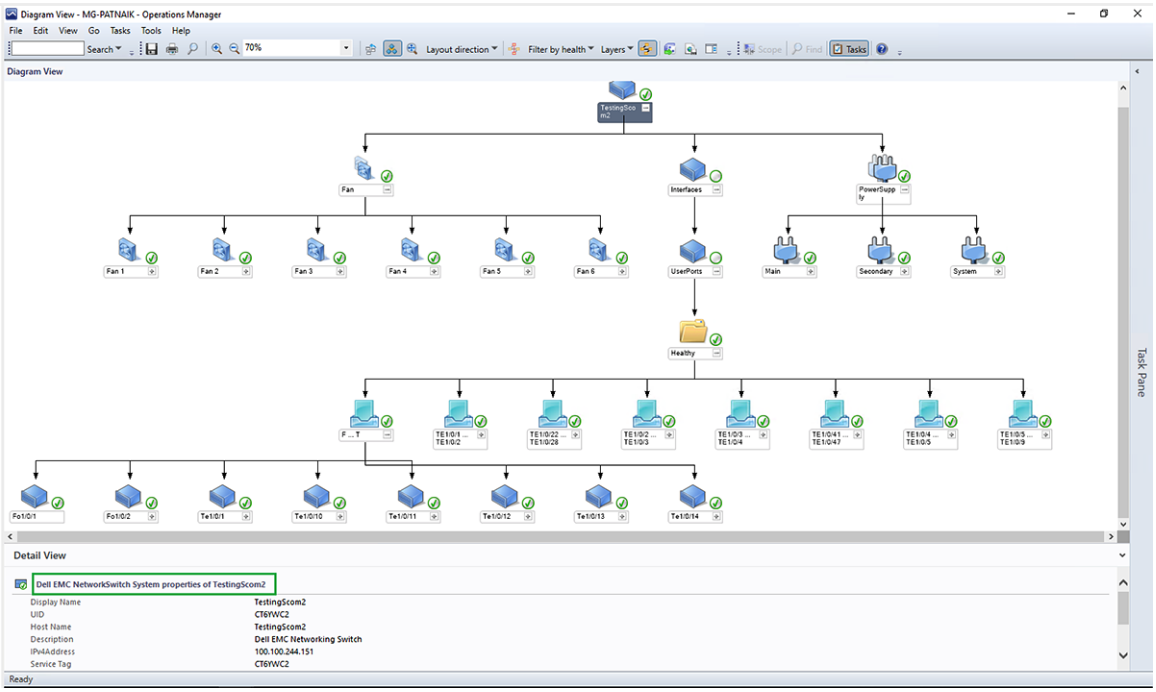

図 8. Dell EMC ネットワークスイッチのダイアグラムビュー

Dell EMC 状態ビュー

Operations Manager コンソールで検出された Dell EMC ネットワークスイッチの正常性状態を表示するには、次の手順に従います。

1 Operations Manager コンソールを起動し、**監視** > **Dell EMC** > **Dell EMC 状態ビュー** をクリックします。

2 **Dell EMC ネットワークスイッチ状態ビュー** を選択します。
検出されたすべてのネットワークスイッチの正常性状態が表示されます。

> **メモ: コンポーネントの正常性は、コンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを確認することによって取得されます。重要度レベルインジケータ では、Operations Manager 向け Dell EMC OMIMSSC がそれらの対応重要度レベルと共に使用する各種状況コンポーネントについて説明します。**

3 **詳細** ビューペインで詳細を表示するには、Dell EMC ネットワークスイッチ状態ビュー でコンポーネントを選択します。

Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能用の Dell ユニット監視

Dell EMC ネットワークスイッチ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 35. Dell EMC ネットワークスイッチ監視機能用の Dell ユニット監視。

オブジェクト		ユニット監視
Dell EMC ネットワークスイッチ		
	Dell EMC ネットワークスイッチのステータス	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチファングループ		

オブジェクト		ユニット監視
	Dell EMC ネットワークスイッチファングループ全体の正常性ユニット監視	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチファンユニット		
	Dell EMC ネットワークスイッチファン正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチユーザーポートグループ		
	Dell EMC ネットワークスイッチユーザーポートグループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチユーザーポートユニット		
	Dell EMC ネットワークスイッチユーザーポート正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチの電源ユニット		
	Dell EMC ネットワークスイッチ電源正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチの電源グループ		
	Dell EMC ネットワークスイッチ電源グループ正常性ポーリングに基づいたユニット監視	定期的
Dell EMC ネットワークスイッチインタフェース		
	Dell EMC ネットワークスイッチインタフェース全体の正常性ユニット監視	定期的

6

付録 A — 問題と解決策

問題と解決策

次の表では、既知の問題、解決策、および問題の対象をリストしています。

表 36. 問題と解決策

問題	解像度	対象
管理下ノードが Windows Server 2008 R2 を実行している場合や、管理サーバが **Operations Manager** 2012 R2 を実行している場合は、iSM-WMI を使用した検出に失敗します。	Windows Management Framework バージョン 4.0 がインストールされていることを確認します。 管理サーバで、System Center 2012 R2 Operations Manager 用アップデートロールアップ 7（またはそれ以降）の Microsoft セキュリティのアップデートを適用します。詳細については、Support.microsoft.com を参照してください。 catalog.update.microsoft.com から次の更新プログラムをインストールできます。これらの更新プログラムは、必ず次のリストの順序でインストールしてください。 1 Microsoft System Center 2012 R2 - Operations Manager サーバー用アップデートロールアップ 2 Microsoft System Center 2012 R2 - Operations Manager コンソール用アップデートロールアップ Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムを実行しているサーバーを検出します。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能 これは WMI を使用した iSM からの検出にのみ関連する問題です。
優先監視方法として設定 タスクで、次のシナリオのいずれかまたは両方の重複するオブジェクトの削除に失敗する。 • Dell EMC モジュラーサーバとシャーシスロットの相関 • Dell EMC FM サーバの監視	重複するオブジェクトを削除するには、次の手順を実行します。 1 **Dell EMC Feature Management Dashboard** に移動し、**Dell EMC シャーシのモジュラーサーバ相関機能** を選択し、右側のペインの **Dell 監視機能タスク** メニューから **シャーシモジュラーサーバ相関機能の削除** をクリックします。**Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関** を再インポートします。これで、**優先監視方法として設定** タスク機能を使用して、重複オブジェクトを削除できるようになります。 2 それでもタスクが失敗する場合は、次の手順を実行します。 a **Dell EMC シャーシからモジュラーブレードサーバへの相関検出** のオブジェクト検出を無効にします。	Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能

問題	解像度	対象
	b モジュラーサーバーの検出に使用する方法に対応するオブジェクト検出を無効にします。たとえば、重複オブジェクトが OMSA によって検出された場合は、**オーサリング** > **オブジェクト検出** に移動して、`Windows Computer` をターゲットとした `Dell Server Discovery` を検索し、そのオブジェクトの **Discovery** 属性を無効にします。 **メモ: Dell EMC サーバ用に重複するオブジェクトが作成された場合は、FM サーバの次のオブジェクト検出を無効にします。** • `Dell EMC FM Server Agent-based Discovery` • `Dell EMC FM Server Agent-free Discovery` • `Dell EMC FM Server iSM Discovery` 3 **Operations Manager シェル** から次のコマンドを実行します。 `Remove-SCOMDisabledClassInstance` **メモ: この手順の完了までに、最大 48 時間かかる場合があります。**	
エージェントプロキシが有効ではありません アラートが、iSM から検出される Dell EMC PowerEdge サーバの **アクティブなアラート** リストに表示されます。	この問題を解決するには、次の手順を実行します。 1 Dell EMC Feature Management Dashboard に移動して、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) をクリックします。 2 右のペインで、**Dell 監視機能タスク** の **エージェントプロキシの有効化** をクリックします。 **タスクの実行 - エージェントプロキシの有効化** ウィンドウが表示されます。 3 **上書き** をクリックして、**警告 / エラーの自動解決** パラメータの [新しい値] の下のフィールドをクリックし、その値を **True** として設定します。 4 [上書き] をクリックして、**実行** をクリックします。 5 [タスクステータス] ウィンドウを閉じます。 アクティブなアラートリストから既存のアラートをクリアします。これらのアラートは、今後の検出のために表示されなくなります。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能

問題	解像度	対象
Dell ネットワークデバイス用の **Dell EMC ダイアグラムビュー** で、Dell DRAC および Dell EMC シャーシオブジェクトの基本属性が表示されません。	この問題を解決するため、**状態ビュー** でオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	Dell EMC シャーシ監視機能
サーバモジュールおよびシャーシスロットサマリ情報が CMC/OME-M に表示されない。	• CMC を管理する管理サーバーに OpenManage Server Administrator（OMSA）または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 • CMC デバイスに **Run As アカウント** が設定されており、「Dell CMC ログインアカウント」と関連付けられていることを確認します。 • **Dell CMC スロット検出** およびルールが、Operations Manager コンソールの **オーサリングペイン** から有効化されていることを確認します。	Dell EMC シャーシ監視機能
プログラムの追加と削除 または **プログラムのアンインストールと変更** ウィンドウから Dell EMC Server Management Pack Suite の **修復** オプションを実行している間にエラーが発生する。	インストーラの **修復** オプションを使用してください。詳細については、『*Dell EMC OpenManage Integration version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager Installation Guide*』（Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 インストールガイド）の「インストーラの修復オプションの使用」の項を参照してください。	Dell EMC Server Management Pack Suite
シャーシの検出中に応答の遅延が発生した場合は、デバイスからの最新情報がアップデートされない、スクリプトタイムアウトエラーが生成される、または一時フォルダ内のログファイルがクリアされません。	応答が遅延している CMC/OME-M デバイスの **上書きプロパティ** 画面で、**スクリプトタイムアウト** 値を増やします。**上書き** の詳細については、Technet.microsoft.com の Operations Manager のマニュアルを参照してください。	Dell EMC シャーシ監視機能
Feature Management ホストサーバーの正常性サービスがダウンしています。	選択した管理サーバが機能を停止した場合、実行された機能管理タスクは失敗します。このような場合は、選択した管理サーバが破損している、または正常性サービスを取得できないといった状況下では、管理サーバを廃用にして古いオブジェクトを削除します。詳細については、Technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照してください。 残りの管理サーバから管理サーバを選択して、機能管理ホスト検出の FMPHostFQDN を上書きします。	Dell EMC Server Management Pack Suite
コンソールの **監視** > **アラートビュー** > **Dell EMC サーバアラート** に **Dell OM : サーバおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗** アラートが表示されます。	Dell EMC PowerEdge サーバを監視するために、**Run As アカウント** を手動で関連付けます。詳細については、「サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用した Dell サーバ監視のための Run As アカウントの関連付け」を参照してください。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能
管理グループに複数の Operations Manager コンソールがある場合、ある Operations Manager コンソールから起動したときに OMIMSSC ダッシュボードから作成	• 作成された同じデバイスの資格情報プロファイルを使用する場合は、最初に作成された Operations Manager コンソールから OMIMSSC ダッシュボードを起動します。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能 Dell EMC シャーシ監視機能

問題	解像度	対象
されたデバイスの資格情報プロファイルは、その管理グループ内の別の Operations Manager コンソールから OMIMSSC ダッシュボードが起動されたときに表示されません。	• 新しいデバイスの資格情報プロファイルは、デバイスの検出に使用できる別の Operations Manager コンソールから起動される OMIMSSC ダッシュボードから作成できます。 **メモ: デバイスの資格情報プロファイル名が一意であることを確認します。**	Dell EMC ネットワークスイッチ この問題は、管理グループ内の複数の Operations Manager コンソールで、OMIMSSC ダッシュボードの同じデバイスの資格情報プロファイルを使用していることに関連しています。
Operations Manager 2012 R2 では、**Dell EMC OpenManage Integration Dashboard View** 管理パックのインポートに失敗します。	管理パックをインポートするには、次の手順を実行する必要があります。 • Operations Manager 2012 R2 用のアップデートロールアップ 11 以降をインストールします。詳細については、https://blogs.technet.microsoft.com/allthat/2016/08/31/update-rollup-11-for-system-center-2012-r2-operations-manager/ を参照してください。また、リンクに記載されている手順に従ってください。 • アップデート後に、OMIMSSC 管理ポータルから **OMIMSSC Configuration Management Pack** の下にある管理パックをダウンロードしてインポートし、Operations Manager にインポートします。詳細については、『*Dell EMC OpenManage Integration version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager Installation Guide*』(Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 インストールガイド) の「**Configuration Management Pack をダウンロードする**」を参照してください。 • Configuration Management Pack をインポートした後、OMIMSSC 管理ポータルから Operations Manager コンソールの登録を実行します。登録の詳細については、『*Dell EMC OpenManage Integration version 7.1 for Microsoft System Center for Operations Manager Installation Guide*』(Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.1 インストールガイド) の「**Operations Manager コンソールの登録**」を参照してください。	Operations Manager 2012 R2
Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 から Dell EMC OMIMSSC バージョン 7.1 へのアップグレード後、ライセンスされた方法で検出されたサーバおよびシャーシのパフォーマンスメトリックは表示されません。	アップグレード後、詳細モードで検出されたサーバのパフォーマンスメトリックを Dell EMC OpenManage Integration Dashboard から表示するには、設定ページのメトリックオプションを有効にします。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能 Dell EMC シャーシ監視機能
Dell EMC OMIMSSC アプライアンスを Operations Manager に登録する場合、または OMIMSSC アプライアンスの IP に何らかの変更がある場合、Operations Manager コンソールで **Dell EMC OpenManage Integration Dashboard** を起動できないことがあります。	ユニット監視でアプライアンス IP を更新するには、次の手順を実行します。 1 Operations Manager コンソールにログインします。 2 ペインの左下にある **オーサリング** をクリックします。 3 **オーサリング** > **管理パックオブジェクト** > **監視** の順に選択します。	Dell EMC OMIMSSC

問題	解像度	対象
	4 **次を検索** フィールドで、**管理サーバ** の下にある **Dell EMC SDK Override Appliance IP** を検索します。 5 **Dell EMC SDK Override Appliance IP** を右クリックし、**上書き** > **監視の上書き** > **クラスの全オブジェクト** と選択します。 6 パラメーター名で **Dell EMC Appliance IP** を選択します。**上書き値** を更新し、**OK** をクリックします。 **メモ: 他の上書きパラメーターを選択していないことを確認します。**	

既知の制限

表 37. 既知の制限です。

制限	対象
Dell EMC MP、電源制御、および LED タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。**オーサリング** ペインで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードを確認できます。資格情報は、タスク表示時に非表示にはなりません。	Dell EMC Server Management Pack Suite
正常性エクスプローラの使用中、Dell EMC Server Management Pack Suite（センサーおよび OpenManage Services インスタンスの下）の一部のユニット監視が、サブインスタンスが存在しなくても緑色ステータスを表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在し、ユニット監視が実行されたときに、ユニット監視が使用不可状態になることができないためです。	Dell EMC Server Management Pack Suite
センサーのイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャーシのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。	Dell EMC Server Management Pack Suite
同時にトリガされた複数の同期タスクが、デバイスの同期に失敗します。同期タスクは、次々にトリガできます。	Dell EMC OMIMSSC
Dell EMC OMIMSSC コンソール内でライセンス済みノード数が最大数に達した場合は、OMSA の監視レベルを明示的に **拡張可能モード** に変更する必要があります。	Dell EMC OMIMSSC
イベント自動解決機能には、OMIMSSC で検出された Dell EMC PowerEdge サーバで生成されたアラートの解決のために、デフォルトで 6 時間ごとに実行されるプロキシ MS の定期的なルールがあります。	Dell EMC OMIMSSC

7

付録 B

シンプル認証 Run As アカウントの作成

1 Operations Manager 管理グループの管理者として Operations Manager にログインします。
2 Operations Manager コンソールで、**管理** をクリックします。
3 **Run As 設定** > **アカウント**とクリックします。
4 **アカウント** を右クリックして、**Run As アカウントの作成** をクリックします。
Run As アカウントの作成ウィザード 画面が表示されます。
5 **次へ** をクリックします。
6 **Run As アカウントタイプ：** ドロップダウンメニューから、**シンプル認証** を選択します。
7 **表示名：** テキストボックスに表示名を入力します。
8 **説明（オプション）：** テキストボックスに短い説明を入力して、**次へ** をクリックします。
9 **資格情報** 画面で、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用して検出するシステムの iDRAC ログイン資格情報を入力します。
10 **次へ** をクリックします。
11 必要に応じて **低セキュリティ** または **高セキュリティ** オプションを選択します。
詳細については、**technet.microsoft.com/en-us/library/hh321655.aspx** にある Operations Manager のマニュアルを参照してください。

メモ: iDRAC ログイン資格情報がシステムごとに異なる場合、それぞれに個別の Run As アカウント を作成します。

12 **作成** をクリックします。
13 **Run As アカウント** が作成されたら、**閉じる** をクリックします。

Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能を使用した Dell EMC PowerEdge サーバ監視のための Run As アカウントの関連付け

Dell EMC PowerEdge サーバを監視するには、その検出に使用される **Run As アカウント** が、**SMASH デバイス監視プロファイルの Dell EMC PowerEdge サーバ** に関連付けられている必要があります。管理パックは自動的に関連付けを実行します。ただし、Run As アカウントを手動で関連付ける必要がある場合もあります。

SMASH デバイス監視プロファイル内で Run As アカウントを手動で関連付けるには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager を立ち上げて、**管理** をクリックします。
2 **管理** ペインで、**Run As 設定** > **プロファイル** と移動します。
3 使用可能なプロファイルのリストから、**SNMP デバイス監視プロファイル** を右クリックし、**プロパティ** をクリックします。
はじめに 画面が表示されます。
4 **次へ** をクリックします。
Run As プロファイルの一般プロパティの指定 画面が表示されます。
5 **次へ** をクリックします。
Run As アカウント 画面が表示されます。

6 **追加** をクリックします。

Run As アカウントの追加 画面が表示されます。

7 **Run As アカウント：** ドロップダウンリストから、Dell サーバーの検出に使用した Run As アカウントを選択します。

> **メモ: デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスをそれに関連する Run As アカウントに関連付けます。**

8 **選択したクラス、グループ、またはオブジェクト** をクリックして、SMASH 監視プロファイル でサーバの関連付けを追加します。

- **選択** > **クラス** オプションをクリックし、選択に **Dell サーバ** を使用します。
- **選択** > **グループ** オプションをクリックし、選択に Dell サーバオブジェクトを含むグループを使用します。
- **選択** > **オブジェクト** オプションをクリックし、選択に個々の Dell サーバオブジェクトを使用します。

9 **OK** をクリックします。

10 **保存** および **閉じる** をクリックします。

> **メモ: Run As アカウントの関連付けが正常に行われなかった場合、コンソールの 監視** > **Dell EMC アラートビュー** > **Dell EMC サーバアラートに Dell OM：サーバおよびそのコンポーネントの正常性の計算に失敗 というアラートが表示されます。**

Dell EMC Server Management Pack Suite および OMIMSSC Operations Manager で使用される重大度レベル

以下の表は、Operations Manager コンソールにおける検出された Dell EMC デバイスの重大度レベルを示すアイコンをリストしています。

表 38. 重要度レベルのインジケータ

アイコン	重大度レベル
	正常 /OK — コンポーネントは正常に動作しています。
	警告 / 非重要 — プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。また、障害のある状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー — コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ喪失が発生している可能性があります。
	正常性ステータスは、特定のコンポーネントには適用されません。
	サービスを利用できません。

Run As アカウントの関連付けタスク — Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーションの監視（ライセンス対象）機能

Run As アカウントの関連付けタスクでは、SMASH 検出で使用した Run As アカウントを、正常性監視に必要なすべての Dell サーバオブジェクトに関連付けます。このタスクは、オブジェクトレベルの関連付けを実行するオプションとして使用できます。

⚠ **警告:** Run As アカウントの関連付けタスクは、必要な場合にのみ実行してください。このタスクは、すべての Dell サーバオブジェクトの設定に影響します。Dell サーバ Run As アカウント関連ユニット監視は、オブジェクトレベルの関連付けを自動的に実行します。

8

付録 C - 外部プログラムの有効化タスク

Dell EMC Server Management Pack Suite によって提供される、外部プログラムを起動するタスクは、デフォルトの場所にインストールされる必要があります。プログラムがデフォルトの場所にインストールされていない場合は、アプリケーションを起動する新しいタスクを作成します。

トピック：

- アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成
- License Manager 起動タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報とインストールパス（C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc）を使用します。

システムがデフォルトの BMC 資格情報とインストールパスを使用しない場合は、管理サーバー上に BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを作成します。

注意: 次の手順では、タスクを作成し、パスワードをプレーンテキストで設定します。BMC が管理サーバにインストールされていない場合は、Operations Manager コンソールのダイアログボックスにコマンド全体とエラーが表示され、パスワードが表示されることがあります。このタスクを含む、作成されたオーバーライド管理パックをディスクにエクスポートすると、エクスポートされた管理パックを共通のテキストエディタまたは Operations Manager オーサリングコンソールで開き、パスワードをプレーンテキストで表示できます。必要な場合にのみタスクを作成し、セキュリティ面を考慮してから次に進みます。

タスクを作成するには、次の手順を実行します。

1. Operations Manager コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
   タスクの作成ウィザード 画面が表示されます。
3. **タスクタイプの選択** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5. **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** として **Dell Windows サーバー** を選択して、**次へ** をクリックします。
   コマンドライン 画面が表示されます。
6. **アプリケーション** フィールドに **ipmitool.exe** アプリケーションのパス（管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス）を入力します。
   例えば、`C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe` のように入力します。2 つの LED 識別表示タスクの場合、アプリケーションパスは `C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe` です（デフォルトの BMU パスは、オペレーティングシステムの言語によって異なる場合があります）。
7. 電源制御タスクの場合、**パラメータ** フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
   - `-I lanplus -H` と入力し、ドロップダウンメニューから **IPMI 機能を伴うリモートアクセス IP** を選択します。
   - `-U <username> -P <password> -k <kgkey> <IPMI Task String>` と入力します
   - `<IPMI Task String>` を次のいずれかのオプションと置き換えます。
     - `power status`（**電源ステータスの確認** タスクの場合）
     - `power on`（**電源投入** タスクの場合）
     - `power soft`（**正常電源オフ** タスクの場合）

- `power off` （**強制電源オフ** タスクの場合）
- `power cycle`（**パワーサイクル** タスクの場合）
- `power reset`（**電源リセット** タスクの場合）
- `identify on`（**LED 識別表示オン** タスクの場合）
- `identify off`（**LED 識別表示オフ** タスクの場合）

次に例を示します。

```
-I lanplus -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$ -U root -P
<password> -k <kgkey> power status
```

8 LED のオン / オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
- `-ip` と入力し、ドロップダウンメニューから `the` **IPMI 機能でのリモートアクセス IP** を選択します。
- `-u <username> -p <password> -k <kgkey> <IPMI task string>.` と入力します

9 **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

License Manager 起動タスクの作成

License Manager 起動タスクは、変更不可のデフォルト Dell License Manager（ DLM ）インストールパス（ %PROGRAMFILES(X86)%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe または %PROGRAMFILES%\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe ）を使用します。

システムがこれらを使用していない場合、管理サーバーに DLM をインストールして、**Dell サーバー用 DLM** でターゲットされる **オーサリング** ペインで新しいコンソールタスクを作成します。

タスクを作成するには、次の手順を実行します。

1 Operations Manager コンソールを起動して、**オーサリング** をクリックします。
2 **オーサリング** ペインで **管理パックオブジェクト** 下にある **タスク** を右クリックし、**新規タスクの作成** を選択します。
3 **タスクタイプ** 画面で、**コンソールタスク** にある **コマンドライン** を選択します。
4 宛先の管理パックを選択し、**次へ** をクリックします。
5 **タスク名** および **説明** を入力し、**タスクターゲット** を以下のいずれかで設定します。
- Dell Windows サーバ - サーバおよびラック型ワークステーション監視機能向け
- Dell サーバ - サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能向け
- Dell iDRAC7 または iDRAC8（ DRAC 監視向け）

6 **次へ** をクリックします。

コマンドライン 画面が表示されます。

7 **アプリケーション** フィールドに、アプリケーションのパス *Dell.DlmUI.exe* （管理サーバ上で DLM がインストールされている場所へのパス）を入力します。

たとえば、`C:\Program Files\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe` 、デフォルトの DLM パスは、オペレーティングシステムの言語によって異なる場合があります。

8 **作成** をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい DLM タスクごとに、この手順を繰り返します。

9

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

次のリンクを使用して、必要なドキュメントにアクセスします。

- Dell EMC エンタープライズシステム管理マニュアル — www.dell.com/esmmanuals
- Dell EMC OpenManage マニュアル — www.dell.com/openmanagemanuals
- Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — www.dell.com/esmmanuals
- iDRAC および Lifecycle Controller マニュアル — www.dell.com/idracmanuals
- Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — www.dell.com/esmmanuals
- Dell EMC 保守ツールマニュアル — www.dell.com/serviceabilitytools
- a www.dell.com/support にアクセスします。
  b **すべての製品の参照** をクリックします。
  c **すべての製品** ページで **ソフトウェア** をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
    - **統計**
    - **クライアントシステム管理**
    - **エンタープライズアプリケーション**
    - **エンタープライズシステム管理**
    - **公共機関向けソリューション**
    - **ユーティリティ**
    - **メインフレーム**
    - **保守ツール**
    - **仮想化ソリューション**
    - **オペレーティングシステム**
    - **サポート**
  d マニュアルを表示するには、該当する製品をクリックして、該当するバージョンをクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
  - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

10

関連文書とリソース

本章では、Dell EMC Server Management Pack Suite での作業に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

トピック：

- Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン
- その他の必要マニュアル
- Dell EMC へのお問い合わせ

Operations Manager のためのパフォーマンスと拡張性に関するマイクロソフトガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Server Management Pack Suite を展開します。

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト **technet.microsoft.com** を参照してください。

メモ: パフォーマンス向上のため、Operations Manager データウェアハウス、および / またはデータベースで Autogrow オプションが有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本ユーザーズガイドの他、**dell.com/support/home** から入手可能な次のガイドを参照する必要がある場合もあります。

- *Integrated Dell Remote Access Controller with Lifecycle Controller User's Guide*（*Integrated Dell Remote Access Controller with Lifecycle Controller* ユーザーズガイド）
- *iDRAC Service Module Installation Guide*（*iDRAC Service Module* インストールガイド）
- *Dell OpenManage Installation and Security User's Guide*（*Dell OpenManage Installation and Security* ユーザーズガイド）
- *Dell OpenManage Server Administrator Installation Guide*（*Dell OpenManage Server Administrator* インストールガイド）
- *Dell OpenManage Server Administrator Compatibility Guide*（*Dell OpenManage Server Administrator* 互換性ガイド）
- *Dell OpenManage Server Administrator CIM Reference Guide*（*Dell OpenManage Server Administrator CIM* リファレンスガイド）
- *Dell OpenManage Server Administrator Messages Reference Guide*（*Dell OpenManage Server Administrator* メッセージリファレンスガイド）
- *Dell OpenManage Server Administrator Command Line Interface User's Guide*（*Dell OpenManage Server Administrator* コマンドラインインタフェースユーザーズガイド）
- *Dell OpenManage Baseboard Management Controller Utilities User's Guide*（*Dell OpenManage* ベースボードマネジメントコントローラユーティリティユーザーズガイド）
- *Dell OpenManage Port Information Guide*（*Dell OpenManage* ポート情報ガイド）
- *Dell Lifecycle Controller User's Guide*（*Dell Lifecycle Controller* ユーザーズガイド）
- *Dell Chassis Management Controller User's Guide*（*Dell Chassis Management Controller* ユーザーズガイド）
- *Dell Chassis Management Controller for Dell PowerEdge VRTX User's Guide*（*Dell PowerEdge VRTX* 用 *Dell Chassis Management Controller* ユーザーズガイド）
- *Dell Chassis Management Controller for Dell PowerEdge FX2 User's Guide*（*Dell PowerEdge FX2* 用 *Dell Chassis Management Controller* ユーザーズガイド）

『*Dell Systems Management Tools and Documentation*』DVD には、Server Administrator のリリースノートファイルおよびこの DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションのリリースノートファイルが収録されています。

Dell EMC へのお問い合わせ

メモ: アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または Dell EMC 製品カタログで連絡先をご確認いただけます。

Dell EMC では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell EMC のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1 **dell.com/support** にアクセスします。
2 サポートカテゴリを選択します。
3 ページの上部にある **国 / 地域の選択** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4 目的のサービスまたはサポートを選択します。